

(1) 教科等と関連付けた効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	教科名	単元	内容等	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
北海道	火おこし体験	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	小学生以上	1時間～2時間	仲間と協力しながら、最後までやり遂げることの大切さを体験する。	理科(小6)	ものの燃え方	燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目する。	③	④	⑫		既習内容を想起させたり、今後の学習につなげたりすることができる。	理科の学習のほか、生活体験を想起させた導入指導が可能である。	①		「主体的・対話的で深い学び」の実現を支援していくため、学習指導要領も踏まえ、各教科等の内容に関連したプログラムとして継続的に実施
北海道	ウォークラリー	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	小学生以上	1時間～2時間	仲間と地図記号が記されているコマ図を見ながら、協力し合いゴールを目指すことにより、協力することの大切さや学ぶ。	社会(小3)	わたしたちの大好きなまち	地図記号や地図の約束を理解する。	③	④	⑫		既習内容を想起させたり、今後の学習につなげたりすることができる。	理科の自然観察等、他の活動とも関連させることができる。	①		「主体的・対話的で深い学び」の実現を支援していくため、学習指導要領も踏まえ、各教科等の内容に関連したプログラムとして継続的に実施
北海道	野外炊飯	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	小学生以上	2時間～3時間	仲間と協力して調理計画に基づいて調理する。	家庭(小5・6)	調理の基礎	調理に必要な材料の分量や手順がわかり、調理計画について理解すること。	③	④	⑫		既習内容を想起させたり、今後の学習につなげたりすることができる。	火起こしの場面では物の燃焼についてなど、他の教科の活動とも関連させることができる。	①		「主体的・対話的で深い学び」の実現を支援していくため、学習指導要領も踏まえ、各教科等の内容に関連したプログラムとして継続的に実施
北海道	自然観察・ハイキング	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	小学生以上	1時間～2時間	四季折々の自然を楽しみながら、仲間と協力し合いながらゴールを目指す。	理科(小5)	植物の発芽、成長、結実	植物の育ち方について、発芽、成長及び結実の様子に着目し観察しながら活動する。	③	④	⑫		既習内容を想起させたり、今後の学習につなげたりすることができる。	木の実等の採取などでは、理科の他の学習内容と関連させることができる。	①		「主体的・対話的で深い学び」の実現を支援していくため、学習指導要領も踏まえ、各教科等の内容に関連したプログラムとして継続的に実施
北海道	木の実クラフト	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	小学生以上	1時間～2時間	木の実などの材料を活用し、創造的に作品に表す。	図工(小5・6)	表現	材料や用具を活用し、表し方などを工夫して創造的に作ったり表したりする。	③	④	⑨		既習内容を想起させたり、今後の学習につなげたりすることができる。	理科の自然観察等、他の教科の活動とも関連させることができる。	①		「主体的・対話的で深い学び」の実現を支援していくため、学習指導要領も踏まえ、各教科等の内容に関連したプログラムとして継続的に実施
北海道	ナイトハイキング	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	小学生以上	1時間～2時間	施設周辺の夜の森の歩きながら動植物の様子を観察する。	理科(小4)	月と星	月や星の特徴について、位置の変化や時間の経過に着目して観察することができる。	③	④	⑫		既習内容を想起させたり、今後の学習につなげたりすることができる。	理科の自然観察等、他の活動とも関連させることができる。	①		「主体的・対話的で深い学び」の実現を支援していくため、学習指導要領も踏まえ、各教科等の内容に関連したプログラムとして継続的に実施
青森県	金山焼	http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-bonju/files/H31kanayamayaki.pdf	小学生以上	2～3時間	地域で産出する粘土を使った陶芸「金山焼」の製作をおして、地域特色ある文化・産業を理解する。	社会(小4)	わたしたちのまち・市	住んでいる市の産業やものづくりについて、創作体験をおして理解を深める。	③	⑨	⑧		地元の文化・産業を体験できる貴重な機会となっている。	数少ない教科との関連のあるプログラムであり、表記した社会科だけでなく、図工とも関連しながら、形成する段階での創意工夫、技能の面においても効果が期待できる。また、子どもたちが集中して製作に取り組みを共有することでの協働性、コミュニケーション能力の育成など多面的な効果が期待できる。	①		事業の人気も高く、児童生徒の目的も達成しやすいことから継続している。また、地元の窯元との良好な協力関係も継続していきたい。
青森県	星空のつどい	http://taneshashi.jp/	小学生以上	2～3時間(宿泊体験活動用のプログラム)	実際に星空を観察しながら、月や星の動きの特徴を知る。	理科(小4)	月や星の動き 夏の星・冬の星	月や星の動きを実際に見て、動き方や明るさ、色等を観察する。	②	⑧	⑨		豊かな自然環境の中で、星空を観察できる良い機会となっている。	理科だけでなく、観察したことを絵に表すなど図工とも関連する。	①		宿泊体験活動の中の夜のプログラムとして人気が高く、児童生徒の満足感も得やすい。
岩手県	自然ワンダークラブ② 水中生物調査	http://www.echna.ne.jp/~kenritu/	小学校4年生～中学生	1泊2日	水生生物調査を行い、川の水質を知ることによって環境を守る意識づけを行う。	理科(中3)	自然環境の調査と環境保全	身近な自然環境について調べ、さまざまな要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識すること。	⑧				「川にはいろいろな生物がすんでいることがわかった。」「川の水質がきれいなことわかった。」「このままきれいな川だと思っただけ。」「(参加者の感想)	星空観察とともに、自然ワンダークラブという事業の中で行ったプログラムである。子どもたちのアンケートでも高い評価を得ている。小中学校共に校外活動として実施しにくい内容を子どもたちが体験できる良い機会となっている。	④	各年に1回のペースで継続していく。	登山やカヌー体験など他にも体験してもらいたい活動があること、2～3年続けて参加している子どももいるのでいろいろな活動をまねばなく活動して欲しいから。
岩手県	夏さがし 秋さがし 冬さがし	http://www.echna.ne.jp/~kenritu2/	船越小学校1年生	1日×3回	身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることや、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。	生活科	季節による自然の変化	ネイチャーゲーム、自然とのふれあい	⑧	⑤			学校の周りにはない豊かな自然と触れ合える。	種類豊富な植物等に触れあえる。季節ごとに違う表情を見せる自然の様子を感じられる。夏秋はネイチャーゲーム、冬は落ち葉のプールを提供した。	①		近隣小学校である船越小学校1学年が毎年利用している。所バスで送迎できる人数規模であり今後も継続したい。
岩手県	プラネタリウム鑑賞	http://www.echna.ne.jp/~kenritu3/	小学生	45分間	プラネタリウム鑑賞を通して、各季節の星座、月や星の動き等について確認する。	理科(小4)	夏の星、月や星の動き、冬の星	星の動き方、星のならび方の確認を通して、季節による違いや共通性について理解を深める。	②	⑧	⑨		星空を疑似体験することにより、学級全員が同じ目線で教科書の内容を確認することができる。	野外活動等と合わせての利用が多く、管内小学校のほとんどが利用している。一般の方々も鑑賞する事業もあり、地域の方々からも好評を得ている。	①		地域内唯一の設備であり、利用のニーズが高い。
宮城県	「バードウォッチング入門」(松島自然の家)「親子で星座＆野鳥観察」(志津川自然の家)	松島: https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/matsushima-ont/ 志津川: https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sz-seinen/	県民一般	どちらも2月に実施	冬の星座観察や野鳥観察を通して、自然の素晴らしさや大切さを学び、環境保全について考えます。	理科	「冬の星座」「宇宙船地球号」(小学校6年環境教育)	冬の星座観察及び環境教育(理科単元横断統合的学習)	②	⑧	⑤		県民一般の主催事業であるが、親子で参加しているリピーターも多く、理科の生物科学分野でより体験を生かした学習となっている。	2つの自然の家の人気の主催事業であることから、県民一般から高評価をいただいていると考えられる。	①		例年人気のある主催事業であり、リピーターも多くいるため。
秋田県	天体観察および主催事業「スターウォッチング」	https://www.facebook.com/pref.akita.a.oodate.sizen	幼・小・中学生を含む家族	1日・通年(30分～、主催事業は講話も含めて約2時間)	星座や神話の講話、天体観望を通して、知識を深めるとともに自然への興味関心を高める。				⑧	⑨	⑮		「土星の輪や、木星の衛星を初めて見ることができた」「参加してよかった」「星座への興味がさらにわいてきた」等の評価を得ている。	夜空の星々と星座にまつわる神話によって、大昔と現代がつながる時間と空間を生み出すことができる。	②		主催事業に関しては、参加対象を絞ることで講話部分の満足度をより高めることを検討したい。
秋田県	プロジェクトアドベンチャー(道徳科【特別の教科 道徳】との関連を希望の場合)	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/41208	小・中学生	通年・2時間程度	課題解決的な活動と道徳科【特別の教科 道徳】での学習内容を関連させることにより、実感が伴った理解へとつなげる。				④	⑤	⑦		今年度は小学5年生での実施に加え、中学校でも調査研究をしているが、道徳科【特別の教科 道徳】との関連を考えたプログラム実施校が増加してきている。	道徳科【特別の教科 道徳】の学習とPA体験を結び付け、道徳科【特別の教科 道徳】との関連を考えたプログラム実施校が増加してきている。	①		学校の要望を踏まえたプログラムの運営方法を考えていきたい。
山形県	【朝日少年自然の家】地層学習	http://asahishonshizennoie.jp/	小学校6学年	9月～11月	実際に地層を観察して、教育効果の向上を図る。	理科	大地のつくり	朝日町能中地区の地層見学	②		⑧		各校より、実際に地層を観察したり化石を手にとった学習は、大変効果的であるという評価が多い。	教科書にも取り上げられている地層の見学と、ヤマガタダイカイギウの発掘にも触れているこのプログラムは、山形ならではの非常に効果的なプログラムである。	①		上述の通り
山形県	【金峰少年自然の家】天体観測	https://kinbow.asoviva-p.jp/activity/	受入団体(学校の自然教室及び社教団体等)	年間を通じて(要事前申請)	月や星を観察することによって、天体に対する興味を喚起する。	理科	小4「月と星」、小6「月と太陽」、中学「地球と宇宙」	月・星(星座)・太陽の動き等に関する講話及び観察	①		⑨		天体指導員による講話は、子どもたちの興味・関心を喚起する。また、大型の天体望遠鏡を使った天体観測は、子どもたちにとって貴重な体験となっている。	理科の「月と星」、「月と太陽」、「地球と宇宙」の確認、深化を図ることができ、学校団体を中心に高い需要があり、人気のプログラムである。	①		本館に300mmの大口径望遠鏡を備えた天体ドームがあり、その効果的な活用をしていきたいと考えているため。

(1) 教科等と関連付けた効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	教科名	単元	内容等	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
山形県	【飯豊少年自然の家】 夜空を見上げよう	http://www.iideshonenshizennoie.jp/	小学生・中学生・保護者・成人一般	平成30年6月16日(土)	月や星座の観察を通して自然への興味・関心を高め豊かな感性をたくむ。	理科	月の動き、星の動き	天体観測を通して、星や月の見え方、動き方を観察する	②	④	⑨		<利用者の声> ・大型望遠鏡の使い方が分かった。 ・また是非企画してほしい。	申し込みが殺到する人気企画である。天候に左右されるプログラムという点もあり、曇り空で観察ができない場合があったので、雨天時のプログラムについても事前に検討しておく必要がある。			開催時期について、梅雨の時期は避け、晴天が多い月日に企画できるようにしたい。
山形県	【神室少年自然の家】 わんぱく探検隊 ～夏～	http://www.kamuro-syounen.org/	小学校3・4年生	平成30年7月7日(土)～8日(日)	季節に応じた様々な野外活動に取り組み、自主性や協調性を育む。	理科	星の動き	夏の星座の観察	⑧	⑩			学習内容にそった解説に、理解を深めたり、興味を持った利用者が多かった。	①			町灯りのない環境で、天体観測する機会を提供していく
福島県	夢冒険キャンプ		小学3年生～6年生	8月8日～10日(2泊3日)	夏休みの宿泊を含む団体行動を通じて協調性と創造力を育む	理科	星の観察	福島県環境創造センター企画を通して星の先生をお呼びし星についての観察及び講話いただく。	⑧	⑨			実際に天体望遠鏡をのぞいて観察することができ好評だった。	②			天候に左右される点、児童の興味、集中力の点
福島県	星空ウォッチング	http://aizu-nc.fcs.ed.jp/	小学校中学年以上	1時間程度	惑星や月の観察や季節の星座探しなどを行い、天体に関する意欲や理解を向上させる。	理科	月と星 月と太陽	講師の説明のもと星や月の動きを観察したり、季節の星座を探したりする。	⑧	⑨			講師の説明が的確で、児童生徒にも理解しやすいという評価を受けているプログラムである。	①			晴天時はもとより荒天時も講師の豊富な資料をもとに室内でも学習できるため、学習効果の高いプログラムである。
茨城県	夜空の星を見つけよう		小学生親子	2時間(夜間)	星空観察会や星座早見盤作りを通して、星空に興味関心をもち、自然に親しむ。	理科(小4)	星や月の動き	星や月の動きについて、実際の観察活動を通して理解を深める。	②	⑨			星空観察会で、星の位置や見え方の違いを知るなど、学校の学習活動と関連づけることのできるプログラムになっている。	①			子どもたちの好奇心や創造力の育成に有効であると考えられる。
茨城県	ホテルと星のタペ ～ホテルが織りなす光のハーモニー～		小・中学生及びその保護者・家族、一般	2日	ホテルの放流や観賞をする活動を通して、生育状況等について理解するとともに、自然環境保護への関心を高める。	総合的な学習の時間		地域の環境保全について考える。	⑧	⑪			地域の小学校と協力し連携を図ることで、地域に開かれた施設としての役割を果たすことができている。	①			地域との連携を図る上で有効であるため。
茨城県	I LOVE いばらき!② ～茨城の歴史と伝統文化～		小学4～6年生	1日	公共機関や民間企業との連携を図り、茨城について「学び・知り・体験」(循環型)し、いばらきの魅力を発信し、郷土愛を育み、「自慢できる茨城」のイメージアップを図る。	社会(小4)	わたしたちの県	住んでいる県の歴史や伝統文化についての理解を深める。	⑧	⑩			企業や施設と協力することで、専門的な知識を習得することができるプログラムとなっている。	①			歴史の建造物や遺跡の見学、体験活動を通して、郷土の魅力を再発見することができる。
栃木県	手びねり陶芸(芳賀青年の家)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m61/education/shougai/kanrenshisetsu/katudounaiyou.html	園児以上	通年実施。2時間程度	陶芸の里益子で手びねり陶芸体験を行うことで、地域の伝統文化に触れることができる。	社会 図画工作 総合的な学習の時間		伝統工芸 創作活動	①	②	⑨		昔ながらの技法を学ぶと共に、自ら制作したものが手元に届くことで、思い出に残る活動となっている。	①			利用団体からの人気も高いことから、継続していく。
栃木県	天体観望会(太平少年自然の家)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m62/syusai/h28tentai.html	どなたでも	スターウィーク(8/1～4:各2時間) 天体観望会(8/17、1/12、1/19、2/16:各2時間)	大型望遠鏡で天体ショーや季節の星座などを観察する。	理科	月と星	月や星を観望し、月の位置と星の明るさや色及び位置を調べ、月や星の特徴や動きについての考えをもつ。	⑫			教科の興味・関心、観察の技能	月や星の動きの理解と共に、大型望遠鏡で月の表面や土星、木星などの惑星の観察ができることで評判が良い。	①			教科(理科)学習で、学校では実施不可能な部分であり、天体ドームや専門講師等の充実したハード・ソフト面を備えているため。
栃木県	WE LOVE サイエンス(とちぎ海浜自然の家)	http://tochigikaihin.jp/app-def/S-102/wp/wp-content/uploads/2019/05/30welove.pdf	栃木県在住の小学生以上	2/9～10:1泊2日	星空観察や科学工作等の活動をおとして、理科に関する興味関心を高めるとともに、身近な科学に親しむ。	理科	星や月の動き等	天体観測や工作等を行う。	⑧	⑨	⑪		外部講師を活用し、好評である。	①			工作の種類を豊富にそろえ、リピーターの獲得につながっている。
栃木県	天体観測(なす高原自然の家)	https://windy-nasu.jp/katudo.html	小学生以上	通年実施。1時間程度	季節の星座などを観察する。	理科	星や月の動き(小学4年)地球と宇宙(中学3年)	望遠鏡を利用して、天体観測を行う。	⑧	⑨	⑪		外部講師を活用し、好評である。	①			雨天時に観察できないという難点はあるが、研修室を利用して講義を受けることができる。
埼玉県	星空観察会	http://www.naguri-genki.com/activities-school.html	3歳以上	1時間	・季節の星座や惑星・星雲星団などを知る ・星や宇宙への興味関心を深める。	理科(小4、小6)	月や星の動き、月と太陽	・月や星の動き、月の満ち欠けについて解説し、観察しながら学んでいく。	②	⑧			解説付きで実際に観察するため、理解が深まる。	①			教科の学習をしたい学校側の要望と合致している。
千葉県	冬の星空を観察しよう!	http://www.tega.jp/	親子・一般	1月12日	冬の星空の野外観察。冬の星座の魅力を楽しむ。	理科	星や月(1)(2)(3)	星の明るさや色、月の動き、星の動き	⑧				大型の望遠鏡で星座の観察ができるとも良い。環境もよく星がよく見える。等好評である。	①			参加者に好評である。手賀の地の環境の良さを紹介できる。
千葉県	星空の神秘を探ろう 初級・上級	www.tougane-youth.jp	小学生4年生～6年生	初級①5月12、13日 ②8月12～14日 ③10月13～14日 ④1月26～27日 上級①5月19～20日 ②7月15～16日 ③10月6～7日 ④2月2～3日	星座・月の観察をテーマに太陽系の惑星・衛星について学び、生命体の存する地球の専さを理解させる。初級・上級・エクセレントの3コースを設定、各4回シリーズで実施し、内容を深める。	理科	月と星、月と太陽	①星空観察と主な星・星座について……星の明るさ、星座の由来 ②太陽・惑星・月の観察と説明……惑星・月の動き、月と太陽の位置など、太陽系の大きさ ③星座盤及び天体望遠鏡作り ④天体望遠鏡の使い方の勉強と実践	③	⑧	⑨		①解説、実際の観察、天体望遠鏡作りの他、プラネタリウムでの勉強等、内容が充実している。②宿泊なので他の子どもたちと友だちになれて良い。	①			当施設の看板事業となっているので、内容の充実を図りながら継続する方針。
新潟県	胎内市自然天文館による天体観察	www.pref.niigata.lg.jp/shizen/	新潟県少年自然の家利用団体	通年	新潟県少年自然の家のある胎内市の施設「自然天文館」と連携し、天体観察を実施している	理科	4年「月と星」 6年「月と太陽」	天体観察、星座の学習	⑧	②	⑨		施設の利用料金を無料にさせていただき、指導員から、専門的な指導をしていただき評価が高い。	①			自然天文館の利用について知らない団体も多いため、広報活動に努める。
富山県	三助焼	http://shizentonami.jp/pdf/guide_2019v2.pdf 「利用のガイド」p.11	小学生以上	「手びねり体験」……2時間、「絵付け体験」……1時間	地域で産出する粘土を使った陶芸「三助焼」の製作をとおり、地域特色ある文化・産業を理解する。	社会(小4)	わたしたちのまち・市	住んでいる市の産業やものづくりに関して、創作体験をおして理解を深める。	③	⑨	⑧		地元の文化・産業を体験できる貴重な機会となっている。	①			地元の窯元との良好な協力関係が築けているので、継続していきたい。
福井県	もりでクラフト for ハッピーニューイヤー(奥越高原青少年自然の家)	http://info.pref.fukui.jp/syougak/okuetu/hp-1.3/index.htm	小学生以上(小学1～3年生は大人同伴)	平成30年11月25日(日)9:20～15:45	晩秋の六呂師高原を感じながら、みんなですっきりとクラフトに取り組み、年末年始を彩るようにする。	図画工作			④	⑨			楽しく作品づくりができる好評である。	①			80名を超す申し込みがある、当施設でも人気のプログラムであるから。
福井県	星空観察会(芦原青年の家)	http://www.pref.fukui.jp/doc/awara-seinen/	小学生から一般	平成30年5月12日(土)19:00～20:00	春の星空を観測することを通して、位置の明るさ、色など天体の特徴について理解する。また、観測に必要な技能を身に着ける。	理科			②				天候が悪く、実際の星空は観測できなかったが、研修室での平面プラネタリウムを楽しむことができた。	①			約50名の参加希望があり、興味関心の高いプログラムであるから。

(1) 教科等と関連付けた効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	教科名	単元	内容等	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
福井県	ナチュラリスト 標本作りの基礎と基本(鯖江青年の家)	https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sabae-seinen/index.html	小学4～6年生、中学生	平成30年7月16日(月)9:00～15:30	植物採集や昆虫採集を通して、自然の素晴らしさや大切さを実感する。	理科			②	⑧			難しくても最後までやり遂げることができた。自分で考えながら活動することができた。	①			参加者は大変熱心に活動に参加していて、充実したプログラムであった。
福井県	めざせ! そば打ち名人(三方青年の家)	http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/mikata-seinen/	小学生とその家族及び一般	平成31年3月2日(土)9:30～13:30	そば打ちを通して、家族のふれあいを深めるとともに、日本の伝統的な食文化についての理解を深める。	総合学習			④	⑤			家族で楽しみながら、日本の食文化を学べると好評を得ている。	①			そば打ちという日本の伝統的な食文化について学べるだけでなく、家族のコミュニケーションを図ることができる事業である。
愛知県	天体観測	http://www.hml1.aitai.ne.jp/~asahi/katudou.html	小学生以上	通年 1～3時間	施設内の灯りを極力消した環境の中で、市街地等では遭遇できないクリアな星空を観測する。また専門的なレクチャーを受けつつ講師の話も聴く。	理科(小4)	星や月		①	⑧	⑨		日常では見ることのできない素晴らしい星空に接することで、児童・生徒の宇宙・天体・地球・生命に対する関心や興味が格段に強まる。	①			「宇宙の中の自分」という視点をもつことの意義は大きいと捉えている。自分という存在に思い向けられる貴重なプログラムとなっている。
三重県	【熊野】 ①天体観望会 ②火星大接近観望会	http://www.kuma-sho.com/jigyo/2018/2018kasei.html	児童生徒とその保護者	①年間10回程度 ②7/31					⑨	⑮		理科・宇宙に対する興味	反射望遠鏡を通して月面や星座などを観測することによって、宇宙に対する興味、理解を深めることができている。	①			カセグレン式反射望遠鏡施設の特長の一つであるため、有効活用する。
兵庫県	林業体験	https://www.shizengakko.jp/data/uploads/school/no73.pdf	小学5年生以上	2～3時間	木伐採や木工クラフト製作を通して、森林の役割等や森林育成・保護に関わる人々の工夫や努力、想いについて理解を深める。	社会(小5)	わたしたちの生活と森林	森林保護や利活用について、直接体験を通して、関心を高め理解を深める。	②	⑧	⑪		自然資源を活用したキャリア教育の視点をもった活動で、林業を実体験できる貴重な機会となっている。	①			児童が、伐採→運搬→加工の作業を体験し、木が倒れたときの音や衝撃、持ったときの重さ、手にしたときの香りや手触りなど、五感を働かせて体感できるプログラムである。
鳥取県	真夏の夜の集い in船上	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1102422/H30manatsu.pdf	小、中学生とその家族	平成30年7月21日(土)・7月22日(日)	・自然の中で様々な体験をしたり、星空観察をしたりすることで、船上山の自然に親しみ、星空に興味・関心を持つことができる。 ・アウトドアでの活動をとおして、親子の絆を深めると共に、他の家族との交流を図る。	理科			⑧	④	⑪		事業全体の満足度は、参加した15家族中15家族が「満足」であった。	①			日頃家族では体験することが難しいキャンプファイヤーや花火、星空観察を行うことができ、船上山の自然に親しみ、星空に興味・関心を持つことができた。
鳥取県	星空観察	daisen_seinen@pref.tottori.lg.jp	小学生以上	1. 5～2時間	理科の星空観察で、実際に野外観察をする。	理科(小4)	月と星	天体について興味関心をもって追及する活動	⑧	⑮		星空に関する知識理解	専門指導員の説明と月と星を実際に見ることで、子ども達の星に関する知識理解が進む。	①			天候により、内容を変える必要がある。
岡山県	海の生物	http://www.shibukawa-ycoop.jp/marine/program/H31_研修プログラム_006.pdf	小中学生	80分	海の生物について知識・理解を深める	理科		海の生物の観察・採集等	⑪	⑧	⑤		海事研修のプログラムの中で実施しており、瀬戸内海沿岸の生態系や環境問題について理解できる	①			立地を生かしたプログラムになっており、SDGsの意識醸成にも寄与すると考えられる
山口県	由宇青少年自然の家 陶芸(手ひねりコース)	https://www.furepaku.com/program/	幼児～成人 1回60名程度	通年、2～3時間	陶芸の体験を通して、焼き物の製造工程や歴史について知り、ものづくりへの興味関心を高める。	図画工作		5年「使って楽しい焼き物」	②	③	⑨		専用の道具がそろっていて、小学校教員では指導の難しい専門的な技術を教えていただけるので、安心して活動することができる。	②			焼きものづくりを指導できる職員が常駐していることで、時期を問わず対応することができる。
徳島県	親子で体験 海辺の環境学習	http://lets-be-ambitious.muginature.com/?id=1299657	小学生と保護者	平成30年度 5月～1月 泊2日(4回)	海洋環境に親しむプログラムの体験を通して自然環境について考える	理科(6年)	生物と環境	プランクトン採集と観察、磯の生物観察など	⑧	⑤	⑨		子供たちが身近な海辺の環境について意識を高めるきっかけになっている。	①			年間4回の活動を通して、季節ごとの環境の変化や海辺の生物の生態について学ぶことができている。実際に自身で体験することからつながる海辺の環境問題に関心を深めることができる内容となっている。
香川県	天体観測	http://pref.kagawa.lg.jp/gosho/	宿泊利用者であれば、誰でも可	30分	宇宙の成り立ちや天体についての興味・関心を高める。	理科	小学校4年「月と星」、小学校6年「月と太陽」、中学校3年「地球と宇宙」、高校「地学基礎」「地学」	身近に観察できる月、惑星、恒星の観察などを行う。	①	⑨	⑪		月のクレーターや土星の環、恒星の色の違い等を、大型望遠鏡で実際に確認できた感動を伝えられる。	①			写真でなく、肉眼で見た天体の迫力に圧倒される場面が多く、天文事象への興味・関心の向上に欠かせないプログラムである。
高知県	クラスまるごとお出かけ授業(化石編)(昔のくらし編)	http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310405/2019022600226.html	化石編:小学校6年生 昔のくらし編:小学校3・4年生	化石編:10～12月 昔のくらし編:10～3月	化石編:学校での化石学習を終えた児童が、化石採集や化石の名前調べ・標本づくりなどの体験学習を通して、科学に対する理解と興味関心を高める。 昔のくらし編:昔の道具を使った体験を通じて、昔の人々の暮らしを肌で感じ、地域の人々の今昔の違いや変化、過去の生活における人々の生活の知恵を知り、理解を深める。	化石編:理科 昔のくらし編:社会科	化石編:土地のつくりと変化 昔のくらし:地域社会の社会的事象	⑨	⑨	⑩		普段の生活や机上の授業では分からなかったことが、実際に体験して実感できるなどの意見もあり、授業理解を深めるプログラムとして好評を得ている。	①			実際に体験することで理解が進み、知識の定着につながっている。新規参加校がある一方で、担当教員の変更などにより参加されなくなる学校もあるため、広報を強化する必要がある。	
福岡県	星空観察	http://fsg.pref.fukuoka.jp/center/katudo/seiza.html	利用者全般	1～2時間	星の観察を通して自然界の移り変わりに触れたり、雄大さを感じたりすることができる。	理科	太陽と地面の様子(3年)月と星(4年)月と太陽(6年)等	授業の補充として体験できるという意味で好評	②	⑧	⑨		さえぎるものがない施設環境を生かし、直接夜空を見ながら解説することで、星に関する興味関心を持たせることができる。	①			星を観察する体験という意味でニーズが高い
福岡県	空・山・海ふくおか地球環境応援隊in玄海	www.fsg.pref.fukuoka.jp/genkai	小学校3・4年生	2泊3日	地球温暖化防止のために自分たちができることを考え、自然環境を守った先にある美しい自然を体験する。	総合的な学習の時間、社会科	社会科「ごみのない街」	海のごみ問題を考える。	⑦	⑧	⑪		今年度、県の重点施策の2年目(3年計画)として、また、昨年度の反省を生かして、充実したプログラムになっている。	①			県環境部環境政策課と連携すること及び県内3青少年教育施設の特性を生かした活動・企画を行うことで、充実したプログラムを実施することができている。
熊本県	マリン活動(カッター船、ペーロン船、カヌー)【あしきた青少年の家(海型)】	http://www.k-seishonen.com/ashikita/hpfiles/program/marin.pdf	どなたでも	2～3時間	仲間と力を合わせて船を動かすことで協調性やコミュニケーション能力の向上を図る。また、海辺での活動を通して、自然尊重の精神を育成する。	体育(小5・小6)	体力を高める運動をしよう	協力体験や自然体験ができ、達成感や仲間との共感を得られる貴重な機会となっている。	③	④	⑫		達成感を味わうことができ、危険予備や自身のリフレッシュ、自然観察などを目的として実施できる。また、グループでの活動となるため、コミュニケーション能力や協調性の育成などの効果も期待できる。	①			集団宿泊体験では多くの団体が希望しており、児童・生徒の達成感も得られると好評であるため。
大分県	豊かな体験活動推進事業	http://www.pref.oita.jp/site/kakaji/ https://www.pref.oita.jp/site/kokono/	公立小学校	モデル校8校(2泊3日)	「主体的・対話的で深い学び」に向けた自然体験プログラムを開発し、小学校教育課程における集団宿泊活動の充実を図る。	国語 ※他にも理科、体育の事例あり	体験レポートづくり	集団宿泊体験をレポートにまとめ、ふりかえりとする。	①	②	⑥		・繰り返し活動する場面が増えたことで次の動きを考へて行動できるようになった。意見交流が出発前より活発になった。仲間の立場を考えた共感的な言動が増えた。	①			宿泊が増えることによる負担感よりは、子どもの成長を実感している評価をいただいている。負担感を解消の鍵となる施設職員の関わりを確立していきたい。

(1) 教科等と関連付けた効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	教科名	単元	内容等	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
鹿児島県	県立青少年研修センター(春の、夏の、秋の、冬の)星空観望会	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/seisyouden/index.html	県民一般	春：4月21日～22日、夏：8月11日～12日、秋：10月27日～28日、冬：1月26日～27日	星空を観望することを通して、宇宙の雄大さにふれるとともに、星座や天体に対する興味・関心を深める。	理科	天体	四季の星空	⑨	⑧			施設の立地環境や天体望遠鏡などの機器、職員による説明により、子どもたちの天体に対する興味・関心が高まった。	県民のニーズに合ったプログラムで、参加者も多い。施設の特徴を生かしたプログラムである。	①		子どもたちの天体に関する興味・関心を高める機会となっているため。
鹿児島県	県立霧島自然ふれあいセンターきりしま星空観望会(♂座流星群、十五夜、ふたご座流星群)	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/kirishima/index.html	県民一般	♂座流星群：8月12日、十五夜：9月24日、ふたご座：12月15日	流星群や季節の星座を観望を通して、星や月等の天体や自然環境に関心を高める。	理科	天体	四季の星空	⑨	⑧			施設の立地環境や天体望遠鏡などの機器、職員による説明により、子どもたちの天体に対する興味・関心が高まった。	県民のニーズに合ったプログラムで、参加者も多い。施設の特徴を生かしたプログラムである。	①		子どもたちの天体に関する興味・関心を高める機会となっているため。
鹿児島県	県立南薩少年自然の家夏(冬)の星空観望会	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/nansatsu/index.html	県民一般	夏：8月12日、冬：12月8日	季節の代表的な星座や流星群などの観望をしながら、宇宙の神秘や雄大さにふれ、天体や自然への興味関心を高めるとともに豊かな心や感性を育む。	理科	天体	四季の星空	⑨	⑧			施設の立地環境や天体望遠鏡などの機器、職員による説明により、子どもたちの天体に対する興味・関心が高まった。	県民のニーズに合ったプログラムで、参加者も多い。施設の特徴を生かしたプログラムである。	①		子どもたちの天体に関する興味・関心を高める機会となっているため。
鹿児島県	県立奄美少年自然の家スターウッチング(春の星空、夏の星空と♂座流星群、中秋の名月観望会、秋の星空、冬の星空とふたご座流星群)	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/amami/index.html	県民一般	春の星空：4月21日、夏の星空と♂座流星群：8月21日、中秋の名月観望会：9月24日、秋の星空：11月3日、冬の星空とふたご座流星群：12月15日	四季の星空や月、流星群などの観望を通して、天体に対する興味・関心を高めるとともに、宇宙の広さや神秘に気づき、探求しようとする心をもたせる。	理科	天体	四季の星空	⑨	⑧			施設の立地環境や天体望遠鏡などの機器、職員による説明により、子どもたちの天体に対する興味・関心が高まった。	県民のニーズに合ったプログラムで、参加者も多い。施設の特徴を生かしたプログラムである。	①		子どもたちの天体に関する興味・関心を高める機会となっているため。
沖縄県	美ら島自然の学び舎「うかがい編」		小学4年～中学3年	6月22日(土)午後1時30分～23日(日)午後2時	やんばるの森や海の自然を活用し、子ども達に自然の大切さを学習する機会を提供する。	理科			⑧	⑪	⑬		うかがいの産卵を目の当たりに体験し、生命の誕生に感動した。自然の重要性、不思議さを感じた。		①		子ども達が生命誕生を通して、自然の生き物を大切にすることの育みを醸成し、自分が何をすべきか考える機会にする。
沖縄県	ありあり！フラパー塾～カタカナ探し探検～		小学生	1泊2日	学校教育で学んだ知識を、実際に活用して「知識の体験化」を図り、さらなる知識の深化を図る。普段当たり前に見えるカタカナについて自ら考え、調べ、発表し、今後の学校教育へステップアップを目的とする。	国語・社会		交通歩道を歩いて、身近にあるカタカナを見つけ、調べ、意味を理解する。	③	⑨	⑩		身近に多くのカタカナがあつて、調べるのが難しかった。	こどもに変化を与えることができた。	①		学校教育で学んだことを体験に変える機会を作る
沖縄県	四季の星空観望会(年4回)・流星群と四季の星座観望	info@okinawa-nanjo-youthhome.jp	小学生以上・一般	四季の星座観望：4月13日・8月12日・11月2日・2月1日 18時30分～20時30分(夏季は19時～21時)流星群と四季の星座観望：19時～翌5時	四季の夜空にきらめく惑星、恒星及び星座を観望することによって、未知の世界への探求心と神秘的な宇宙へのロマンを求める。	理科		四季の星座観望会と天体望遠鏡による惑星の観望会。	②	⑧	⑨		主催事業として毎年年間4回開催しているが、毎回定員50名をほぼ満たしており、根強い人気、高い関心度が伺える。	望遠鏡も設置されていることから、当施設の有料事業であるが、例年同じプログラム内容やその時代ごとの背景やニーズに答えた事業を今後も企画していきたい。	①		28口径反射望遠鏡2基装備されていること、荒天時には屋内に設置可能なプラネタリウム(ドーム)もあり、施設の立地場所も街燈の少ない場所である為、星空観望会開催に適している。

(2) 立地環境の特性(文化、気候等)や設置経緯等を生かした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	活用	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
北海道	春体験塾	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	小学生とその保護者	1日(5時間)	施設周辺での山菜取りや動植物等の観察を通じて自然の豊かさを学ぶ。	・施設周辺の山の散策 ・山菜取り	施設周辺にある石山や周辺フィールドを活用したプログラムになるよう配慮している。また、秋、冬にも実施している。	②	④	⑧		親子・家族で自然体験ができることは素晴らしい。	初心者でも参加できるプログラムであり、参加者が安全に楽しく活動を行うことができる。	①		アンケート調査では、「来年もぜひ参加したい」との声が多くあるため、プログラムを充実させながら実施したい。
北海道	アグリ倶楽部	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	年中～小学4年生とその保護者	日帰り(8時間)を2回	体験を通して農業への興味を高めるとともに、食と地域のつながりや食の大切さを考える機会とする。	・田植え体験(春) ・稲刈り体験(秋)	施設所在地は、稲作が盛んな地域のため、地元農場等と連携したプログラムになるよう配慮している。	②	④	⑧		親子・家族で自然体験ができることは素晴らしい。	初心者でも参加できるプログラムであり、参加者が安全に楽しく活動を行うことができる。	①		アンケート調査では、「来年もぜひ参加したい」との声が多くあるため、プログラムを充実させながら実施したい。
北海道	縄文やっぺ0	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	小学生とその保護者	日帰り(5時間)を2回	土器づくり・野焼き体験を通して、道南地域(施設所在の北海道南部)における縄文文化について学び、地域づくりに関する意識の高揚を図る。	土器づくり	施設所在の縄文文化研究会と連携し、地域づくりにつながるプログラムとなるよう配慮している。	③	④	⑫		親子・家族で体験活動ができることは素晴らしい。	初心者でも参加できるプログラムであり、参加者が安全に楽しく活動を行うことができる。	①		アンケート調査では、「来年もぜひ参加したい」との声が多くあるため、プログラムを充実させながら実施したい。
北海道	「まち」のお宝探検隊	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	親子	1泊2日	オホーツク海の豊かな環境について、自然観察や実験、採集体験を通して、自然を守る大切さを理解する。	・ピーチコーミング体験 ・海の生き物や海に関する説明 ・潮干狩り体験	海に近い立地条件を生かすとともに地元市役所水産漁港課等との関係機関とも連携したプログラムになるよう配慮している。	②	④	⑧		親子・家族で自然体験ができることは素晴らしい。	初心者でも参加できるプログラムであり、参加者が安全に楽しく活動を行うことができる。	①		アンケート調査では、「来年もぜひ参加したい」との声が多くあるため、プログラムを充実させながら実施したい。
北海道	アグリ村のわんぱく隊	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	小中学生	1泊2日を3回	農業体験・調理体験をとおして食育を推進するとともに、特産物について学び、ふるさとへの愛着心と誇りを育てる。	・ラワンキ狩り体験 ・ラワンキを使った調理体験	北海道遺産にも登録されているラワンキ狩り体験など、地元農場と連携したプログラムとなっている。	②	④	⑧		親子・家族で自然体験ができることは素晴らしい。	初心者でも参加できるプログラムであり、参加者が安全に楽しく活動を行うことができる。	①		アンケート調査では、「来年もぜひ参加したい」との声が多くあるため、プログラムを充実させながら実施したい。
北海道	雪遊びとワカサギ釣り	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	小中学生とその家族	1泊2日	施設の教育的機能や地域の資源を活用した体験活動をおとして、ふるさとに対する愛着と理解を深める。	・雪遊び ・ワカサギ釣り	施設周辺フィールドを活用したプログラムになるよう配慮している	②	④	⑧		親子・家族で自然体験ができることは素晴らしい。	アンケート調査では、「来年もぜひ参加したい」との声が多くあるため、プログラムを充実させながら実施したい。	①		アンケート調査では、「来年もぜひ参加したい」との声が多くあるため、プログラムをアレンジしながら実施したい。
青森県	アドベンチャービンゴ	http://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/kyoiku/e-onju/files/H31adven.pdf	小学校4年生以上	3時間(説明30分、活動150分)	起伏に富む森林コースを、指示にしたがって13の関門をまわる活動をおとして、仲間とのチームワークを高め、困難を克服しながら達成感を味わう。	・立地場所の特性(森林や山道)を生かしたオリエンテーリング的な活動 ・コース上にあるフィールドアスレチック的な関門の通過 ・関門での数字合わせによるビンゴ	・施設周辺の山道を利用したアップダウンや、森林コースを生かした参加者の冒険心を刺激するアクティビティを設置している。	③	④	⑦		チームワークを高める要素が多いことから、施設を利用するほとんどの小学校が実施している。	里山の地形を生かしたコース設計となっており、事故・怪我・熱中症等に細心の注意を払って実施し、参加者は安全に楽しく、充実した活動を行っていると考えられる。	①		人気があり、多くの団体からニーズのあるプログラムであるため。
青森県	エンジョイ!海遊び	http://taneshashi.jp/	小・中学生とその家族	1日(5時間30分)	磯遊びやいかだ遊び、サンドクラフト等の海辺での体験をおとして、夏の海を楽しむ。	・いかだ遊び ・カヌー遊び ・サンドクラフト ・磯遊び、蟹釣り	・三陸復興国立公園に含まれる名勝「種差海岸」に隣接しており、海岸の岩礁や砂浜を最大限に活用したプログラムになるよう配慮している。 ・地元の南浜漁業協同組合と連携し、浜辺での活動の安全について万全を期している。	③	⑧	⑨		季節、立地環境に合わせた親子で楽しめるプログラムである。	海辺での活動につき、事故・怪我・熱中症等に細心の注意を払って実施し、参加者は安全に楽しく、充実した活動を行っていると考えられる。	①		非常に人気の高いプログラムであるため。
岩手県	金ヶ崎歴史探訪ウォークラリー	http://www.echna.ne.jp/~kenritu1/	小学校3～6年生または中学生の子どもをもつ家族	1日(9:00～15:30)	金ヶ崎町の歴史と自然に触れあいがあって13の関門をまわる活動をおとして、野外活動の楽しさを体験するとともに、参加者相互の交流を図る。	クイズに答えながら金ヶ崎町にある城内諏訪小路重要伝統的建造物保存地区を巡り、武家屋敷のつくりや金ヶ崎の歴史を学習する。	国選定の重要伝統的建造物保存地区が金ヶ崎町にあり、重要歴史館などの施設と連携してプログラムを進めることができる。	⑦	⑨			「金ヶ崎にこんなところがあることを初めて知った。」「金ヶ崎の歴史について学習できてよかった。」(参加者の感想)	参加した家族からは良い評価を得ているが、事業に参加申込する家族が定員に満たなかった。教育的価値はあるが、利用者のニーズがないことがわかった。	③		このプログラムだけで利用者を集めることは難しいので、小学生を対象とする事業の中で活用する。
岩手県	海の子野外教室	http://www.echna.ne.jp/~kenritu2/	小学校5・6年生	2泊3日	海での活動を通し、思いやりの心や自然を大切にすることを学び、参加者相互の交流を図る。	夜釣り体験、海洋スポーツ体験(イカダ、カヤック、サップ、バナナボート等)、テント設営、野外炊事、沢登り、ナイトネイチャーゲーム	立地環境として、身近に山田町浦の浜海水浴場、施設裏が登山口となっている駒山の沢があるので活動の場として大いに活用している。	④	⑤	⑧		カヤックやいかだ体験、沢登りなど自然に触れる活動をふんだんに取り入れられており、リピーター率が高い人気の事業である。	学校の垣根を越え、自然に触れ合う活動を力合わせて取り組むことにより、体験活動のみならず友情や絆を深められる事業である。	①		山田町教育委員会の協力をいただきながら多様な海洋スポーツができるようになった。今後も連携をとりながら事業を継続していきたい。
岩手県	ジュニアフォレストーズ大作戦	http://www.echna.ne.jp/~kenritu3/	小学校4～6年生【年間登録制】	1泊2日×年間3回シリーズ(夏・秋・冬)	森林に関する学習や体験活動等を季節ごとに行うことにより、自然を大切にすることを学び、環境保全の実践意欲を育てる。	・森林学習(座学、観察等) ・自然体験(テント泊、野外炊事、ツリークライミング等) ・創作活動(巣箱、パドコール、樹木表示等)	周囲を森林に囲まれた施設であり、「森の家」をテーマに設置された経緯がある。	②	⑦	⑧		立地環境、季節に合わせた内容を実践しており、地域の自然環境に迫ることのできるプログラムである。	年間テーマを設定し、3回シリーズの流れを大切にしている。また、毎年新たにテーマを設定することで、継続参加の児童にも新しい発見ができるよう工夫している。	①		当施設の立地環境に適したメインのプログラムと考える。
宮城県	「シーカヤック体験(松島自然の家)」「ヨット&マリンスポーツ(志津川自然の家)」「初心者のための山ガール教室(蔵王自然の家)	松島: https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/matsushima-ont/ 志津川: https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sz-seinen/ 蔵王: http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zao-syounen/	県民一般	シーカヤック及びヨット&マリンは7月、山ガールは年3回(7・9・2月)	それぞれの立地環境を生かした、マリンスポーツと女性の登山を主催事業として行う事によって、今後の生涯学習スポーツにつなげる。	マリンスポーツと、女性の登山に関する入門編。	マリンスポーツと登山。	②	③	⑧		県民一般から高評価を受けている。	この事業への参加をもとに、立地条件を生かした自然体験的なスポーツに参加するリピーターが多く、モチベーションを達成していると考えられる。	①		今後も充実したプログラムにしていきたい。
秋田県	鳳凰山(秋葉山)登山		幼保年長児以上	基本は春～秋だが、雪山登山も可能(実績も有り)。	地域の里山に登ることで、地元の豊かな自然に触れ、その良さを実感とともに理解する。	・登山 ・植物観察 ・大文字駒形見学(鳳凰山)	秋葉山、鳳凰山ともに市街地に隣接する形で位置している里山である。一般の方々も、普段からトレッキングや登山のコースとして慣れ親しんでいる。	③	⑤	⑧		季節によって眺望の変化も楽しむことができ、親子でも取り組めるプログラムである。	特に鳳凰山の大きな文字駒形からの眺めは圧巻である。大館市民には人生で一度は登ってもらいたい、その景色を感じてもらいたい。	①		学校団体によく利用され、主催事業でも参加人数の多いプログラムであるため。
秋田県	カヌー体験	https://www.facebook.com/HOROTTO	小学生以上	3時間程度	カヌー体験によって自然に親しむ心を育てる。	1人乗り32艇、2人乗り4艇を使って40名程度までを限度として、3時間程度の日程で実施している。	片道35分の山道を徒歩で移動し、農業用のため池(六沢堤)でカヌー体験を行っている。山道を歩くこととカヌー体験が一緒に行えることもあり、宿泊体験学習で利用する小学校のほとんどが実施する人気のプログラムとなっている。	①	③	⑧		入所する小学校の95%以上がカヌー体験を希望して実施している。	子どもから大人まで楽しくできる活動であり、大人気のプログラムである。	①		講師の確保と用具の維持管理が課題であるが、プログラムを維持していきたい。

(2) 立地環境の特性（文化、気候等）や設置経緯等を生かした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間（時間）	趣旨	内容	活用	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
山形県	【青年の家】 山形県青年の家体験講座①「舞鶴山でスポGOMI！」	http://seinen.jp/	中高生・一般（定員30名）	午前半日（2時間30分）	地域で活動する青少年等に、活動に役立つ知識や技術を習得してもらうとともに、新たな活動分野について考える機会を提供する。	舞鶴山でスポーツ型式のゴミ拾い	天童市の中心に立地する舞鶴山（天童公園）に隣接しており、公園のゴミ拾いを県内でスポーツ型式のゴミ拾い活動（スポGOMI）を行っている最上川フォーラムの指導のもと楽しく安全に事業を実施している。	③	⑧	⑩		ゴミ拾いを通して公園がきれいになるだけではなく、班同士の交流もでき、参加しての達成感もある。	野外での活動のため、熱中症や怪我などの事故に十分に注意を払った上で、仲間づくりや街の美化にも成果があるようにしている。	①		参加者が多く、人気のあるプログラムであるため。
山形県	【金峰少年自然の家】 カヌー活動（海・川・川ツアーリング）	https://kaihin.asoviva-p.jp/activity/	小学生～成人（小学3年生以下は大人と同乗）	平成30年5月15日～9月22日	カヌー操作に関する技術を身につけるとともに、雄大な自然に親しむ。	カヌー活動実施にあたって、指導員による乗り方、基礎的な操作方法等の説明後、4名で構成されるパディーごとに1人乗り、2人乗りのカヌーに乗船し、雄大な自然を体感しながら、カヌー体験をする。また、利用団体のニーズに合わせて、海・川カヌー体験後の発展プログラムとして川カヌーツーリング体験も提供している。	本施設は、庄内平野北部の海洋・山岳地帯に位置し、日本海・鳥海山エリアの恵まれた環境の中で、海カヌー・川カヌー双方の活動プログラムを準備している。	①	⑦	⑪		カヌー活動を実施した団体からの評価は高い。しかし、天候や気象状況により中止になる場合もあるため、活動のねらいが達成できなかったとする評価も表裏一体としてあることは事実である。	学校団体、社会教育諸団体等の需要が高く、本施設を中心とする活動メニューである。各種団体からも高い評価を得ており、自然体験学習のねらいを達成する上で非常に効果的である。	①		人気のある活動メニューであり、利用団体の需要が高いため。
山形県	【飯豊少年自然の家】 夢いっぱいどんぐり広場	http://www.iideshonshizennoie.jp/	幼児教育施設・小学校などの各種団体	9月上旬～11月上旬	秋の野山で木の葉拾いをして、自然への興味・関心を高め、豊かな感性を育む。	飯豊少年自然の家は、県内青少年教育施設の中で最も広い敷地を有しており、その広大な野山の中を散策しながら、どんぐりや葉を拾ったり、紅葉した木々を眺めたりすることができる。豊かな自然の中で秋を五感で感じることができる内容となっている。	飯豊少年自然の家の周辺の山では、マツ、コナラ、ミズナラ、クヌギなど、たくさんの広葉樹が生えている。近年はアカマツ林が松枯れの影響で減少しているが、豊かな自然環境を生かしたプログラムを提供し、利用者には大変満足していただいている。	⑦	⑧	⑪		＜利用者の声＞ ・木の葉拾いが楽しかった。 ・子供たちに自然をたっぶり体験させることができた。	秋の野山を歩きながら、木の実を拾ったり紅葉した木々を眺めたりすることで、自然を体全体で感じることができる。この他に焼き芋体験プログラムもっており、毎年たくさんの申し込みをいただいている。	①		今後もたくさんの団体に利用していただけるよう、HPやチラシなど広報活動に力を入れて継続していきたい。
山形県	【神室少年自然の家】 伝承文化ふれあいキャンプ	http://www.kamuro-syounen.org/	小・中学生とその保護者	平成30年12月9日（日）	地元老人クラブとともに年末年始の伝承文化活動を体験する。	年越し・正月の行事体験しめ飾り作り	地元の山林等でとれる材料（ワラ・カヤ・ユズリハなど）を使って、しめ飾りを作成している。材料の調達や加工だけでなく、事業当日の運営にも老人クラブの方々から協力頂いている。	⑪	⑩			普段、交流のない世代とかかわる機会となり、普段経験することのない季節の行事に触れられ、充実した体験となった。	時間配分に余裕を持たせたことで、異年齢交流の機会が層確保できた。	①		伝統的な季節行事を通して、異年齢交流の機会を確保していきたい。
福島県	オープンデー		どなたでも	9月8日	自然の家を一般の方へ開放し普段の活動プログラム等が体験し知っていただく。	自然の家を一般の方へ開放し普段の活動プログラム等が体験し知っていただく。	隣接している山を使ったフィールド活動や施設内の設備を一般に開放し活動して自然の家の活動を知っていただく機会となっている。					今年度は春に小規模なものを開催したが好評を得ている。	良い機会であり、満足度の高い内容だと感じる。	①		自然の家の活動を知っていただける絶好の機会と感じている。
福島県	川の学習	https://aizu-nc.fcs.ed.jp/	小学生高学年以上	4月～10月 2時間	身近な河川を調べ、環境についての理解を深める。	水生生物を採集したり、水の透明度測定を行ったことで、河川の環境調査を行う。また、流れる水の運搬・浸食・堆積等の動きについて学習する。	本所より10分程度にある阿賀川において、北陸地方整備局指定の河川協力団体の支援を受けて実施している。	⑤	⑧	⑪		人的に多数の協力・支援を頂くので安心して学習ができることや水生生物の分類等専門的な学習ができることから評価は高い。	河川協力団体と連携して実施するため、安心感をもって実施できる。内容も充実して学習効果の高いプログラムである。	①		
福島県	海浜活動プログラム	https://iwaki-nc.fcs.ed.jp/program	学校教育団体、社会教育団体（いかだ乗り、カヤック乗り、ボディボードを除く）	通年（いかだ乗り、カヤック乗り、ボディボードのみ5月下旬～10月上旬）（2～3時間）	海での自然体験を通して、仲間と協力することの大切さ、自然環境について考える機会を提供する。	磯遊び、魚釣り、砂の芸術、ボディボード、いかだ乗り、カヤック乗り等	所にほど近い舟戸海岸、四倉漁港、四倉海岸周辺が活動場所となっており、「いわき七浜」と呼ばれる太平洋沿岸の自然を活用している。いかだ乗り、カヤック乗り、ボディボードについては、漁業協同組合、港湾建設事務所、海上保安部と連携し、活動場所を確保している。	③	⑦	⑧		海で活動を満喫できる自然体験プログラムとして、学習支援とともに、参加者の安全管理に努めている。上記の活動の際は、救急箱とAEDを持参している。		①		好評を得ているプログラムであり、参加者の協調性や達成感を育てることができるプログラムであるため。
茨城県	親子ふれあいつり大会		小中学生親子	2日（各5時間）	地域との交流を図るとともに、幅広い年齢層で利用される施設運営を目指し、北浦の保全と親子のふれあいの機会を提供する。	・つり大会 ・北浦湖畔の清掃	水戸市より南約50Km、豊かに水と緑に囲まれた北浦湖畔、行方市白浜の台地に立地し、北浦を見下ろすことのできる景勝地である。	②	⑧	⑬		地形的な特徴を有効に活用することで、環境保全に目を向けることのできるプログラムになっている。	湖畔での活動になるため、安全面に配慮しながら楽しく活動できるよう工夫されている。	①		地域の環境保全に対する意識を向上させるために有効であると考えるため。
茨城県	親子でドキ・土器はっくつ体験		小・中学生及びその保護者	1日	親子で茨城県内の遺跡や古墳等を発掘調査体験することにより、埋蔵文化財に関する興味や理解を促進するとともに、郷土を愛する心情を醸成する。	・講師による埋蔵文化財に関する講義 ・遺跡の発掘体験 ・遺跡や遺物に関する博物館等の見学	地域の特性として、平安期の武将平将門を祀った「國王神社」をはじめ、多くの遺跡や文化財がある。それら地域の文化財を有効に活用していく。	②	⑧			地域の歴史的に価値のある資源を、有効活用することができるプログラムになっている。	身近な地域に目を向ける良ききっかけとなっており、郷土愛を育む上で有効であると考える。	①		地域理解、郷土愛を育む上で有効であるため。
茨城県	秋の朝日峠ウォーキング		家族・一般	1日	竜ヶ峰や朝日峠など、恵まれた自然環境（地域資源）を生かしたウォーキングを実施し、豊かな自然を感じながら、心身の健康増進を図る。	ウォーキング	水郷筑波国定公園の中にあり、関東の名峰筑波山系の東南端竜ヶ峰（標高180m）の恵まれた自然環境を有効に活用できるようなプログラムを工夫している。	⑧				地形的な特徴を生かし、豊かな自然に目を向けることのできることに、健康増進に寄与するプログラムになっている。	自然環境を生かしたウォーキングや、参加者同士の交流など、心身の健康の保持増進を図る上で有効なプログラムになっている。	①		健康に対する意識の高まっており、それに応えていくことが必要と考えるため。

(2) 立地環境の特性(文化、気候等)や設置経緯等を生かした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	活用	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
栃木県	西明寺見学(芳賀青年の家)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m61/education/shougai/kanrenshisetu/katoudounaiyou.html	園児以上	通年実施。1時間程度	県立公園内にある西明寺を見学することで、歴史や文化財を学ぶ。	・自然環境の説明 ・文化財の説明・見学	県立公園内にある西明寺(芳賀青年の家に隣接し、国指定重要文化財はじめ多くの文化財がある)を見学し、歴史や文化財を学ぶ機会を提供している。また、観光ボランティアガイドと協力し、質の高い学びの場を提供している。	⑤	⑧	⑬		歴史や文化を詳しく学べるプログラムである。	地域のボランティアと連携し、質の高い学びの機会を提供できていると考える。	①		希望する利用団体が多いため。
栃木県	太平山ハイクとぶどう狩り(太平少年自然の家)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m62/syusai/h30budugarai.html	栃木県在住の5歳以上の子どもとその保護者	9/8:4時間	初秋の太平山の自然に触れるハイキングと旬のぶどう狩りを楽しむ。	・大平地区ぶどう園でのぶどう狩り ・太平山ハイキング(植生の解説、民話語り) ・ザリガニ釣り(幼児や低学年対象)	・大平地区(太平山周辺)の名産であるぶどう狩りを地区内のぶどう園に協力いただいて実施している。 ・大平地区にある寺院に伝わる伝説を高校生ボランティアが解説	③	④	⑧		・旬の味覚を味わえる ・自然や文化に目を向けることができる	9月上旬の事業であり、熱中症等が気になるが、高校生等の多くのボランティアが参加することで、交流、安全確保が可能である	①		人気が高いプログラムであり、地域と協力し実施できる事業である
栃木県	海浜の旬・メロン(とちぎ海浜自然の家)	http://tochigikaihin.jp/app-def/S-102/wp/wp-content/uploads/2019/05/30meron1.pdf	栃木県在住の方	6/1~2、8~9:1泊2日	メロン狩り体験や様々な体験活動とおして、収穫の喜びを味わう。	・メロン狩り ・塩作り ・砂浜遊び ・ダッチオープンでの調理活動	施設がメロンの名産地である茨城県銚田市に所在しており、かつ海岸に面しているため、2日間で多くの体験活動に触れることができる。	⑧				美味しいメロンが味わえるだけでなく、栃木県内では触れることができない海の活動を体験できる貴重な機会となっている。	リピーターが多く、質の高い自然体験活動の機会を提供できていると考える。	①		希望する利用団体が多いため。
群馬県	親子登山②「紅葉の妙義登山」		県内在住の中学生以下の子どもとその保護者	平成30年11月3日(土)	親と子が、紅葉時期の登山を実施することにより、健全な青少年の育成と親子の絆を深められるようにする。	・登山	施設が、日本三大奇景の一つとされる妙義山中にあり、一般向けに整備された登山コースを利用する。 ・地元の山の会のメンバーが支援にあたり、安全確保に万全を期している。	②	③	④		・初めてでも、所員やボランティアがいるので安心して参加できた。 ・美しい紅葉を見ることができて、よい記念になった。	アンケートの記述から、ぜひまた親子で参加したいという意見や、達成感があり楽しかったという感想が多く、ふだん家族単位だけではなかなかできない体験に事業のニーズの高さが伺えた。	①		
埼玉県	ながとろ川ガキシリーズ～ラフティングに挑戦！編～	https://www.nagatoro-genki.com/	小学3年以上(中学生以下保護者同伴)・一般	日帰り	ラフティングの体験とおして、川遊びの楽しさを知る。	・川についての講義 ・ラフティング体験	・施設周辺の荒川を生かし、川遊びを楽しめるようプログラム化している。 ・民間施設とも連携し、安全に活動できるように配慮している。	②	④	⑧		季節、立地環境に合わせた親子で楽しめるプログラムである。	川辺での活動につき、事故・怪我・熱中症等に細心の注意を払って実施し、参加者は安全に楽しく、充実した活動を行っていると考えられる。	①		ニーズもあり、地域の教育資源を生かしているため
埼玉県	バンガローに泊まろう！～山小屋体験と和紙づくり～	http://ogawagenki.com/	小・中学生とその家族	1泊2日×2回	和紙作りやバンガローでの宿泊体験とおして、親子の絆を深めるとともに参加者同士の交流を図る。	・和紙によるランプシェード作り ・野外炊事 ・焚き火交流会 ・和紙漉き体験	・町の伝統文化である和紙作りを体験している。 ・伝統工芸会館と連携することでネットワークを構築している。	④	⑤	⑨		和紙作りや野外炊事など親子で楽しめる、他の家族とも交流ができるプログラムである。	町の伝統文化に触れることができ、また、自然の中で家族間の交流もできている。参加者からの評価も高いプログラムとなっている。	①		ニーズもあり、地域の教育資源を生かしているため
千葉県	竹明りで街をかざろう	www.touganeyouth.jp	高校生	9月26日	地元里山の孟宗竹で街を竹明りを作り、作品を街角に飾り、街の活性化につなげることを目的としている事業。	地域連携を考慮し、地域の団体等の参加による事業としているため、今回は地元の高等学校36名の生徒の協力により、竹明り作りを行った。作り方の指導及び参加した高校生が竹明り作りの指導を行うにあたってのポイントを指導した。作品は道の駅フェスティバルに展示した。	里山に生育している孟宗竹の活用。里山保活動の一環としている。	⑧	⑨	⑮	街活性化への意識高揚	①身近にある竹でみんなが喜べる作品が出来ること。	①地域の環境美化に寄与していること ②創作の喜びを感じてもらっていること ③街の活性化につなげられていること	①		地域への更なる普及のため
千葉県	親子でカッター&シーカヤック	http://www.echiba-sports.org/kamo/k-top.html	小学生以上の親子・一般成人	8月11日～12日(1泊2日)	鴨川青年の家の特色であるカッターとシーカヤックの基礎的・基本的な技能を習得するとともに親子でマリンスポーツの楽しさを味わう。	・カッター研修 ・シーカヤック研修 ・野外炊事 ・花火遊び	・千葉県立鴨川青年の家は南房総国立公園の景勝地、鴨川松島と仁右衛門島が望める鴨川市太海に海設立された県内唯一の海洋型青年の家である。海を活かした研修となるよう配慮している。特にカッター研修では地元の鴨川漁業協同組合と連携して、鴨川漁港を使用させてもらい、安全にカッター研修が行えるようにしている。	③	⑥	⑫		日常では経験できないことが体験できて、夏の海を満喫できた。とても良い思い出となった。	カッターとシーカヤックの両方が体験できる唯一のプログラムである。立地環境の特性を生かしたプログラムでもある。	①		参加者の満足度が高く、立地環境を活かしたプログラムであるため。
東京都	Try!! Kid's English guide around Mt. Takao!! (東京都 高尾の森わくわくビレッジ)	http://www.wakuwaku-village.com/event/socialeducation/641.html	小学4年生～6年生 20名	1泊2日(10月)	小学生が外国人とコミュニケーションをとる機会を設け、外国人と関わる楽しさを知る契機とする。	・レクリエーション ・高尾山で英語ガイドを行っている団体からレクチャー、レッスン ・イングリッシュガイドに挑戦 ・ふりかえり	・高尾山に近いことから、高尾山に訪れる外国人観光客へのおもてなしを行う。 ・地元の英語ガイド団体と連携、レクチャーとレッスン、実際のガイド時も団体メンバーが同行	②	④	⑩		参加児童からは、外国人に緊張しないで話かけることができた、英語が好きになった、もつと英語を使っていたい、という感想がある。	外国人への観光ガイドによる国際理解への第一歩となるだけでなく、宿泊体験やグループ活動を通じたコミュニケーション力の向上、他者理解を促すきっかけとなっている。	②		おもてなしの心を育むため、ガイドを受けていただいた方に参加者が作成した折り紙を渡す等のお礼プログラムを検討していく。
神奈川県	もりっこ	http://www.ashigara-fureai.com/camp-ivent-30-report/	未就学児とその保護者	日帰り	五感を使った自然体験を通して、自然の中で活動する楽しさを肌で感じる。	森散歩、草花遊び、水遊び、木の実・落ち葉遊びなど	「足柄ふれあいの村」が設置されている足柄の森やその周辺の自然を舞台に自然体験プログラムを企画している。	①	③	⑧		子どもが五感を通して季節ごとの自然体験を楽しめる、子どもが飽きないようプログラムに工夫がされている、などの感想を得ている。	未就学児を対象とする自然体験プログラムのため、ゆとりのあるスケジュールで子どもが無理なく楽しめるよう配慮して実施している。	①		参加者から好評を得ているため。
新潟県	カヌー体験	www.pref.niigata.lg.jp/shizen/	利用団体	6月から9月	カヌー体験を楽しむ	カヌー操作、カヌー体験	施設が海岸の近くにあるため、海に流れ込む河川を利用してカヌー体験を行っている。	①	③	⑥		利用団体の一番の目的がカヌーである。	カヌー体験の一番の特色あるプログラムである。	①		引き続き、安全に留意しながら実施する。
富山県	池遊び	https://www.kureha-ie.jp	小・中学生とその家族	2時間～3時間	三楽池と名付けた池の周辺で、いかだ遊び、ターザンロープ、池ジャングルという3つの遊びを、指導者が見渡す中で同時に楽しむ。	・いかだ遊び ・ターザンロープ ・池ジャングル	・敷地にある池を利用し、その周辺に3つの遊び場所を手作りで設置した。それぞれの遊びに指導者を置いて行うが、どの遊びも一望できるため、指導者として安全管理がしやすい。	②	④	⑬		自然を感じながら、体を使って思い切り楽しめるプログラムである。	小学生だけでなく、幼児から大人まで幅広い年齢で楽しめるプログラムである。子供にとっては、スリルがあり、「怖いと思っていたけどできた。」などの満足感、達成感を味わうことができる。	①		非常に人気の高いプログラムであるため。

(2) 立地環境の特性(文化、気候等)や設置経緯等を生かした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	活用	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
富山県	冬の里山を探検しよう！(なかよし合宿～冬の集い～で実施)	http://shizentonami.jp/gyouji.html	小学校1～3年生	90分	冬の自然を体験をととして感じる。	・冬芽の観察 ・木の伐採見学 ・森を守る仕事について学ぶ	・いろいろな種類の木々がある。 ・自然のまま育ち、混んで日当たりが悪くなっている木や、病虫害により枯れていたりする木が近くの林の中にある。	②	⑧			季節、立地環境に合わせた自然を楽しめるプログラムである。	冬期間、寒くて外の植物の自然になかなか目が向かない中、自分たちで歩き、自分の目で観察することで、自然を体感するのに有効なプログラムであると考えられる。	①		冬に自然を体感できるプログラムであるため。
富山県	北アルプス雲上りゾートに泊まる!!残雪スノービクニックツアー!!	http://www.tateyama-so.jp/event/event.html	小・中学生から大人	1泊2日	ラムサール条約指定の国立公園内でスノートレッキングを楽しむ。	・スノートレッキング	・ラムサール条約指定の国立公園内の環境を最大限に活用したプログラムになるよう配慮している。	③	⑧	⑨		季節、立地環境のなかで楽しめるプログラムである。	利用者が立山を満喫し充実して参加することで利用促進につながっている。	①		リピーター効果が期待できる非常に人気の高いプログラムであるため、今後も継続していきたい。
石川県	海洋チャレンジプログラム	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/kaiyou.html	石川県内小学校4年生から中学校3年生	7月下旬から8月上旬にかけて2コース各2回実施 2泊3日(約16時間)	洋上体験や離島体験を通じて、石川の海の素晴らしさを体験する。	①実習船を利用した七尾湾での洋上体験(プランクトン観察、環状体験など)、いかだ体験、地引き網体験、星空観察など ②大型カヌー体験、離島への渡航・島民との交流体験、ウォークラリー、磯釣り体験、磯遊びなど	①里山中腹の人工池や近くの港湾や海岸利用が可能な立地条件 ②海岸(満潮)近くの立地条件 ③周辺の海洋体験施設や定期船の利用が1日で可能であること	⑥	⑦	⑧		参加者からは、「友達と協力して活動ができた」といった声が多く、満足度も毎年90%超であり、非常に高い評価を得ている。	石川の海の自然を体験するだけでなく、2泊3日の集団宿泊を兼ねて実施しており、子どもたちの協調性や社会性の涵養も図られている。	①		申込が多く、子どもたちのニーズや満足度が高いプログラムであるため。
福井県	経ヶ岳紅葉登山(奥越高原青少年自然の家)	http://info.pref.fukui.jp/syougai/okuetsu/hp-1.3/index.htm	小学4年生以上(ただし小中学生は保護者同伴とする)	平成30年10月20日(土)～21日(日)	県内最高峰の経ヶ岳山頂へ登ることで、心身の健康増進を図るとともに、奥越の大自然の素晴らしさを体感する。	20日(土)の夕方に開講式を行い、夕食後、登山説明会実施、21日(日)6:30登山開始、16:00下山完了。	経ヶ岳(標高1600m)の登山道入り口付近に施設(標高600m)が位置している。	③	④	⑦		登山前夜の説明会、当日のコース等好評を得ている。	奥越の自然の素晴らしさを知ってもらい充実したプログラムである。	②		登山の後れをとる参加者のサポートをどのようにするか。
福井県	サマーチャレンジ(芦原青年の家)	http://www.pref.fukui.jp/doc/awara-seinen/	県内の小学4年～中学3年	平成30年8月7日(火)～8月11日(土)	豊かな里山里海湖での自然体験や野外活動、異年齢の子どもたちとのふれあいの中で、自主性、協調性を養う。	4泊5日の長期宿泊体験プログラム。いかだづくり、いかた乗り、星空観察、テント泊、里山里海観察会、野外炊きさん等。	施設が北湖湖畔に立地しており、カヌーやいかた乗り体験を気軽に楽しむことができる。	②	③	④		例年、定員を上回る応募があり、低料金(20,000円)で、長期宿泊体験が可能と好評を得ている。	参加者、ボランティアの満足度が大変高く、青年の家での活動を満喫できるプログラムである。	①		年間事業の中で、子どもに長期宿泊体験をさせることのできる唯一の事業であるから。
福井県	ワクワク楽しいいきこり体験(鯖江青年の家)	https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sabae-seinen/index.html	幼児～中学生(保護者同伴)	平成30年6月9日(土)9:00～12:00	丸太切りを体験することで、樹木に親しみ、里山保全や森林育成への興味・関心を高める。	・丹南農林総合事務所職員の講義 ・丸太切り体験 ・木工クラフト	施設が上岡山中腹に位置しており、里山について学習することに適している。	③	④	⑧		丸太切りが未経験である参加者が大半を占めており、貴重な体験になったと好評を得ている。	里山保全や木材活用について学習させることができる貴重な機会である。	①		「説明が分かりやすく、楽しく貴重な体験ができた。」等の声が多かったから。
福井県	サマーチャレンジ(三方青年の家)	http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/mikata-seinen/	県内の小学4年～中学3年	平成30年8月21日(火)～8月25日(土)	豊かな里山里海湖での自然体験や野外活動、異年齢の子どもたちとのふれあいの中で、自主性、協調性を養う。	4泊5日の長期宿泊体験プログラム。ポート体験、スノーケリング、キャンプファイアー、アイスクリューム作り等。	施設が三方五湖の湖畔に位置していることから、ポート体験等が可能である。	②	③	④		家庭では味わうことのできない自然体験活動ができるということにより好評を得ている。	参加者、ボランティアの満足度が大変高く、青年の家での活動を満喫できるプログラムである。	①		年間事業の中で、子どもに長期宿泊体験をさせることのできる唯一の事業であるから。
山梨県	甲斐児わいわい紀行	http://youthcenter.yya.or.jp	小学5・6年生	4泊5日	仲間と協力しながら取り組むことで、主体性を育むとともに、信頼、協力、協調、規律などの意味を実感し身につける。	・野外炊事 ・野外散策 ・キャンプファイヤー	・ハケ岳の雄大な自然の最大限活用したプログラムになるよう配慮している。	②	⑥	⑦		参加者同士が協力しながら体験活動を実施し、達成感の持てるプログラムである。	夏の野外活動であるため、熱中症や事故、アレルギー等に細心の注意を払って実施し、参加者は充実した活動を行っていると考えられる。	①		非常に人気の高い事業であるため。
山梨県	冒険ハイイク	なし	小学生 中～高学年	4月～10月・約1時間 40分～2時間30分	・小集団活動を通して、協調性・社会性・創造性・冒険心を養う。	・自然の家の敷地内の目印をたどり、グループの仲間と協力しながら課題を解決し、冒険心や判断力、体力を養う。	・自然の家の広大な敷地内の森や林、小川、山道、草原などを活かしたコースに丸太や木材で作った体験遊具を12箇所設置している。	⑤	⑧	⑩		当施設で最も人気のある体験プログラム	毎日職員によるコースの巡回・点検を行っている。また、引率者にも事前の下見やコース内の人員配置などの活動支援を徹底している。当日の参加者へのオリエンテーションをしっかり行い、事故・怪我・熱中症等に細心の注意を払って実施し、参加者は安全に楽しく、充実した活動を行っていると考えられる。	①		非常に人気の高いプログラムであるため。
長野県	体験の森	http://moti-shizen.com/	どなたでも	令和元年11月9日(土)～10日(日)	自然の中で樹木や動物たちの足跡などの観察や、動物との共生・積み分けの仕方などを学ぶほか、間伐材等を使ったクラフト作りを体験する。	林道や森の中で樹木や動物たちの痕跡を観察し、動物との共生・積み分けの仕方などを学ぶほか、間伐材等を使ったクラフトを作る。	カラマツ、ヒノキの植林地 広域鳥獣保護管理員、林業関係者の存在	⑧	⑬			参加者からは楽しかったとの感想をいただいている。	(昨年)参加者が少なく、PR不足を感じている。	①		PRの強化、参加者の利用しやすい備品を整備するなど参加者増を図り継続したい。
静岡県	ナビゲーションスポーツ・キャンプin朝霧	asagiri.camping.or.jp	家族、小グループ	1泊2日	・ナビゲーションスポーツの魅力を多くの人々に伝え、普及を図る機会とする ・ナビゲーションスポーツの普及を通して、自分自身でリスクマネジメントを行い、野外活動をより安全に楽しく実施することの大切さを伝える機会とする ・ナビゲーションスポーツの体験を通して、家族や仲間達とのよりよい関係づくりのきっかけをつかむ機会とする	・朝霧マウンテンオリエンテーリング ・ロングコース・ショートコース、キャンプ ・はじめてのナビゲーションスポーツ ・コンパスワーク、フォトオリエンテーリング	市の財産区議会の協力を得て、当該施設を窓口とした事前の許可申請手続きにより、区内林内でのオリエンテーリング等ナビゲーションスポーツを開催できるようにしているとともに、県オリエンテーリング協会の協力を得て区内林内のオリエンテーリング専用マップを整備している	③	⑤	⑮	ナビゲーションスポーツの習得及び向上	ナビゲーションスポーツを愛好している人々には、朝霧マウンテンオリエンテーリングナビゲーションスキル(現在地を把握し、目的地まで迷うことなくたどり着く技術)を向上させることにより、ナビゲーションスポーツの魅力を知る機会と、地域やコンパスに初めて触れる家族には、ナビゲーションスキルを身に付け、活用して自然と触れ合う機会として評価されている。	様々なナビゲーションスポーツの愛好者及びアスリートと、ナビゲーションに初めて出会う人々が一堂に会し、それぞれのレベルに応じて自然と触れ合う機会となったり、一般の人々がアスリートと出会うことによりナビゲーションスポーツの魅力を知る機会となったり、自然体験を行う際の必須スキルである「ナビゲーションスキル」として評価されている。	①		施設として取り組んでいるナビゲーションスキルとナビゲーションスポーツの普及と振興を図る重要な事業の一つとして、取り組む。
静岡県	エンジョイ家族	http://yaisei.jp/index.html	家族	1泊2日	家族でカヌーや海釣りなどの自然体験を行い、他の家族と交流しながら過ごすことで、家族のつながり深める。	・カヌー体験 ・海釣り体験 ・エンジョイパーティー ・創作活動 など	駿河湾に面した焼津石津浜の自然(海)を十分感じられるプログラムとなるよう配慮している	③	④	⑧		リピーターの応募も多く、毎年抽選により参加者を決定している。焼津の海を満喫できるのはもちろんのこと、パーティーを通して家族間の交流も深まり、人気の事業である。	主な活動は海であり、事故・怪我等に注意を払って実施し、参加者は安全に楽しく、充実した活動を行っていると考えられる。	①		非常に人気の高いプログラムのため。
静岡県	ダブルハルカヌー	http://mikkabi-mfp.jp/	3歳以上	3月から11月まで	・浜名湖へ漕ぎだすことにより浜名湖の自然に親しみ、自然への興味・関心を高める ・仲間と協力してダブルハルカヌーを進めることを通じて、協力する楽しさを感じる	ダブルハルカヌー漕艇	浜名湖畔に位置し、雄大な自然環境を十分感じられるようなプログラムとなるよう配慮している	③	⑥	⑬		浜名湖の自然の中、浜名湖について学習することができ、友だちと協力する大切さを学ぶことができた。	水辺の安全や研修生の体調を十分に配慮し、自然の大切さや協力する楽しさ、自分の役割を最後までやり遂げることを指導できた。	①		施設運営の主軸となるプログラムであるため

(2) 立地環境の特性(文化、気候等)や設置経緯等を生かした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	活用	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
静岡県	冒険ラリー	https://www.inh.co.jp/~kannyonam/a/index.html	小学校4年生以上	通年	子どもたちが目標とコースを決め、「知恵・勇気・協力」をキーワードに自主性・協調性を育む。	自分たちで目標とコースを決めて一日かけて決めたコースを歩く活動	緑濃い観音山の大自然の中で、自然のすばらしさを全身で感じられるようなプログラムとなるよう配慮している	②	③	⑪		利用するほとんどの学校が実施するプログラムであり、各学校の実態に応じて、目標・コース設定ができ、達成感を感じられる。	学校のねらいに沿ったプログラムであり、また作成したねらいやコースは所員が事前にチェックすることで、事故・怪我等に細心の注意を払って実施し、参加者は安全に楽しく、充実した活動を行っていると考えられる。	①		学校の取り入れたいプログラムであるため。
愛知県	家族で田植え体験	http://yagaicenter.sports.coocan.jp/event/memory30/02%20taue/h30taue_kiroku.html	3歳以上の子どもとその家族	5月 2時間30分(主催イベント)	田植えを実際に体験することで、お米作りを身近に感じるとともに、田んぼの中に入ること、泥遊びを楽しむ。	・田植え体験(手植え)	幻のお米と言われる「ミネアサヒ」の産地である作手高原に隣接しており、地元農家の方の協力(講師・田んぼの使用)を得て実施している。	②	③	⑧		・普段できないことを体験できるので嬉しい。 ・お米作りに興味を持った。	田植え体験だけでなく、稲刈り体験も行っている。田植えから稲刈り、さらにそのお米を食べるまでを通して味わうことができる。	①		人気が高いプログラムであるので、地元農家の方の協力が得られる限り継続していきたい。
愛知県	地引網体験	http://sizennoie-mihama.jp/program/	小学生以上	3月～9月(海水浴シーズン除く)	施設付近の海岸にて地引網をおこなう。	施設が海岸のすぐそばにある。遠浅の海岸であり、地引網に適している。協力して頂ける漁師が近隣に住んでいる。	施設が海岸のすぐそばにある。遠浅の海岸であり、地引網に適している。協力して頂ける漁師が近隣に住んでいる。	④	⑥			海から近いという自然環境を活かしたプログラムであり、特に山間部の小中学校から高く評価されている。	とれた魚を自分で捌き、調理して食べるという体験は普段の生活ではあまりできない体験であり、食育の面でも貢献していると考えている。	①		人気のプログラムのため、継続していく。
愛知県	ネイチャーゲーム	http://www.hm11.aitai.ne.jp/~asahi/katoudou.html	小学生以上	通年 2～4時間	五感を駆使して自然との結びつきを体験する。	専任講師と利用者との直接的なやりとりにより、利用者のニーズに応えるべく様々なプログラムに対応している。施設内のあらゆる自然物が学びの対象となる。	本施設は標高620Mの旭高原のヒルトップに建つ。周囲の丘陵はもちろん、敷地内も豊富な樹木や植物、野生の生き物等に多く出会える。人工林と雑木林がほどよく混生している。	①	⑧	⑪		五感を通じた自然との触れ合いは、多くの発見と驚きを生み出している。	専任講師との情報交換をさらに密にし、利用促進につなげる。	①		利用者の評価が高いプログラムであるため。
三重県	【鈴鹿】親子サバイバルキャンプ	http://www.mie-sports.or.jp/suzukayak/wp/archives/2420	小中学生とその保護者	2018/10/27・28	自然の中でのテント泊やサバイバル要素を取り入れた野外炊飯を行うことで、自然体験活動への導入と家族のコミュニケーションを図る。	テント泊、ドラム缶風呂のほか、隣接する公園でできる炊飯場、カヤックができる池があるほか、絶滅危惧植物などもあり、自然環境についても学ぶことができる。	鈴鹿青少年センターは県有の「鈴鹿青少年の森公園」に隣接しており、公園内にはバーベキューができる炊飯場、カヤックができる池があるほか、絶滅危惧植物などもあり、自然環境についても学ぶことができる。	③	④	⑧		普段の生活では体験できない活動を通して、親子の絆強化につながっている。また、比較的都市部に近い立地の中でも、隣接公園の持つ資源を生かして自然環境についての学習機会を提供できている。	①		都市部では貴重な自然環境を生かしたプログラムであるため。	
三重県	【熊野】①溪流で遊ぶ ②マリンスポーツを体験しよう ③野山で遊ぶ	http://www.kuma-sho.com/jigyo/2018/2018keiryu.html http://www.kuma-sho.com/jigyo/2018/2018marinsp.html http://www.kuma-sho.com/jigyo/2018/2018noyamaasobi.html	①小学生以上とその保護者 ②小学4年生～中学生 ③小学生以上	①8/19 ②7/1 ③11/25	熊野の豊かな自然の中で、普段の生活では体験できない活動をする。	①県道から滝まで40分かけて黒路を歩き、熊野市で最も水のきれいな溪流で遊ぶ。 ②シーカヤック、スタンダードアップ・パドルボードの体験 ③木登りやターザンゴッコなど、山中で自然を満喫して遊ぶ。	熊野少年自然の家は山中にあり、市は海にも面しているため、山と海の両方の自然を生かしたプログラムが可能である。	③	⑧	⑮	身体能力	プログラムの内容に、溪流やスタンダードアップ・パドルボードなど、普段の生活にはない要素を取り入れ、少しチャレンジさせることで達成感を生み出すことができている。	①		自然を生かしたプログラムは当施設の中心的な事業であり、特に③は市外からの参加者もある。	
京都府	農業体験(米作り体験)		小学生を含む家族	米作り体験(5月3日9:30～14:30・9月17日9:30～12:00※台風等の関係で時間短縮)	地域と連携し、農業体験を通して農業の苦労と恵みを家族で体験する。	米作り体験(田植え・稲刈り体験・羽釜を使った野外料理)	周辺地域の農家の方の協力を得て実施	③	④	⑧		アンケートでは農業体験について、全ての家族がたいへん満足した回答だった。その理由は「教科書や写真でしか見たことのない体験をすることが出来たことでも楽しかった」「今回の経験をとお米を食べる時の感謝の気持ちが変わった」等の意見があった。	①		参加者の評価や人気が高く、地域からも喜んで頂いているため。	
大阪府	ホテル観賞のタベ		子どもを含む家族、一般	平成30年6月8日、9日、10日	ホテルの鑑賞を通じて、自然環境や自然に生きる動植物の生態に興味を持ち、驚きや発見を誘う。	環境月間中の実施とし、施設周辺に生息するホテルの観察を行うと同時に、環境についても考える機会となるようレクチャーを行う。	和泉葛城山麓に位置し、緑豊かな大自然の中につくられた施設の立地環境を生かした事業	⑧	⑪			事業アンケート結果 ・子どもに貴重な体験をさせることができよかった。 ・ホテルや自然環境についての説明があり勉強になった。	②		悪天候による中止が続いているため、事業手法について検討	
兵庫県	竹田城跡ハイキング	https://www.shizengakko.jp/sohoolguide/activity.html	小学生以上	半日～1日	竹田城跡へ登ることを通じて、但馬の山の自然や雲海現象を学ぶとともに、遺構を見ることで先人の営みに想いをよせる。	・山城登山 ・城下町ウォークラリー ・昔の合図	・山城として全国的に有名な竹田城跡及びその城下町に近く、山城遺構を中心に、文化財について学ぶことができるとともに、但馬地域の日本海型の植生や秋には雲海現象など自然についても学ぶことができる。	③	⑤	⑧		自然と文化を学ぶことのできるだけでなく、山城を登つたという達成感のあるプログラムである。	①		非常に人気の高いプログラムであるため。	
鳥取県	ハートフルキャンプ in船上山	https://www.pref.tottori.lg.jp/47051.htm	各校の不登校傾向児童生徒、教育支援センターに通う児童生徒と職員、保護者	平成30年10月10日(水)・11日(木)	大自然の中で、農業体験や友だちと共同生活することを通して、あらゆることにチャレンジする意欲を育て、学校復帰への契機とする。	【活動1】交流レクリエーション 【活動2】農業体験(芋掘り、焼き芋作り、稲刈り、はたけ、牛の世話) 【活動3】(お礼の)メッセージ作り 【活動4】クラフト(焼板作り) 【活動5】調理体験	船上山少年自然の家の近くのドリームファームやまもとで農業体験等	①	⑩	⑪		友達と協力したり椅子に座って字を書いたりするなど、支援センターで見られない姿を見せていた。	①		大自然の中で、農業体験や友だちと共同生活することは、子どもたちにとって非常に貴重な体験である。	
鳥取県	大山登山	daisen_seinen@pref.tottori.lg.jp	小学生以上	1日(6時間程度)	秀峰大山の登山を行い、自然のすばらしさを味わうとともに仲間とともにやりつくり力を養う。	登山	大山隠岐国立公園の秀峰大山を活用したプログラム。団体の要望によっては、大山寺と協力した座禅、大山僧兵コースを生かした散策なども案内する。	①	③	⑧		四季折々(冬山は除く)の大山を楽しむことができる。	①		本所の中心的な活動であり、今後も継続する。	
鳥根県	サバニ研修	https://www.pref.shimane.lg.jp/seishonennoie/	年長以上	3～11月	・同じ船の仲間と協力してサバニを漕ぎ進める。・最後まで全力で漕ぐ。・宍道湖の自然に関心をもち、	サバニ(10人乗りの大型カヌー)に乗り、パドルを操作し、宍道湖に漕ぎ出す。	・宍道湖を活かした体験活動 ・湖面協力者会(地元シジミ漁師有志)の指導等を活かした体験活動	③	⑧	⑬		好評である。	①		好評であるメインプログラムであるため。	

(2) 立地環境の特性（文化、気候等）や設置経緯等を生かした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間（時間）	趣旨	内容	活用	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由	
島根県	ジュニア・サマー・キャンプ	http://www.pref.shimane.lg.jp/shonenshizen/	小学校5・6年生	5泊6日	豊かな自然にふれながら、自然の素晴らしさや厳しさを直接体験する。	・リアカーを引きながらの徒歩による移動 ・いかだ下り ・野外炊飯活動 ・野外でのテント設置・宿泊	・近くに「中国太郎」という異名を持つ江の川が流れ、また、それに平行した形で近年廃線となった「三江線」という鉄道線路があり、川沿いや沿線の景勝を最大限に活用したプログラムになるよう配慮している。 ・地域の行政機関や社会教育機関等と連携し、活動の安全に万全を期している。	③	⑤	⑦		・立地環境を生かすことで、困難に立ち向かおうとする力を培ったり、仲間とかかわりの大切さに気付かせたりすることができるプログラムである。 ・地域の「ひと・こと・もの」に十分ふれることができるプログラムである。	①			応募者が多く、抽選により参加者を決定するほどの人気の高い事業であるため。	
岡山県	カッター	http://www.shibukawa-ycop.jp/marine/program/H31_研修プログラム_001.pdf	小中高、一般	約2時間	押し出し、漕艇、引き上げ等の一連の活動をとおり、集団における規律・協調の心を育成する	カッター研修	瀬戸内海の穏やかな海の自然環境を利用している	③	⑦	⑪		県内の小学校の過半数がこのプログラムを実施しており、人間関係づくりや最後までやり抜く力を育成するのに効果がある	①			瀬戸内海ならではの海洋を生かしたプログラムになっており、学校では体験学習ができる	
山口県	チャレンジ洞くつ探検 ～まぼろしの地底湖めざして～	http://www.c-able.ne.jp/~akishoji/31%20shusaijigyuu.html	小学4年生以上（未成年者は保護者同伴） 20名	2020年 3月 7日（土）	洞くつ探検を通して、チャレンジするたくましい心を育成する。	秋吉台にある景清洞などの洞くつを使って、暗闇の中を探検していく。また当日は、専門の職員が同行することによって、日頃は立ち入りできない場所にも入ることができる。	見学・探検コースを設けている景清洞が本所から近く（5km程度）、宿泊学習等の利用団体も活動プログラムとして実施している。さらに、秋吉台科学博物館と連携していくことで、専門的な知識を得ることもできる。	③	⑤	⑧		日頃体験できない活動で、子どもたちは秋吉台や鍾乳洞の歴史について知ることができ、親子の絆も深めることができた。	②			洞くつ内は気温も水温も一定であり、季節を問わず実施することも可能である。	
徳島県	めっちゃ！夏遊び	https://www.facebook.com/muginaature/	小学生と家族	平成30年7月15日（1日）	無人島での海中ウォッチング等で家族で夏の思い出をつくる	シュノーケリング スイカ割り体験	自然の家から船で数分でわたれる無人島を生かした活動	①	⑧	⑨		無人島での海洋活動を通して、徳島の自然の素晴らしさを親子で体験することができる。	①			海水浴場とは違った環境の中で船の乗り降りや海中での安全に注意しながら家族で海遊びを提供することができた。	参加者から好評を得ているため
香川県	親子でサマーキャンプ	https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/yasho/syusai/index.shtml	小学生と保護者	1泊2日	瀬戸内海の恵まれた自然の中で、いかだづくりやカッターやカヌー体験、ウミホテル観察等の体験活動を通して、親子のふれあいを深めながら、夏の屋島の自然に親しむ。	・いかだづくり ・カッター体験、カヌー体験 ・ウミホテル観察 ・野外炊事	・瀬戸内海国立公園の一角を占める名勝「屋島」の麓で、海と山を最大限に活用したプログラムになるよう配慮している。 ・また、地元の産物漁業協同組合と連携し、浜辺での活動に万全を期している。	③	⑦	⑬		応募者が多く、抽選により参加者を決定するほどの人気事業であり、季節、立地環境に合わせた親子で楽しめるプログラムである。	①			海での活動であり、事故・怪我・熱中症等に細心の注意を払って実施し、参加者は安全に楽しく、充実した活動を行っていると考えられる。	非常に人気の高いプログラムであるため。
香川県	野外体験学習	http://pref.kagawa.lg.jp/gosho/	集団宿泊学習で来所した中学生	半日～1日	五感を通して自然や人文事象に関わらせ、感動と余韻を与える。	五色台の自然や人文事象に触れる活動を通して、自然や文化遺産に親しむとともに、科学の方法の習得、先人の生活や環境問題への興味・関心を高める。	サヌカイトを産出する五色台の自然の中に立地しており、四国霊場の札所と通路にも囲まれている。	①	⑧	⑮	自然への畏敬の念	自然への親しみ方や文化遺産の成り立ち等を、体験を通して知ることができたという感想をいただく。	①			五色台の自然や人文事象への接点をつくることで、自然の良さや文化遺産の大切さを伝えられるプログラムである。	実体験を伴うプログラムであり、今後も継続したい。
高知県	火薬エンジンでモデルロケットに挑戦	http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310405/2018112100158.html	小学校4～6年生	10月20日	ロケットを作って打ち上げる実習などを通して、宇宙への興味関心を高める。	高知工科大学スペースラボの学生を講師に、手作りプラネタリウムでの観測や宇宙開発に使われているモデルロケットの小型版の作成を行う。また、実際にロケットを火薬で飛ばし、ストリーマー（吹き流し）で着陸させることでロケットの構造を理解し、製作の達成感を味わう。	施設に近い高知工科大学と連携し、学校ではできない専門性の高い体験を組み込んだプログラム	③	⑨	⑮	探究心	アンケート結果では、「ロケットがどうやって飛ぶのかが分かった」「使い捨てではなく何度も使えるものも作ってみたい」などの回答があり、参加により知識が深まるとともに、さらなる探究心へとつながっていることがうかがえる。	①			大学と連携することで専門性の高い内容とすることができ、参加児童の満足度の高いプログラムとなった。	子どもたちの将来につながる有効なプログラムと考えるため。
高知県	チャレンジスキムボード	https://www.facebook.com/hataief	中学生から一般の方まで	10月14日	波打ち際で行うボードスポーツであるスキムボード（やや難易度の高いアクティビティ）への挑戦を通して、未体験のことにチャレンジする勇氣と、粘り強く取り組む忍耐力を培う。また、海に関する理解を深めるとともに、自然のすばらしさに触れ、自然を大切にすることを養う。	スキムボード体験など	海に近い立地環境を生かした自然体験プログラム	③	④	⑧		実施後のアンケートでは、参加者全員から「また参加したい」との回答を得ているほか、特に心に残っていることとして「普段見ることが少なくなった子どもたちの笑顔が見られた」「子どもたちの上達する姿が見られた」などの意見もあり、家では気づかない子どもたちの姿が見られることも、人気の高い要因となっている。	①			希薄になりがちな親子のコミュニケーションの充実も期待できる、事業効果の高いプログラムと考えるため。	
高知県	親子ガサガサ体験教室	http://www.kochiseisyounennoie.org/wdoc/?q=grp04	小学生と保護者	5月26日、6月9日	仁淀川流域に棲む川虫などの生物を採取し、水質などの環境問題を学ぶとともに、川遊びの楽しさを体験する。	川虫などの生物の採取、仁淀川の歴史や石のなりたちなどについての講義、採取した石のトールペイントなど	近くに日本一の水質を誇る仁淀川が流れる自然豊かな立地環境を生かしたプログラム	④	⑧			親子で楽しく参加できるプログラムとして毎年申込が多く、人気の高いプログラムとなっている。	①			県環境共生課やいの町などと協力、役割分担して実施しており、地域協働プログラムとして定着している。	
福岡県	サイクリング（団体による活動プログラム） 大島ハイキング（団体による活動プログラム）	www.fsg.pref.fukuoka.jp/genkai	小中学生（サイクリングは、4年生以上）	3～4時間 5～6時間	世界遺産「神宿の島・沖ノ島と関連遺産群」の構成遺産群「宗像神社」、「奴山新原古墳群」、「中津宮」。「沖津宮遷葬所」を巡り、学ぶ。	サイクリングは、施設から3～5キロ離れた世界遺産を散策することができる。 大島ハイキングは、施設から5キロ離れた神湊港から大島に渡り、歩いて世界遺産を散策することができる。大島からは、天気が良ければ、遠く沖ノ島を眺めることができる。	神宿の島沖ノ島と関連遺産群が施設から近い距離にある。	⑮			世界遺産及び郷土に関する興味関心	自然体験を希望する団体が多く、また、十分に周知されていない。	①			もっとたくさんの方に、世界遺産「神宿の島・沖ノ島と関連遺産群」の魅力や郷土を愛する心情を伝えるプログラムを構成していきたい。	自然体験と並ぶ、魅力的なプログラムになるように工夫していきたい。
福岡県	登山（米の山・若杉山）	http://fsg.pref.fukuoka.jp/center/katudo/tozan.html	利用者全般	4～7時間	仲間とともに山野にとびだし、四季折々の自然の恩恵や厳しさにふれる中で、たくましさや自然を大切にすることを養うことができる。	登山	福岡県立社会教育総合センターに近い山	①	③	⑥		米の山山頂からの見晴らしは絶景で、達成感を味わう意味で人気の高いプログラムである。	①			登山の過程にも魅力的な自然があり、環境学習としての効果が高い。	社会教育総合センターのプログラムの目玉の一つでもあるので継続させたい。

(2) 立地環境の特性(文化、気候等)や設置経緯等を生かした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	活用	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
長崎県	「さるこう会」～佐世保市街地をさるく編～		どなたでも	1日	散策しながら郷土の風景や歴史・産業などを巡ることで魅力を再発見し、自然の恵みや環境の大切さに触れる中で参加者同士の親睦を深める。	佐世保市中心部の歴史や由緒ある場所を散策(木崎田公園→亀山八幡宮→西方寺→郡代役所跡→追憶之塔→行幸橋→佐世保橋→凱旋記念館→教法寺→矢岳練兵場跡→海自佐世保総監部前→米海軍佐世保基地前→平瀬橋→佐世保駅)	佐世保市街地から車で約30分程度の環境に立地する当施設には、青少年のみならず多くの市民の方に利用されている。その方々とともに郷土史を振り返る企画である。本企画では職員がガイドをする他、建立800年以上となる古刹・西方寺の副住職からお話をいただくなど、地域の方との交流も行った。	④	⑩	⑪		郷土学習のみならず、森林散策や薬草採集など多くの企画を開催してきた。生涯学習の一側面として幅広い年齢層の参加を得ている。	リピーター中心の事業であるため、参加者が退職者層となり、身体が衰えなにより参加人数の減少傾向が続いている。そのような理由から、積極的に多様な選択肢を提案し続けねばならない。	②		自然環境も社会環境も利用者のニーズも変化するためであり、それに対応した内容を提案しなければならないため。
長崎県	砂造形	http://www.n-tijiwa.sakura.ne.jp/	幼児、児童	冬場を除く全ての期間	共同作業による仲間づくり	砂浜で動物や建物などを造形で協力して制作し、お互いの作品を鑑賞する。	島原半島ジオパークに登録されている千々石断層の海岸にある砂浜を活用した造形活動。	③	⑤	⑪		班ごとに創造性豊かな造形活動を行うことにより、仲間との共通性を培うことが出来ると共に、作品を完成させる達成感を味わわせる事が出来る。	楽しい活動の中で仲間づくりにも適したプログラムと考える。	①		活動成果が顕著であるため。
熊本県	夏だ！川だ！サンサンサマー【菊池少年自然の家(山型)】		小・中学生	1日 7時間	川遊びをとおして、子供たちの交流を深めながら、生きる力を身につけるとともに、自然に親しみ豊かな心を育てる。	①川遊び ②ニジマスつかみ ③沢尻り ④ハイキング	菊池少年自然の家から30分程度の場所にある、菊池渓谷につながる鈴の子川を約1kmにわたって最大限に活用している。	②	③	④		季節と立地環境に合わせたどなたでも楽しめるプログラムとなっている。	参加者のニーズと人気が高く、自然の中で遊ぶことの楽しさと水辺で安全に遊ぶ方法を活用をとおして行っている。	①		非常に人気の高いプログラムであるため。
熊本県	企画事業「シーサミットあしきた」【あしきた青少年の家(海型)】	https://www.facebook.com/ashisei.hitodukuri?ref=hl	個人、家族、グループ	2018年7月15日(日) 1日(6時間30分)	海辺の活動に際する正しい知識や危険への対処法を身に付けるとともに、海の美しさや楽しさを体感し、自然を慈しむ心を育てる。	・海上保安署員による海の安全学習・救助体験 ・クルージング体験 ・カヌー体験 ・流木ストラップ作りなどの創作活動	・海の安全についてや危険への対処法について海上保安署員と連携し、海水浴シーズン前に啓発活動ができるようにしている。 ・熊本県立自然公園内に設置されており、海岸や砂浜を生かした活動を行うようにしている。	②	⑧	⑪		シーズン、立地環境、専門性など、参加者のニーズに合った事業である。	事故や怪我、熱中症などに細心の注意を払って実施し、参加者は安全に楽しく、活動を行っていると考えている。	①		アンケート結果から満足度が高い事業であり、毎年定員を超える多くの参加希望者がいるため。
大分県	ここのえ緑の探検隊(森林環境学習促進事業)	https://www.pref.oita.jp/site/konoe/	小学高学年	7月 10月 2月(1泊2日)	自然とふれあう活動とおして、自然と人とのつながりについて考えることにより、環境を大切にしようとする態度を養う。	小学生が森林環境学習指導者の下、ここのえの豊かな環境のもと、環境地域の様子について学ぶ。	くじゅう山系の麓に広がる、水辺、草原に生きている動植物について仲間と共に学ぶ。	④	⑥	⑪		長年にわたって活動する熱心な指導者が多く育っており、環境学習の拠点としての評価をいただいている。	指導者養成と子どもへの指導のサイクルが確立しており、青少年教育施設のミッションと立地をうまく融合したプログラムである。	①		森林環境の大切さをサステイナブルに推進できる取組であるため。
大分県	海での活動	http://www.pref.oita.jp/site/kakaji/mizubenokatudou.html	施設利用者	6～9月(磯の生物観察は通年)	香々地の海に触れ五感を刺激することで感性を豊かにしたり、いかに遊ぶことで協力・協調性を高める。	いかに活動 スタンドアップパドルボード 磯の生物観察 ビーチコミング	海型施設 堤防に囲まれたプライベートビーチあり 堤防の外には磯があり、大分県内で観察できる磯の生物の内、約8割が生息しているといわれる。	③	⑦	⑧		山間地に暮らす子どもたちは海に触れるだけで気持ちが高まる。子どもたちの五感を刺激するだけでなく、環境学習にも大いに役立つ。	小学校利用の場合は、大多数が海の活動を目的としている。水難防止の安全教育の絶対的場とらえプログラムを構成する必要がある。	①		海型施設として欠かせないアクティビティであるため。
鹿児島県	県立青少年研修センター 家族で楽しむ春の一日～梅ちぎりやだんご作り～	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/seisyoken/index.html	県民一般	4月21日	春から初夏への若葉があふれる季節に、美しい自然と親しみながら、梅ちぎりやだんご作りなどを通して、家族の絆を深める。	1 梅の収穫体験 2 郷土の菓子「からんだんご」作り 3 火おこし体験	山手にあることの特徴を生かし、植栽されている梅や自生する植物「からんだんご(サルトリイバラの葉)」を使った郷土の菓子作りに取り組み。	⑧	⑮		郷土愛、 家族の絆 作り	火おこしなど、日常では味わえないことを体験できた。食べ物の収穫は食育にもつながる。(参加者の感想から)	食べ物を収穫し、郷土の伝統的な菓子を調理する活動は、郷土愛を育み、家族の絆を深める有意義なプログラムである。	①		リピーターの多い事業で、プログラムのねらいが達成できるため。
鹿児島県	県立霧島自然ふれあいセンター 霧島山中独り寝体験	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/kirishima/index.html	小学5年生～中学生	ステップⅠ：1月19日～20日、ステップⅡ：1月26日～27日	厳冬期の独り寝体験を通して、自らを深く見つめ、困難に打ち勝つたくましい心を育て、自ら考え行動できる青少年の育成を図るとともに、他者と協調していこうとする態度を養う。	ステップⅠ：独り寝道具の使い方について、独り寝テントの設営・撤収、バックキング、セルフクッキング、ボンファイヤーなど ステップⅡ：独り寝テントの設営・撤収、セルフクッキング、星空観望、原野での独り寝、早朝トレッキング、道具片付けなど	山地にあるという立地環境の特徴を生かし、厳冬期の山中での独り寝体験を実施する。	⑥	③	①		寒さと孤独に耐え、全てのことを自分ひとりで行うという過酷な事業に参加することで、自然の偉大さに気づき、自立への第一歩を踏み出すことができた。(参加者の感想から)	自立する心や周囲への感謝の心を育むことができる。自然の厳しさや雄大さを感じ、自然と人間の共存、命の尊さについて考えることができる。	①		立地環境を生かした事業で、青少年の健全育成に大いに役立つ事業のため。
鹿児島県	県立南薩少年自然の家 チャレンジ南薩探検隊	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/nansatsu/index.html	小学5年生～中学生	8月22日～25日	南薩の自然や歴史にふれる活動を通して、郷土鹿児島のおよそ自然環境に関心を持つとともに、自ら考え判断し、仲間と協力しながら困難にたくましさをも身に付ける。	3泊4日の宿泊体験活動 吹上浜でのウミガメの観察、カヌー体験、開聞岳登山、鯉池見学、自願流体験、サイクリング、テント設営・撤収など	吹上浜が近いという立地環境を生かして、ウミガメの観察やカヌー体験などのプログラムを実施している。また、鯉池の天然蒸し釜や自願流などの文化も取り入れている。	⑥	④	⑧		ウミガメの観察では、たくさんの子ガメの孵化を観察することができ、力強い生き物の生命力を感じることができた。(参加者の感想から)	夏季休業中の体験活動で、郷土の自然や文化を取り入れることにより、事業目的を十分達成できている。	①		立地環境・郷土の文化を生かした事業で、青少年の健全育成に大いに役立つ事業のため。
鹿児島県	県立奄美少年自然の家 黒糖作り教室	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/amami/index.html	県民一般	1月27日	奄美に昔から伝わる黒糖作り体験を通して、自分たちが生活している奄美の歴史や文化、自然について学ぶとともに、家族のふれあいや参加者相互の交流を深める。	サトウキビ搾り、黒糖作り、黒糖風味お菓子作り	奄美大島にある自然の家という特性を生かし、郷土の伝統産業である「黒糖作り」を体験するプログラムを実施している。	⑮	④	⑩		サトウキビ搾りから煮詰めるまでを体験することができ、搾り汁の色や匂いの変化など、普段体験できない貴重な体験となった。(参加者感想から)	奄美ならではの体験活動であり、奄美の歴史や文化、産業について理解を深める事業である。	①		奄美ならではの事業であり、郷土理解、郷土愛を育むのに効果的な事業のため。
沖縄県	やんばるの生態を学ぼう～木の病気について学ぼう～		中学生以上	2018年12月22日(土)午後1時～午後4時	名護岳麓の植物の生態を学び、木の病気について理解を深める。	産学(木の病気・マツザイ線虫、南根腐病等)、ハイキングコース内視察採取及びキノコ採取、顕微鏡での虫の観察、復習テストを実施した。	名護岳麓には、約260種植物が生息しており、その植物が結核したり、腐ったりする現象がみられる。その現象の原因を探ることにより、森の環境保全に役立つ内容であった。	⑧	⑪	⑮	観察力	木の病気を学ぶという専門的な分野であったが、木の成長へ影響を及ぼす病気を知らずに、より植物に対する観察の仕方、見方が変わって良かった。	現物の木の病気を観察したり、虫こぶの葉を採取して顕微鏡で観察したり、植物を異なった視点から見て、多くの事を学ぶことができた満足度が高かった。	②		初めての参加者には、余りにも専門的すぎたため、次回は内容を精査して実施する。
沖縄県	自然とふれあう家族のついで「石川岳自然観察会」	http://www.unai-sc.net/	小学生以上の家族、または個人(大人)	平成31年3月7日(日)	春の石川岳を散策しながら植物を中心に自然を観察し、親子、家族でその感動を共有することによって絆を深め、自然に親しみ自然を愛する心を育てる。	石川岳を散策しながら植物を中心に自然を観察し、動植物の特徴を学ぶ。	石川岳はアルカリ性・酸性両方の土壌が混在する場所となっているため、北部・南部の植物が観察できる場所になっている。	②	⑥	⑪		「植物や野鳥の専門の先生がいてわかりやすく説明してくださり、とても勉強になりました。」「ゆっくりした進行で楽しんで参加できました。」「ヒメユズリハ」の名前の由来がよくわかりました。」など高く評価されている。	植物と野鳥の専門の先生がいるので、初心者から上級者の方にも楽しんで頂けることのできる。	①		人気の事業となっている

(2) 立地環境の特性（文化、気候等）や設置経緯等を生かした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間（時間）	趣旨	内容	活用	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
沖縄県	健康ウォークでスージグワ〜巡り〜佐敷ようどれと水の里を訪ねて〜		健康づくり・集落散策に関心のある方	平成30年11月18日（日）	佐敷ようどれと水の里を訪ねて、健康づくりの意識向上と、史跡や名所、集落の生活などを学ぶ機会とする。	当施設を始点・終点にして徒歩で周辺地域の史跡や名所を訪ね、集落の生活などを学ぶ機会とする。	当施設の設置地域である南城市玉城字玉城の周辺には、城跡や沖縄の歴史にゆかりのある史跡が多い。講師についても、地域の人材を活用。	①	⑩	⑪		事業後のアンケート調査結果（参加者の感想）から、事業の趣旨、目的が達成されたと思う。また、新たな地域を巡る内容でシリーズ化して継続を望む声もあつたので、今後企画を検討していきたい。	参加者に加え、事業企画者、当施設においても、今まで知らなかった地域の自然、歴史、見えていなかった地域の人や社会の動きが見えてくるようになり、新たな人間関係が生まれ、そして地域との一体感を感じることが出来た。	③		自主事業の為。31年度に指定管理者変更。
沖縄県	おもと登山	http://ishigakiseishounennoie.com/	一般市民	平成31年1月11日	登山を通して頑張る心、自然を大切にすることを育て新年の抱負を誓う。	新年の初めに沖縄一高い山に登り新年の抱負を誓って体力をつける。頂上で今年の自分の抱負を手紙に書き年末に本所から参加者へ郵送する。	沖縄一高い山が市街地から車で20分の所にそびえ立ち、登山道もそれなりに整備されている為、誰にでも挑戦できる。	③	⑥	⑧		一人では登るチャンスは少ないが、みんなと一緒だと助け合い、励ましあつて楽しく登れるのでしかも苦楽を共有できて仲良くなれるのでいい事業。	沖縄一高い山が近くにそびえ、この施設でしか実施できない事業なので高評価を得、継続している。	①		人気の事業となっている

(3) 課題を抱える青少年を対象とした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	対象	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
北海道	リフレッシュキャンプ	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	フリースクールや適応指導教室に通う児童生徒	1泊2日	体験活動や仲間との交流をとおして新たな自分に気づくと同時に周囲との関係を学び、自己肯定感を高める。	・スポーツ体験(カーリング) ・ドミノ体験	不登校	①	③	④		継続した取組であるためフリースクール連絡協議会との連携がスムーズであり、児童生徒のニーズや実態に即したプログラムを提供できた。	日程や内容に無理のないプログラム設定としたことで、円滑に運営することができた。	②		実施プログラムを各市町村教育委員会等へさらに普及啓発していくため
北海道	サポートキャンプ	http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/index.htm	児童養護施設に入所している児童	1泊2日	自然体験活動や宿泊体験の中で、仲間とともに感動や達成感を共有し、何事にも積極的に関わっていくとする姿勢を育む。	・体験活動(カヌー・サイクリング) ・創作体験 ・野外炊事	児童養護施設に入所している児童	①	③	④		継続した取組であるため該当施設との連携がスムーズであり、児童生徒のニーズや実態に即したプログラムを提供できた。	日程や内容に無理のないプログラム設定としたことで、円滑に運営することができた。	②		実施プログラムを各市町村教育委員会等へさらに普及啓発していくため
岩手県	県南は〜とふるDay	http://www.echna.ne.jp/~kenritu1/	小・中学生	通年	日常の学習活動と異なる体験活動を通して、児童生徒の交流と活動の促進を図る。	当施設の指導員が小中学校や適応指導教室等に出席して、体験活動(創作活動・ニュースポーツ体験活動等)を指導する。	学校不適応傾向の児童・生徒	①	⑦			「ニュースポーツ体験は今までやったことのない種目だったので楽しかった。」「創作活動でいい作品ができた。」(参加者の感想)	いつもと違う活動をする中で子どもたちから笑顔が多くみられた。学校不適応傾向の児童・生徒が家族以外の人間関係を確立するうえでも意義のあるプログラムである。	①		引き続きプログラムとして進めていく。また、依頼団体が増えるよう広報活動を行う。
岩手県	ハートフルキャラバン	http://www.echna.ne.jp/~kenritu2/	広域(近隣市町村含む)小中高生向け	不定期(アウトリーチ事業)	日常と異なる環境の中で、自然体験活動等を通して、自主性や社会性を育み、心身ともに健康な生活へのきっかけづくりの一助とする。	自然素材を用いた創作活動、ニュースポーツ等	ひきこもり、不登校傾向にある児童生徒	①	⑥	⑩		フリースクールに通学する児童生徒にとっては多様な人と関わるチャンスとなっており好評をいただいている。	平成29年度までは利用がなかったが、平成30年度より、宮古市のフリースクールが利用している。スクールのカリキュラムに取り入れられている。	①		関係諸団体と連携を広めながら継続したい。
秋田県	うまホキャンプ		小学校5年から中学生	夏季休業中、冬期休業中	青少年教育施設を活用し、ネット依存傾向にある児童生徒を対象とした、自然体験活動や認知行動療法を取り入れた長期宿泊体験プログラムを実施することで、基本的な生活習慣を取り戻し、日常生活を改善するきっかけとする。	・長期宿泊体験を通して、基本的な生活習慣の改善を図るきっかけとする。 ・認知行動療法やカウンセリング等を通して、自分を見つめ直す機会とする。 ・家族会を通して、保護者の不安や悩みを和らげる。	ゲームやスマートフォンなどのネット機器に依存、生活習慣が乱れがちな青少年	④	⑥	⑩		長期的なプログラムにより、最後までキャンプに参加できた児童生徒はネット依存傾向の改善が見られたという保護者の意見があった。	児童生徒により差が大きくなっていく解決策には至っていない。	④	実施日数・規模・周知方法等について主管課と施設との間で検討を要する。	事業関係主体・機関が多く、事業スキームも大きいので開催施設のみでは判断できない。
山形県	【青年の家】わいわいカフェ	http://seinen.jp/	県内関係NPO団体、フリースペース等の居場所に通っている青年	1日(4時間)	日常とは異なる体験や人との交流をとおして心身のリフレッシュを図る。また、社会と触れ合うことが少し苦手になった人も、あたたかい環境の中で活動することで、それを乗り越えていく気づきの機会となるようにする。	アイスブレイク、軽スポーツ、室内ゲーム、ティータイム	不登校、ひきこもりなど	④	⑩	⑪		軽スポーツや室内ゲームを通して他の団体の会員との交流ができた。あまり話できなかった参加者もいたが、いい気分転換になった方もいた。	プログラム等を少しずつ変えて実施しているが、参加者が年々減少しており、運営方法について検討が必要である。	②		参加者が年々減少しており、内容等検討が必要。
福島県	心のケア事業 郡山自然の家でふれあいをしよう!		義務教育課程の児童・生徒及び保護者	6月~9月全4回	不登校の児童生徒の活動の場の提供及び保護者への情報提供	自然の家プログラムや当法人の運営する専門学校への訪問など学校内外で活動する機会を設け少しでも現状を変えるきっかけづくりとした内容。	学校に登校できない、投稿誌づくりが見られる児童・生徒	④	⑦	⑩		回を重ねるごとに先生や職員との交流が図れるようになった。	参加者は少数だが少数だからこそという部分もあるため、少しでも参加児童が楽しいと思える居場所や心が動いてくれれば効果的であると考えている。	①		告知方法や学校との連携が不可欠だが居場所づくりや学ぶ場所の提供として自然の家を活用することできっかけになれば開催していきたい。
茨城県	「適応指導教室対象講座 ホップ・ステップ・アクション!」		適応指導教室に通う小・中学生と指導者	2回	鹿行地区適応指導教室と協力し、不登校傾向のある児童・生徒を対象に創作体験・自然体験を通して、楽しみの共有と心身の育成支援を図る。	・炊飯体験 ・おもちゃづくり ・屋外散策 ・交流会	不登校傾向のある児童生徒	①	⑥	⑦		不登校児童生徒が増加している現状において、各施設の職員が共通理解を図り、足並みを揃えて対応していくことができる。	様々な体験活動を通して、児童生徒の自己有用感を高める手立てとして有効である。	①		増加傾向にある不登校児童生徒の、自己有用感を高める手立てとして有効であるため。
茨城県	さしまの森DOEほっとなかよし体験		県内の市町村教育支援センター(適応指導教室)等に通級する児童生徒及びその保護者	1日	県内の市町村教育支援センター(適応指導教室)等と連携し、コミュニケーション活動や体験活動を行うことで、問題解決の一助とする。	・交流活動 ・いも焼き体験 ・焼き振作り体験 ・動物ふれあい体験	不登校等や悩む児童生徒	①	②	⑦		不登校児童生徒が増加している現状において、各施設の職員が共通理解を図り、足並みを揃えて対応していくことができる。	様々な体験活動を通して、児童生徒の自己有用感を高める手立てとして有効である。	①		増加傾向にある不登校児童生徒の、自己有用感を高める手立てとして有効であるため。
茨城県	のびのび夢スクール ~宿泊学習にチャレンジ~		小中学生及び保護者	1泊2日	適応指導教室と連携し、不登校傾向の児童・生徒が豊かな自然体験を行うことで、自分を見つめ、心を開く機会とし、不登校解消に向けての契機とする。	・野外炊飯 ・ハイキング ・ボンファイアー ・創作活動 ・実習	不登校傾向の児童・生徒	①	③	⑥		不登校児童生徒が増加している現状において、各施設の職員が共通理解を図り、足並みを揃えて対応していくことができる。	様々な体験活動を通して、児童生徒の自己有用感を高める手立てとして有効である。	①		増加傾向にある不登校児童生徒の、自己有用感を高める手立てとして有効であるため。
栃木県	ふれあいキャンプ(太平少年自然の家)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m57/system/desaki/desaki/1176697303424.html	栃木県在住の小学3年から中学3年までの不登校又は不登校傾向の児童生徒及びその保護者	10/31~11/2:2泊3日を基本とするが、参加者の実態に応じて対応	自然体験や交流活動をおして不登校児童生徒に対して、達成感や満足感を得ることで、自己肯定感を高める。	・仲間づくりレクリエーション ・高校生との交流会 ・キャンプファイヤー ・野外調理 ・クラフト活動	不登校又は不登校傾向	①	②	⑦		様々な経験を積んだり、他人事など多くの大人が関わるをとりついでることで、気持ちに変化がみられ、その後の登校につながる。	各地区の指導主事・社教主事など多くの大人が関わることで、安全に配慮し、参加者も安心して活動できる。	①		教育の歪みを理解、解消する等の教育的意義の高い事業であるため。
栃木県	ふれあいキャンプ(芳賀青年の家)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m57/system/desaki/desaki/1176697303424.html	栃木県在住の小学3年から中学3年までの不登校又は不登校傾向の児童生徒及びその保護者	10/24~26:2泊3日を基本とするが、参加者の実態に応じて対応	自然体験や交流活動をおして不登校児童生徒に対して、達成感や満足感を得ることで、自己肯定感を高める。	・仲間づくりレクリエーション ・高校生との交流会 ・キャンプファイヤー ・野外調理 ・クラフト活動	不登校又は不登校傾向	①	②	⑦		様々な経験を積んだり、他人事など多くの大人が関わるをとりついでることで、気持ちに変化がみられ、その後の登校につながる。	各地区の指導主事・社教主事など多くの大人が関わることで、安全に配慮し、参加者も安心して活動できる。	①		教育の歪みを理解、解消する等の教育的意義の高い事業であるため。
群馬県	ぐんまいきいきチャレンジ		県内の幼稚園、保育園、小中学校、高等学校等に在籍し、不登校・自閉症・言語障害・身体的障害等の悩みを抱える青少年及び保護者	平成30年5月1日~平成31年2月24日(5回)	様々な要因により社会と上手く関われない青少年に、自然体験や生活体験等様々な体験活動の場を提供し、忍耐力や協調性、社会性を育むとともに心の居場所づくりを図る。	・ハイキング ・野外炊飯 ・クラフト活動 等	特に特定はしていない	①	③	⑦		屋外、自然の中での活動はリラックスした気持ちで活動でき、改めてその良さを実感した。子どもたちが楽しく協力して活動でき、普段見られない多くの笑顔が見られ良かった。	対象団体の単独入所としているため、独自の研修会やプログラムを実施することが可能であり、保護者の情報交換の場や指導者との研修の場となっている。	①		
埼玉県	大滝でのびのび自然体験キャンプ	http://www.genki.spec.ed.jp/ootaki/index.php?page_id=0	中学生	1泊2日	自然体験をとおして、自己肯定感、コミュニケーション能力の向上を図る。	・溪流釣り ・キャンプファイヤー ・オリエンテーリング ・野外炊事	経済的に困難な家庭の生徒	①	④	⑩		協力する学習支援教室関係者からは、自然体験等の行事は効果が高いが、実施するノウハウが無いため、県と協力して行うことのメリットを感じているとの感想を得ている。	参加者や連携団体からも好評を得ており、目標を達成していると言える。	①		体験活動を十分にできない子供たちにプログラムをできており、継続していく必要があるため。
埼玉県	チャレンジ宿泊体験	http://www.genki.spec.ed.jp/kazo/index.php?page_id=0	小・中学生と家族	1泊2日	登校に不安を抱える児童生徒と家族が、自然体験や生活体験等とともに行うことで生活のリズムを取り戻せるようにする。	・魚釣り体験 ・児童生徒の交流会 ・保護者の交流会 ・うどん作り	登校に不安を抱える児童生徒	①	④	⑩		悩みを抱えている保護者同士の交流や参加者同士の交流をとおして、保護者の心身の余裕や参加者の楽しむ気持ちをもつことができています。	適応指導教室と連携し、不登校の子供たちが宿泊をしながらか、体験活動や交流活動を行うことで自信につながるプログラムとなっている。	①		不登校は喫緊の課題であり、その対策を図る本プログラムは意義があるため。

(3) 課題を抱える青少年を対象とした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	対象	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
神奈川県	きんたろうキャンプ	http://www.ashigara-fureai.com/camp-ivent-30-report/	不登校児童・生徒及びその家族	日帰り～2泊3日	不登校の状態にある、あるいは学校を休みがちな児童・生徒を対象に、日常を離れ、豊かな自然環境の中で様々な状況の児童・生徒とふれあい、体験活動を行うことにより、自分自身と向き合い自らが学校生活の再開や社会的自立等現状の改善に向けた次の一歩を踏み出せるようサポートする。	アウトドアクッキング、ドッジボール・サッカーなど遊びを通じた参加者交流、保護者相互の情報交換や臨床心理士との意見交換、振り返りによる参加者同士の感想の共有など	不登校の状態にある、あるいは学校を休みがちな児童・生徒	①	④	⑦		クッキングなどの共同作業では、子どもたちが意欲的に取り組む姿が見られ、フリータイムではみんなで遊ぶ機会が持てて良かった、などの感想を得ている。	臨床心理士などの有識者の協力を得ながら、不登校状態にある子どもたち同士が共に活動する機会を作り、また、保護者に対しては、意見交換や臨床心理士との相談の場を提供するなど、現状の改善に向けた有効な取組みと考えている。	①		参加者から好評を得ているため。
新潟県	はつらつ体験塾	www.pref.niigata.lg.jp/shizen/	不登校・不登校傾向の小中学生、中学生	妙高青少年自然の家等と連携して、3回シリーズを3セット実施する。	集団への適応性や人間関係づくりの資質を高める。	様々な体験活動を通して、友達とのかかわりをとれるようにする。大学生のボランティアをお願いし内面を表出できるようにしている。	不登校・不登校傾向にある児童生徒	①	②	④		追跡アンケートの結果、参加した児童生徒が学校に復帰する等の良い影響が表れている。保護者のカウンセリングも好評である。	学校ではかかわりをもてない児童生徒が、安心して参加して、たくさんの友達と話し合うことで、自己有用感を高めている。	①		事業について知らなかったり、参加できない児童生徒に対し、積極的に参加を働き掛ける。
石川県	自然体験活動による不登校対策事業「自然体験わくわく夢塾」	なし	県内不登校及び不登校傾向にある児童・生徒(小学3年生～中学3年生)定員はおおむね15名程度継続参加可能	6月～2月 日帰り、1泊2日、2泊3日 計8回実施	不登校及び不登校傾向にある児童・生徒に自然体験や集団宿泊体験を通じて、自身や達成感、他者への信頼感等を体得させ、社会に適応する力を高める。	県内3カ所の少年自然の家を会場とし、自然体験活動等を行う。①人との関わり・出会いの楽しさを味わう②協力する心地よさ、感動を味わう③やり遂げた達成感、成就感を味わう 内容構成	県内不登校及び不登校傾向にある児童・生徒	①	⑦			保護者からは自信がついたような顔つきで、友達が出来たことを喜ぶ声や、手伝いや登校に向けた行動の変化を喜ぶ声が聞かれる。	不登校、不登校傾向の子どもたちに人間関係を結ぶ機会を与えるだけでなく、その保護者にとっても不安の軽減や子どもの成長を感じられるプログラムとなっている。	①		近年、不登校児童生徒数が増加し、今後も様々な対策が必要とされる中、子どもたちが自信を持ったり、人と関わったりする力を涵養するプログラムの持つ意味は大きいと考えられる。
山梨県	コンサルテーションビューロー	http://youthcenter.yya.or.jp	どなたでも	通年・10時から16時	ニート、ひきこもりを含む若者無業者を中心に、様々な悩みを聞き、解消するための支援を行うとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行う。	・相談業務 ・就労体験 ・専門機関への橋渡し	ニート、ひきこもりを含む若者無業者	④	⑥	⑩		どのような支援機関へいけば良いかわからない相談者やその家族に対し、適切な橋渡し等を行っている。	相談者から好評を得ており、目的を達成している事業である。	①		相談件数が年々増加しているため、継続が必要である。
山梨県	ハッ岳フレンドリーキャンプ	なし	山梨県の不登校児の適応指導教室に通う児童生徒	7月	不登校児が外に出るきっかけを作り、自然とふれあうことで癒やを感じ、仲間と交流することから心の痛みを軽減させる。	・コミュニケーション育成プログラム ・野外炊事 ・冒険ハイイク ・クラフト	不登校、ひきこもり等	①	④	⑩		日常と離れ、自然体験や野外活動をする中で仲間とのコミュニケーションが図られ、自己肯定感を高めている。	参加者や支援する関係者から好評を得ており、目標を達成しているプログラムである。	①		対象者から好評であるため。
長野県	信州ふれあい自然体験キャンプ	http://moti-shizen.com/	不登校等の児童生徒を含む、小学校4年生以上の児童、中学校の生徒とし、募集人員は30人程度とする。	令和元年8月10日(土)から14日(水)までの4泊5日	自然の中での直接体験に重きを置き、自立性、社会性、協調性など子ども達の「生きる力」の育成に寄与する。	1日目(午後～) はじめの会、仲間づくりゲーム、野外炊飯 2日目 楽器作り、ナイチャーハイキング 3日目 オリジナルメニューづくり、森の散歩・宿泊体験 4日目 片付け、選択プログラム、キャンプファイヤー 5日目 荷物整理、森のパーティー、おわりの会	不登校や不登校傾向の児童生徒、発達障害を持っている児童生徒を優先して受け入れている。	⑥	⑩	④		例年参加希望者が多い。アンケートでは、来年も参加したいとの回答が6割程度ある。自己評価では、「体力に自信がなかった」や「表情が明るくなった」と評価している。	例年参加希望者が多く(抽選になる)、アンケートででも好評。学生スタッフの確保が困難になりつつある。	①		ニーズがあるので、スタッフを確保し、継続実施したい。
静岡県	朝霧高原ホッとキャンプ	asagiri.camping.or.jp	不登校やその傾向にある児童・生徒および引きこもりがちな青少年	2泊3日×2回	不登校や引きこもりの状態にある青少年に、小集団での生活体験を中心としたキャンプを通して、自分と仲間及び自分自身とのより良い関係づくりの場を提供する。	集団での生活体験を中心として、野外炊事、選択活動、外遊びなど朝霧高原の自然を感じながら3日間を過ごす	不登校やその傾向にある児童・生徒、引きこもりがちな青少年	①	⑤	⑩		集団生活に困難を抱えている子どもたちにとって、定期的に訪れる居場所となっている。	様々な課題を抱え、集団生活に困難を感じる子ども達が、キャンプカウンセラーとともに小さな集団の中での生活を繰り返すことを通じて、まずは集団の中に落ち着いていることができるようになる。次第に、野外炊事等の生活プログラムや選択活動等の野外活動プログラムにおいて、新しい仕事や活動に挑戦できるようになっていたり、他者を思いやったりすることができるようになったりして、時間はかかるが、キャンプへの参加をおして、子どもたちが少しずつ自信を持ち、成長する姿を見ることが出来る。	①		不登校や引きこもりの青少年への対応は重要な社会課題であるため、引き続き実施する。
京都府	ふれあい宿泊学習		京都府内の小学校・特別支援学校小学部3年生以上、中学校、高等学校、特別支援学校中等部・高等部の在籍者	平成30年7月15～16日(1泊2日)・8月17～23日(6泊7日)・11月10～11日(1泊2日)・平成31年2月23～24日(1泊2日)	不登校及び学校に行きにくい児童生徒が自然の中で宿泊をともにして、野外学習・集団遊び・創作活動等さまざまな体験を重ねることによって、社会性を培い、情緒の安定を促し、自立への力や登校する力を育てる。	・スーパーバイザー(大学教授等)の指導の下、大学生ボランティア等の協力を得て夏季・秋季・春季キャンプを実施 ・住み家作り、食器作り、火起こし、炊飯活動、キャンプファイヤーなどの活動を実施	不登校及び学校に行きにくい傾向にある児童生徒	⑩	⑥	⑩		以下活動実施後のアンケート結果 【参加者】「友達と遊ぶのは楽しかったか」「自分から思うように活動ができたか」「仲の良い友達等ができたか」等の項目に対して75%以上が「とても、かなりそう思った」と回答 【保護者】「お子さんの様子は以前と変わったか」という項目に対して54%が「かなりそう思った」と回答し、「前向き(積極的)になった」という回答が58%あった。	毎年参加する者もいるように参加者等から好評を得ており、今後更なる工夫をして充実したプログラムにしていきたい。	①		取組の継続性が必要であるため。
大阪府	こども食堂「森のレストラン」(課題を抱える青少年への支援事業)		小学1年生～中学3年生	平成31年3月3日(日)10時～15時	課題を抱える子どもが、自然環境の中で、仲間と共に体験や活動を行うことによって、他者との交流を図る。	野外炊飯、ツリーイング体験等	主に子ども食堂を利用する青少年	①	③	⑩		事業アンケート結果 ・楽しかったが、野外炊飯で食事を作ることが出来て楽しかった。 ・(保護者)帰ってきたときに大変充実した顔つきだった。	自然体験活動を通してやり遂げる力を身に付けることで、自己肯定感を高めることができると考える。	①		課題を抱える青少年への支援事業は、府の主催事業となっており、子ども食堂を利用する子どもだけでなく、不登校等様々な課題を抱える子どもに対して事業を継続する。

(3) 課題を抱える青少年を対象とした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	対象	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
鳥取県	ハートフルキャンプ in船上山	https://www.pref.tottori.lg.jp/47051.htm	各校の不登校傾向児童生徒、教育支援センターに通う児童生徒と職員、保護者	平成30年10月10日(水)・11日(木)	大自然の中で、農業体験や友だちと共同生活を通して、あらゆることにチャレンジする意欲を育て、学校復帰への契機とする。	【活動1】交流レクリエーション 【活動2】農業体験(辛掘り、焼き芋作り、稲刈り、はでかけ、牛の世話) 【活動3】(お礼の)メッセージ作り 【活動4】クラフト(焼板作り) 【活動5】調理体験	不登校及び不登校傾向の青少年	①	⑩	⑪		友達と協力したり椅子に座って字を書いたりするなどで、支援センターで見られない姿を見せていた。	農家にとっては、収穫などの段取りが非常に大変だと思うが、毎年やってくる子どもたちを心待ちにしておられる。また、体験を通した人とのつながりは、子どもたちにとって非常に貴重なものとなっている。			大自然の中で、農業体験や友だちと共同生活することは、子どもたちにとって非常に貴重な体験である。
鳥取県	だいせんキャンプ	daisen_seinen@pref.tottori.lg.jp	不登校、ひきこもり等	①7月10日 ②10月2日 ③2月6日 3～6時間程度	自然の中で新たな日常生活への活力となる感動体験を体感し、日常生活に生かす。	夏季はカヌー体験・火起こし体験 冬季は歩くスキー体験	不登校、ひきこもり等	①	③	⑦		カヌーを通した自然体験のよさ。火起こしなど、普段できない体験の楽しさを感じることができた。	参加しやすい内容にして、より参加しやすい企画とする。	①		1泊2日のキャンプも企画募集したが、応募者もなく、より参加しやすいものとして今年度から半日、もしくは1日開催とした。
岡山県	生きる力応援プラン「夢がしの旅」	http://shizutani.jp/wp-content/uploads/2019/07/b7645433f3e7cd51d962dca4d8453b42.pdf	岡山県内の不登校傾向がある小・中学校とその保護者	8月～2月 計4回	教育上配慮を必要とする子ども(不登校傾向の児童生徒や屋内に引きこもりの児童生徒)が、学校や家庭を離れ、自分を見直し、将来の自分を探して学んでいくための目標を見つけることができるように、学校教育、社会教育関係者等が連携し、実施地域や各社会教育施設等の特性を生かした宿泊体験活動を通して、子どもの自立を支援する。	県内2つの社会教育施設で、施設の特徴を生かした体験活動を実施(例)海遊び、クラフト、もちつき、備前焼体験等カウンセラーと保護者の情報交換会	不登校(保健室登校等)で屋内に引きこもりがちな児童生徒、適応指導教室等へ通っている小・中学生	①	③	⑩		参加者や保護者からの満足度も高く、不登校傾向の児童生徒の居場所の一つとなっている	社会教育施設での特色をいかしたプログラムになっているが、参加者が固定化されることと周知が課題である			運営方法や参加者募集については事業の改善の余地がある
山口県	とくさがみね森のチャレンジコース	http://www.c-able.ne.jp/~seed-10/activity/morichallenge.html	小学生～大人 1グループ8～20名程度	通年・3～6時間	体験学習であるPAの手法を最大限に活用することで、比較的短時間でも高い教育的効果を上げることができる。	一見巨大なアスレチックの設備に見えるような、丸太やロープ、ワイヤー等で組み上げられた設備を使い、個人だけでは乗り越えられない課題に仲間と共に挑戦する中で、多様な価値に気づき、グループを通しての個人の成長を促すことができる。	・家庭環境に恵まれず児童養護施設等で生活している人 ・不登校・引きこもりで他者とのかわりが苦手な人 ・メディアコントロールが苦手な人	①	④	⑦		たくさんの人に支えられる喜びや自分が誰かの支えになっていることへの喜びを感じることができた。普段の生活の中でも、「人」の大切さや温かさを感じながら、自分の行動をふりかえりたい。	地上約10mに設置されたハイエレメントと、低い位置に設定されたローエレメントの計44基からなる西日本最大級の施設であり、教育的効果の高いプログラムである。			困難を抱える青少年に対して有効であることを、広くいろいろな機関に発信していく。
山口県	油谷青少年自然の家 カッター研修	https://yuyashizen.feelkanko.com/sinfo.html	小学生～大人 1グループ10～30名程度	4月～10月・3時間程度	油谷湾の豊かで美しい自然環境のもと、体力の向上や豊かな感性、社会性を育む。	グループの実態に合わせたコース設定を行い、個人だけでは乗り越えられない課題に仲間と共に挑戦する中で、多様な価値に気づき、グループを通しての個人の成長を促すことができる。	・家庭環境に恵まれず児童養護施設等で生活している人 ・不登校・引きこもりで他者とのかわりが苦手な人 ・メディアコントロールが苦手な人	③	⑫	⑬		何度も途中であきらめようかと思っただけで、みんなが支えて応援してくれたから、最後までがんばりました。これからは、自分のことだけでなく、周りの人に対して行動できる人になりたいです。	昔は「厳しい訓練」というイメージが強かったが、今は子どもたちの主体性を育むことを重視していることで、様々なニーズの団体に対応できている。			困難を抱える青少年に対して有効であることを、広くいろいろな機関に発信していく。
高知県	ときどき発見隊(不登校対策事業)	http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310405/2018112100158.html	不登校や悩みを抱える小中学生等、保護者、引率者	6～3月	不登校や悩みを抱える児童生徒の支援として、野外炊飯、スポーツなどの体験活動を行い、自主性、社会性、コミュニケーション力の向上を図る。	農作物の栽培や収穫した作物を使った野外炊飯、スポーツ、ハイキング、レクリエーションなど、体験活動の場を年5・6回程度提供(直営の2施設で実施)	不登校や悩みを抱える児童生徒やその保護者	②	④	⑩		参加者の感想では「みんなと来られてよかった」「まり来たたい」「夢中になった」などの意見があり、みんなと同じ体験活動をする中で、「一人ではない」ことの実感につながった。	体験メニューによって参加人数が増減があるため、より魅力ある内容を検討する必要があります。支援機関との連携により、復学や自己のやる気の向上につながっている。	①		不登校や悩みを抱える子どもたちへの支援として有効なプログラムであると考えているため。
高知県	中一学級づくり合宿事業	https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310405/2018112100158.html	中学1年生	4～6月	中一ギャップと不登校を防止するため、一学期の早い時期に、中学生としての心構えや学習ガイダンス、仲間づくりなど、学習環境を整えるための集団合宿訓練を行う。(直営の2施設で実施)	職員の指導による登山、野外炊飯、キャンプファイヤー、歴史探訪など。外部講師による講義「携帯電話の使い方」「防災と人権学習」など	中学1年生	④	⑦	⑬		実施後の教員対象のアンケートでは、「その後の学級運営に役立った」、生徒対象のアンケートでは、「友達の良さを感じることができた」の項目で90%以上の回答を得ており、実施効果の高いプログラムとなっている。	当日までに、教員との情報交換を密に行うことで、活動のねらいを十分に確認しながら進めることができ、事業効果が高まった。	①		中一ギャップや不登校の防止に有効なプログラムであると考えているため。
福岡県	フレッシュキャンプ 和き・愛・合いチャレンジキャンプ	www.fsg.pref.fukuoka.jp/genkai	小学校5年～中学校3年 小学校1年～20歳くらい	2泊3日を年4回 1泊2日を年2回	自然体験、就労体験等を通して、社会とつながるきっかけ作りを行う。	・プロジェクトアドベンチャーの手法を用いた人間関係づくり ・自然体験 ・職場体験 ・ボランティア体験	不登校・不登校傾向にある児童・生徒 視覚に障がいのある児童・生徒	①	④	⑩		参加者を送り出す適応指導教室や保護者、視覚に障がいがある児童生徒の保護者からは、貴重な体験の場、社会とつながる機会と評価していただいているので、目標を達成しているプログラムである。	①		年々、参加者は、減少傾向にあるが、評価していただいている以上、継続していきたい事業	
長崎県	ぬくもりのある家		児童養護施設入寮者	1泊2日	児童養護施設に入寮中の児童を対象に、自然の中での体験活動を通して寮生同士の親睦を図ると共に、夏休みの思い出づくりを行う。	ログケビンに宿泊をして、日頃寮生活では体験できない、野外炊飯、キャンプファイヤー、オリエンテーリング等の活動を行う。	児童虐待などの環境上養護を要する児童。	④	⑦	⑪		子ども達相互の共感性やコミュニケーションが図れる取組みであり、施設からの評価も高い。	①		恵まれない環境下で育った子どもが、のびのびと自然体験出来る機会であるため、効果的な事業と考える。	施設の評価も高く、今後も継続していきたい。
熊本県	スマイルキャンプ【菊池少年自然の家(山型)】		小・中学生	2泊3日	自然体験をとおして、達成感や満足感を味わい、子供たちの自尊心を高めるとともに、他参加者との交流を深める。	①マリンスポーツ ②野外炊飯 ③登山 ④キャンプファイヤー	不登校傾向にある児童・生徒	①	③	④		同市において、年々不登校傾向の児童生徒が増加する中で、このような体験をしている団体も少なく保護者の方や関係者から好評である。	参加者や支援する関係者からは、好評を得ている。また、参加した参加者の満足度も高い。しかし、年々参加者数が減少している。もっと参加しやすい環境をつくっていく必要がある。	②		参加者にとって、参加しやすい環境を整備するため。
大分県	ネット依存対策推進事業	https://www.pref.oita.jp/site/konoe/	ネット依存が理由で学業・仕事ができずに悩んでいる中・高校生で、本人の参加意志のある者	8月(1泊2日) 1月(2泊3日)	ネット依存傾向の青少年を対象とした自然体験や宿泊体験プログラムを実施し、青少年のネット依存対策を図る。	プロジェクトアドベンチャーをベースとした自然体験活動と認知行動療法を実施、ネット依存に悩む子どもに医療的な視点から自律神経の安定にアプローチするプログラムを特徴としている。	ネット依存傾向にある小・中・高校生	①	⑦	⑩		家庭と環境を変えること、自然体験をすることの大事さに気づく声をいただいている。	3年目を迎え、ネット依存に対する青少年教育施設が提供すべき有効なプログラムが確立できている。	①		ネット依存・ゲーム障がいは今後も青少年を取り巻く大きな社会問題となることが予想されるため

(3) 課題を抱える青少年を対象とした効果的なプログラム

都道府県名	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	対象	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
大分県	青少年教育施設を活用した不登校対策事業	https://www.pref.oita.jp/site/konoe/	不登校の中小高校生	1月9日～10日(1泊2日)、2月22日～23日(1泊2日)	不登校傾向の児童・生徒を対象とした自然体験や宿泊体験プログラムを実施し、自己肯定感やコミュニケーション能力、学習意欲を高め、不登校対策を図る。	不登校の中小高生を対象にチャレンジキャンプを行い、教育支援シートを活用して、個々に応じた自然体験活動、集団での活動や仲間との交流、学習活動を通して新たな自分に気づき、同時に周囲との関係について学び、自分を見つめ直すとする意識の高揚を図る支援を行う。	日常生活や学校生活に悩みを持つ不登校の中小高生	①	⑦	⑩		今後、実施予定のため評価は未定	今後、実施予定のため評価は未定	①		大分県における不登校の状況が改善していないため、施設にできる取組は継続する必要があると考えている。
大分県	ふれあいキャンプ	http://www.pref.oita.jp/site/kakaji/hutoukocamp.html	県内の不登校傾向が見られる中小高校生	1泊2日×4回	不登校傾向またはフリースクールに通う児童生徒を対象に、日常生活とは異なる自然環境や生活環境の中での体験活動の場を提供し、社会に適應する力を育成する。	参加者はメンタルフレンドと呼ばれる臨床心理士をめざす大学生とともに様々な体験活動を行う。1日目の夜には、保護者懇話会を開催し、情報交換を行う。	不登校または不登校傾向	①	④	⑩		参加者やその保護者・フリースクール代表者からの満足度が高い。	今年度で25年目を迎える歴史ある事業である。大分県でも不登校の児童生徒が多数いるため、その子どもたちに「体験の場」の提供と支援を行いたい。	①		大分県における不登校の状況が改善していないため、施設にできる取組は継続する必要があると考えている。
大分県	かかち野外活動塾	http://www.pref.oita.jp/site/kakaji/	児童養護施設の小学校4年から高校3年生および施設職員	8月(1泊2日) 1月(2泊3日)	児童養護施設の子どもの対象に、自然体験活動を通して、達成感や自己受容・他者受容を深めさせ自己肯定感・自立心などの社会を生き抜く力を育成する。	参加者はメンタルフレンドと呼ばれる臨床心理士をめざす大学生とともに、自然体験活動を中心に、複数の施設の子どもで構成するグループ活動により自己有用感や共感的な立場などを感じさせつつ自己肯定感の向上を目指すプログラム構成としている。	児童養護施設に入所する児童・生徒の多くは虐待や経済的理由で親元を離れており、精神的に不安定な状態を抱えている。	①	③	⑥		児童養護施設の職員から、高い評価を受けている。また、子どものIKRの上昇が見られる。	児童養護施設で生活する子どもにも、非日常を感じさせる貴重な機会であり、心身の成長に寄与できる事業ととらえている。	①		青少年教育施設が児童福祉に直接寄与できる事業である。来年度は3回を予定。
鹿児島県	県立南薩少年自然の家「ふれあいなんさつ」	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/nansatsu/index.html	特別支援学校や特別支援学級に通学・通級する児童生徒及びその保護者10家族20人、中学生・高校生・大学生	11月17日	障害のある子どもたちが、南薩少年自然の家での体験活動を通して、自然に親しみ喜びや人とふれあう楽しさを体験する機会とする。また、中学生・高校生・大学生等が、障害のある子どもたちとの交流の場を通して、相手の立場を尊重し、思いやりの心をもって行動することの大切さを学ぶ機会とする。	ふれあいタイム(レクリエーション)、ダンボール窯で作るピザ作り、創作活動(思い出フォトフレーム)	障害のある児童生徒	⑦	⑩	⑤		2人の子どもに発達障害があるが、職員の方々が見守ってくださるので、安心して参加できた。(参加保護者の感想から)	障害のある児童生徒の自然体験の機会となるとともに、ボランティアにとって、は障害者に対する理解が深まる事業である。	①		近隣の発達支援センターとの連携も図られ、プログラムのねらいが達成できるため。
沖縄県	あやばに自然体験	http://ishigakiseishounnoie.com/	不登校児童・生徒	平成30年6月25日、9月20日、平成31年1月24日	芋を植えて、収穫・調理する一連の過程を通して生きる力を養う。	施設内の農園を利用して芋の苗を植える所から体験し、草を取り、収穫までの一連の過程を体験し、働くことの大切さを学ぶ。収穫した芋を利用して天ぷらやポテトチップス等調理し、食することによって働く楽しさを実感し、自ら行動することを学ぶ。	学校に行けてないいわゆる不登校の子たちが「あやばに学級」に通っているので学級支援、学校支援として本所でしか提供できない体験活動、工作活動等々を誘って子供達に生きる力を身に付くように実施している。	①	③	⑥		普段学級では見られない生き生きとした表情が垣間見れとてもよかった。司会や挨拶等もここまではできるの成長の跡が伺える。	自然や農作業等に触れることにより普段のわだかまりやストレス等が発散され、前向きに行動したり素直になれる心が生じるので体験活動の大切さを目の当たりにできる。	①		子どもたちが笑顔で活動し成長していく姿をみるにつけ継続して支え、より発展させていきたい。

(4) (1)～(3)以外の特色のある効果的なプログラム(防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
北海道	特色A(防災)	防災キャンプ	http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/index.htm	小学生～中学生	1泊2日	災害への対応力や防災意識、災害後の生活や復旧時に自ら支援者として行動しようとする意識を高める。	①防災に関する講話 ②避難所体験 ③炊き出し体験 ④停電時の調理体験	③	⑩	⑪		参加者からは、災害が起きたときには、具体的に意識すべきことや行動すべきことが理解できたとの声が多かった。	②			実施プログラムを各市町村教育委員会等へさらに普及啓発していくため
北海道	特色B(利用促進)	はじめてのおとまり	http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/index.htm	小学1,2年生	1泊2日	宿泊体験や様々な体験活動とおして、自立心を養い、望ましい生活習慣を進んで実践する態度を育む。	・仲間づくり ・創作体験 ・宿泊体験	②	④	⑬		低学年が参加できることが保護者から好評である。	①			参加者の多くが初めての事業参加であるが、その後の他の事業参加へとつながる
北海道	特色C(その他)	ジュニアイングリッシュキャンプ	http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/index.htm	幼児5歳以上～小学4年生とその保護者	1泊2日	子どもたちに英語に触れる機会を与え、グローバル人材としての資質を養うとともに、護者の意識を高める。	①親子別プログラム ・講話(保護者向け) ・英語で遊ぶ(子ども向け) ②親子共通プログラム ・英語でゲーム	①	④	⑪		意図的に外国人スタッフとふれあう場面を設定したことで、保護者からは、「子どもが英語や世界に関心を持つきっかけとなった」との声が多く寄せられた。	①			未就学児(親子を含む)を対象とした事業を拡充しているため
北海道	特色C(その他)	大人のための学習講座	http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/index.htm	どなたでも	1日(3時間)	体験活動を通して、地域における生涯学習活動を推進する	創作体験	①	④	⑪		青少年教育施設を身近に感じることができた。	①			生涯学習を推進する観点からも今後も事業を普及啓発していく。
青森県	特色A(防災)	親子の絆 防災編	http://taneshashi.jp/	幼・小・中・高校生を含む家族	1泊2日	防災について家族で話題・体験を共有しながら、家族の絆を深める。また、体験活動とおして、災害時に役立つスキルを習得する。	①防災に関する講話 ②炊事活動 ③心のケア音楽鑑賞会 ④体験活動「レクリエーション」、「ライフセーバー訓練見学」、「AEDの使い方」、「ハイキング」	④	⑤	⑪		実際に様々なプログラムを経験することにより防災に対する意識が高まっている。	①			東日本大震災以来、地域や家庭のニーズが高まっており、それに合わせていくことが必要と考えるため。
青森県	特色B(利用促進)	ぼんじゅ冬キャンプ	http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/bonju_top_index.htm	小学校4年生～中学校2年生	2泊3日	冬の自然環境の中で、冬ならではの体験活動や共同生活をおして、参加者相互のふれあいを深めるとともに豊かな心を育む。	①冬山ハイキング ②仲間づくり交流ゲーム ③キャンドルサービス ④スノーチューブ滑走体験	④	⑤	⑩		応募者数が多く、定員を満了することが多い。冬期間の子どもの活動に有効である。	①			異年齢のプログラムとして効果が高く、人気も高い。今後もさらに、内容の充実を図っていく。
青森県	特色B(利用促進)	こども大作戦 3・4年生の巻	http://taneshashi.jp/	小学校3・4年生	1泊2日(1～2月)	小学校3・4年生の児童に宿泊体験や雪を利用したプログラムを提供することで、自立心を育てる。	①仲良しタイム ②冬のナイトハイク ③館内ツリーイング ④スノーチューブ滑り ⑤オリジナルバッジづくり	①	⑥	⑬		応募者数も多く、抽選により参加者を決定するほどの人気事業であり、冬の子どもの活動を活発にするものである。	①			中学年のプログラムとして人気が高く、低学年も実施していることから、今後は、高学年対象の回も計画していきたい。
青森県	特色C(その他)	年長すくすくキャンプ	http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/bonju_top_index.htm	年長児童(6歳児)	1泊2日	自然とのふれあいを体験することで、その楽しさを知るとともに自然の素晴らしさや厳しさを体感する。また、友達と過ごす生活体験とおして、思いやりの心や自立心を養う。	野外炊事、野外活動、体育館テント泊、創作活動	③	⑤	⑥		年長児童にとって貴重な経験を与える場となっている。	①			年長児童にとって教育効果が高いキャンプとなっているため。
青森県	特色C(その他)	たねさしワールド「つくって新発見」	http://taneshashi.jp/	小・中学生を含む保護者・家族	1日(6時間)	小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動等さまざまな体験をおして、心豊かでたくましく成長することを目的とする。	ミニ門松作り(竹切り、縄編み、飾りつけ)	②	③	⑤		竹を切ったり、縄を編んだりする活動を親子ですることから、絆が深まる。	①			家族で参加し、季節ならではの活動が好評を得ているため。
岩手県	特色A(防災)	専修大学北上福祉専門学校連携事業 テント活動・野外炊事方法の利用	http://www.echna.ne.jp/~kenritu1/	保育士・幼稚園教諭を目指す専門学校生	2時間	非常時に指導者として、子どもたちの安全・健康を確保できるようなリスクマネジメントを学習する。	テント設置のしかた・注意点 野外炊事用調理器具の使い方の仕方	⑩	⑫			「非常時にテントや調理器具の活用がわかって良かった。」(参加者の感想)	②			小学生や中学生対象の防災教育プログラムである。教育的価値も高い。
岩手県	特色A(防災)	野外炊事	http://www.echna.ne.jp/~kenritu3/	どなたでも	2～3時間	電気やガスを使わない炊事活動を通して、非常時における生活の方法の例を学ぶ。	・火おこし体験 ・カレーライス作り (米、具材を小袋に分けて煮る調理法)	②	④	⑧		工夫した調理法を学び、実践することを通して、非常時の備えとすることができている。	①			東日本大震災以来、非常時の備えに対する意識の高まりに応える必要があると考える。
岩手県	特色B(利用促進)	スキーの出前講座	http://www.echna.ne.jp/~kenritu1/	小学生	1月～3月	冬のスポーツに親しむ。	小学校スキー教室の支援	③				スキー教室の指導者が保護者の中からも少なくなっており、指導の協力を学校は望んでいる。	①			スキーの指導ができる職員がいるうちは、続けていく予定。
岩手県	特色B(利用促進)	マリナランド陸中フットサル交流会	http://www.echna.ne.jp/~kenritu2/	広域(近隣市町村含む)サッカー、フットサル少年団	2日間	交流試合を通し、心身の健全な発達と技術の向上を図るとともに参加者相互の親睦と交流を深める。	代替わりをした新チームの交流リーグ戦	①	③	⑫		新チームの力試しの場として活用できる。勝敗にこだわらず、伸び伸びとプレーできると好評。	①			開催を楽しみにしている団体が多く、継続したい。
岩手県	特色B(利用促進)	ステラバル冬遊塾	http://www.echna.ne.jp/~kenritu3/	小学校4～6年生	2泊3日	異年齢で構成される集団が、冬ならではの野外活動等を通して、自主性、忍耐力、協調性を育むとともに、たくましく生きようとする心の育成を図る。	スケート体験、カーリング体験、そり遊び、スノートレッキング、雪遊び、雪灯り体験	②	⑥	⑪		家庭では実施が難しいプログラムを体験できる貴重な機会となっている。	①			ニーズが高く、多数の参加希望がある。地域の団体や施設と連携を図ることができる。
岩手県	特色C(その他)	かるがも親子体験教室	http://www.echna.ne.jp/~kenritu1/	小学校1～3年生の子どもをもつ家族	① 1日 ② 1泊2日	親子で共同体験や交流活動を行うことにより、相互の理解と関係を深める。また、親同士の交流を通して、子育てをする仲間づくりを促進する。	① 親子でアウトドアクッキング ② 親子でキャンプ	②	⑥	⑩		子どもがこんなことまでできるようになっていたのかと驚かれる保護者もあり、親子の相互理解と関係を深めることができている。	②			更に参加家族間の交流・親同士の交流を深める事業を計画している。
岩手県	特色C(その他)	親子でエンジョイ海1day	http://www.echna.ne.jp/~kenritu2/	小学校1・2年生とその保護者	1日	海での親子共同体験活動を通して、親子のふれあいを深める。	海洋スポーツ体験(イカダ、サップ、バナナボート)、バーベキュー、スイカわり	①	④	⑦		親子で触れ合える良い機会である。海洋スポーツもふんだんに体験でき、参加者の満足度は高い。	①			平成30年度からの新規事業である。日帰りのため参加しやすい。
岩手県	特色C(その他)	親子でアウトドアチャレンジ	http://www.echna.ne.jp/~kenritu3/	小学生を含む親子	1泊2日	宿泊を伴う野外活動を通して、家族のふれあい、参加者相互の親睦を深めるとともに、野外活動に親しむきっかけとする。	・テント設営、テント泊、テント撤収 ・火おこし体験、野外炊事、夕食交流会 ・キャンプファイヤー	②	④	⑦		初心者でも安心して活動できるため、気軽に参加しやすい。	①			ニーズが高く、多くの参加希望があるため。

(4) (1) ~ (3) 以外の特色のある効果的なプログラム (防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間 (時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
宮城県	特色A (防災)	防災指導者研修会	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/matsushima-ont/	県民一般	10月に実施	災害時における地域の担い手を育成する指導者としてのスキルを身につけ、地域防災の推進について学ぶ。	HUG (避難所経営ゲーム) 等のシミュレーションゲームや、防災クッキング、防災グッズづくり、人間関係づくりに関するPAゲームを行う。	②	④	⑩		教職員や、地域で防災活動を行っているリーダーに高評価を受けている。	今後の広報の仕方によって、小・中・高校生等の異なる年齢集団での実施も考えていきたい。	①		教職員の「中堅教諭等資質向上研修」としても設定されており、防災教育の実践について深く学べる事業であるから。
宮城県	特色C (その他)	「学ぶ土台づくり」推進計画 自然の家体験事業		未就学児とその保護者	6月に実施	様々な自然体験活動とおして、幼児の主体性や社会性を育み、保護者は自然体験活動の効果や円滑な親子の関わり方について学ぶ。	蔵王自然の家：「蔵王でみんなとお泊まり会」① JAL折り紙飛行機教室② ニジマスつかみ③ 親子遊び④ 親のスタディータム⑤ キャンプファイヤー⑥ 夜のお散歩 志津川自然の家：「親子で自然をエンジョイ」① アイスブレーク② 洋上めぐり③ エプロンシアター④ キャンプファイヤー⑤ 交流グラウンドゴルフ⑥ マイスプーンづくり	①	②	⑦		子ども同士の自立性や協調性が高まり、参加者の高い評価を得ている。	今後無料で本事業に賛同し支援していただける企業を探していくことが重要と考える。	①		自然の家を利用しての、未就学児の大変よい自然体験活動であり、今後も継続して事業を行っていく。
秋田県	特色A (防災)	防災キャンプ等の防災教育活動		小学校4年生から中学生家族、学校等を含む場合もあり	1日～2日	防災に関わる活動を通して、防災に対する知識、技能を取得し、意識を高める。	・ポリ袋調理体験 ・紙食器作り ・紙スリッパ作り ・段ボール寝床作り等	⑩	⑪	⑬		自然の家によっては、市町村の危機管理課等との共催で実施し、防災に対する市民の関心を高める一助ともなっている。また、身近なもので急場を凌ぐ工夫を、実体験から発見できる魅力もある。	これらを生き抜く子どもたちに、防災意識を高めることに一役買っている。ポリ袋調理体験を親子レクとして活用する団体等もあり、保護者からの期待も高まっている。	①		必要性が高いため。
秋田県	特色B (利用促進)	冬季出前講座「スキー出前講座」 ※自然物工作・PA・防災などの出前講座は通年で受け付けており、こちらも利用者数が落ち込む冬期間の利用促進が期待される。		小学生	1月中旬～2月中旬 (半日、1日)	指導者不足の学校現場にスキー授業やスキー教室の協力を行う。	・依頼された子どもたちの実態に合わせた技術指導 ・スキー場でのマナー指導 ・初めの児童へのリフト乗降指導	②	③	⑬		1人でも指導者が増えることで子どもたちのけがのリスクは低くなるので、本当にありがたい。スキーが上手になったと喜ぶ児童が多い。	担当した子どもたちの力を把握し、安全には細心の注意を払っている。技能の向上とスキーの楽しさを実感させるように取り組んでいる。	①		後援会組織も活用して、なるべく多くの依頼に応えられるようにしていきたい。
秋田県	特色C (その他)	アウトドアスクール1～4	https://www.facebook.com/pref.akitaa.oodate.sizen	幼保年長組～小学3年生	「1」・「2」・「4」は1日。「3」は1泊2日。	親から離れ、初めて出会う異年齢の仲間と協力して活動する。	・交流ゲーム ・トレッキング ・川遊び ・バーベキュー調理 ・テント設営 ・テント泊 ・天体観察 ・登山	④	⑫	⑬		「毎回子どもたちが少しずつたくましくなって帰ってくる」「家庭ではなかなかできないことを体験させてくれる」等の声が聞かれる。	縦割り班を上手に機能させる。それぞれに役割を持たせることで、どの年齢の子も積極的な取り組みが見られている。	①		内容をリニューアルさせながら、子どもたちの力をより引き出す活動にしていきたい。
秋田県	特色C (その他)	ほろわD E キャンプ	https://www.facebook.com/HOROTTO	親子	2泊3日 ※1泊2日での参加も可能	親子でテント泊を体験したり、カレー作りやカヌー体験をしたりして、自然に親しむ心を育てる。	希望によっては1泊2日でも参加可能な日程にして、人気のプログラムを手軽に体験できる内容となっている。	②	⑧			継続して参加してくれるリピーターの親子がおり、毎回楽しみにしているという感想が寄せられている。	人気のプログラムを組み込みながら、親子で楽しめる内容であることが好評を得ている。	②		幼児から小学校高学年までの親子が参加できるように配慮していきたい。
山形県	特色A (防災)	【青年の家】 地域と学校の防災力を高める研修会	http://seinen.jp/	小中高등학교の教職員、公民館職員、ボランティアや防災に関心のある人など	1日 (6時間30分)	予想をはるかに上回る災害が頻発している昨今、避難所に指定されていない公共施設も避難所になる可能性が高くなっている。そこで、小中高등학교の教職員や地域で避難所運営を補助する住民、ボランティアの人など、大規模災害発生時にそれぞれの立場で避難所運営に関わらなければならないような人を対象に避難所運営の図上訓練等を通じて普段から考えておかなければならない防災上の視点について研修を行う。	講義・ワークショップ、避難所運営図上訓練	④	⑤	⑪		講師の実体験に基づいた講義により、参加者の防災への心構えをより一層高めるとともに、災害はよそ事ではなく、いつでも身近に起こり得ることであるという意識を持ってもらうことができた。	参加促進については課題が残るものの、避難所運営図上訓練はリーダーシップの重要性と役割分担と柔軟な対応が必要で、実際の災害時の運営当事者のみならず一般参加者にとっても有意義なプログラムとなった。	②		市民の生活にとって防災プログラムはなくてはならないものであるため。
山形県	特色A (防災)	【金峰少年自然の家】 防災メニュー (食体験)	https://kinbow.asoviva-p.jp/activity/	受入団体 (学校の自然教室及び社教団体等)	年間を通じて (要事前申請)	災害状況下でも対応可能な食事の作り方について学習する。	卓上コンロとポリ袋を活用し、必要最小限の水でツナランチュー、ツナカレーを調理する。	⑥	⑧	⑪		災害状況下を設定した調理体験は、防災教育上有意義である。	防災教育の視点で提供している唯一の食体験メニューであり、利用団体の評価は高い。提供2年目で認知度は低いですが、大事にしたい視点である。	①		災害状況下に役立つプログラムとして有効だと考えるため。
山形県	特色B (利用促進)	【朝日少年自然の家】 チューブすべり	http://asahishonshizennoie.jp/	幼児～小学生	1月～2月	雪に親しむ・冬場の体力向上	本所活動地にあるグレンデ (50m×100m) で、所員の手作りの4コースを開放してチューブスライダーを行っている。坂を上った回数だけ滑ることができるので、子どもたちは汗だくになりながらもジャンプコースやくねくねコース、連結乗車などを楽しんでいる。	②	③	⑧		子どもたちが本当に楽しそうに活動しているので、好評を受けている。リビート率も非常に高いプログラムとなっている。	本所では、子どもたちの満足のためにスリルあるコースを設定するとともに安全管理にも細心の注意を払っている。雪質の変化によっても状況が大きく変わるため、日々臨機応変な対応も行っている。	①		上述の通り
山形県	特色B (利用促進)	【金峰少年自然の家】 雪あそび	https://kinbow.asoviva-p.jp/activity/	幼児～小学校低学年	1月～2月	金峰周辺の野山での活動を通じて、季節の変化や特色に気づく体験の機会を提供する。	グレンデでのチューブすべり体験	③	⑩			幼稚園、保育園、小学校低学年より、ダイナミックな冬のあそびとして高い評価を得ている。	利用団体引率者に対する、事前研修の機会を確保し、安全に活動できるよう配慮している。	①		人気がある活動メニューであり、ダイナミックな冬のあそびとしての需要が高いから。
山形県	特色B (利用促進)	【飯豊少年自然の家】 わくわくスノーランド	http://www.iideshonshizennoie.jp/	幼児教育施設・小学校などの各種団体	1月中旬～2月下旬	冬の自然体験活動を通して雪国ならではの遊びやスポーツを体験するとともに、自然への興味関心を高め、豊かな感性を育む。	降雪量の多い飯豊の自然環境を生かし、開放期である冬期間にスノーチューブ滑り体験を行っている。グレンデの整備、安全の確保など留意すべきことはたくさんあるが、利用者に満足していただけるよう、所員一丸となって取り組んでいる。	⑤	⑦	⑬		<利用者の声> ・連結して乗るのが楽しかった。 ・親子で楽しめるイベントで、大変良かった。	本来は開放期である冬期間に行っているスノーチューブ滑りは、置賜各所から様々な団体に利用していたが、前年度から予約がすべて埋まるほどの人気事業である。安全に配慮し、これからも継続していきたい。	①		基本的には継続していくが、雪不足の年には安全上グレンデが使用不可になる時期もあるので、そういう場合にどのような代替え企画を準備していくかも検討する必要がある。

(4) (1)～(3)以外の特色のある効果的なプログラム(防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
山形県	特色C(その他)	【青年の家】 家庭教育支援研修会 ①情報モラルと子どもの健全な発達・②食育	http://seinen.jp/	①小中学校の保護者・教職員、②0歳～高校生の保護者・教職員	①午後半日(2時間30分)、②午後半日(3時間30分)	①小中学校の保護者や教職員を対象に情報モラルに関する研修会を実施することにより、情報機器の効果的な利用法や危険性を理解するとともに、家庭における親と子どもとのよりよい関わり方を培うための支援を行う。 ②発達段階の子どもに対する食育は、子どもたちが一生涯に渡って心身ともに健康で生きていけるよう、その基礎をつくるために行われるものである。また、子どもの頃に身についた正しい食習慣は生活習慣病を予防するだけでなく、生涯の宝になるものである。より一層幸せで楽しい食卓を囲むために食育の専門の講師と一緒にそのあり方を学んでいく。	①・②: 講義・アイスブレイキング・情報交換	②	⑤	⑪		講師の専門的な見地から情報機器等の安心安全な使用に関する最新の知見や五感で食事を楽しむ方法を身に付けることができ、今後の各家庭・学校・地域での研修に生かせるものであった。	プログラム等を少しずつ変えて実施しているが、参加者が年々減少しており、運営方法について検討が必要である。	②		参加者の減少により、企画内容を刷新することが必要。
山形県	特色C(その他)	【朝日少年自然の家】 親子キャンプ 全3巻	http://asahishonenshizennoie.jp/	幼児～小学生およびその保護者	第1巻 平成30年7月7日(土)～8日(日) 第2巻 平成30年8月18日(土)～19日(日) 第3巻 平成30年9月8日(土)～9日(日)	各テーマに特化した活動を盛り込んだキャンプに親子で親しんでもらう。	第1巻～読書の巻～: 講師や地元読み聞かせサークルによる読み聞かせ、テント内での親子読み聞かせをもちこんだ親子キャンプ 第2巻～火と木の巻～: 火おこしやマッチと薪を使った炊飯体験、木のおもちゃ作りや樹木探しを盛り込んだ親子キャンプ 第3巻～食の巻～: 地元郷土料理研究家を講師に迎えた調理体験、魚つかみ体験などを盛り込んだ親子キャンプ	②	④	⑧		それぞれの活動を参加者には十分に楽しんでもらったという評価を受けている。リピーター率も上がってきており、定員を超えて抽選での受け入れとなっている。	内容を工夫しながら進めている事業ではあるが、できるだけ多くの参加者にこの事業の良さを感じてもらいたいことも必要だと感じている。募集・工法を工夫していかねばならない事業である。	①		利用者のニーズと現状に合わせ、修正しながら継続していくことが望ましい。
山形県	特色C(その他)	【神室少年自然の家】 めんごキャンプ	http://www.kamuro-syounen.org/	幼稚園・保育所の年中児、小学1・2年生及びその保護者	平成30年6月23日(土)～24日(日)	親子別々の活動を行うことで、児童の自立する力・仲間とかかわる力を育て、また、保護者が自然体験や子育てについて考えるきっかけをつくる。	児童: 自然散策、野外炊飯、テント泊 保護者: 外部講師による「体験活動」に関する専門的な研修	⑥	③			達成できたことで、多くの児童に満足した表情がうかがえた。	子どもが主体的に活動できるようにプログラムを構成し、また、時間配分にも余裕を持たせ、じっくりと取り組むことが出来るよう計画したことで、挑戦する機会の提供ができた。子どもだけで問題を解決できたこと、互いに励まし合うなど成長が見られた。	①		参加申し込みも多く、興味を持つ児童・保護者が多くいるため。
福島県	特色A(防災)	野外クッキング「防災炊飯」	https://aizu-nc.fcs.ed.jp/	小学生高学年以上	2～3時間	防災教育の一環として、電気・ガス等を使わず、身近な用具・食材で簡単に調理する方法を身につけ、災害に備える。	薪の火で500mlのアルミ缶でご飯を炊き、スナック菓子でポテトサラダを作り、ビニール袋でオムレツを作る。	⑦	⑨	⑪		災害時を想定し身近な用具や食材で野外炊飯をすることから、実践的なプログラムであると評価されている。	野外炊飯の説明時に災害時を想定させることで、より実践意欲が向上している。参加者の意欲は高いので効果的なプログラムである。	①		
福島県	特色B(利用促進)	自然の家でからだを動かそう!		県中地区内の幼稚園・保育園	11月12日～3月13日 休所日を除く平日	本所の活動館を利用し子供たちの健康の維持増進と体力向上へとつなげていく。	県中地区内の幼稚園・保育園を対象に活動館の開放を行っている。	⑩	⑪			冬場の外遊びができないところでの開放となるため好評である。	また通常、認可外保育園は引率者の利用料金が発生するのだから参加者すべて無料となるため認可外からの予約も多くみられる。	①		広く活用していただくことと利用拡大のために継続したい。
福島県	特色B(利用促進)	雪遊び	https://aizu-nc.fcs.ed.jp/	幼稚園児以上	降雪期間 1～2時間	運動不足になりがちな冬期間に、雪を使って体力づくりをするとともに、自然の良さを感じる。	雪像づくり、ソリすべり、スノーレッキング、雪灯籠づくりから選択して実施する。	③	⑨	⑮	体力・健康	雪遊びができる環境が整っているため、十分な活動ができるので高評価を得ているプログラムである。	幼児の利用が多く、冬期間のプログラムとしては欠かさない。今後も環境整備や用具類の補充を図っていきたいプログラムである。	①		
福島県	特色B(利用促進)	創作活動	https://iwaki-nc.fcs.ed.jp/program	学校教育団体、社会教育団体	通年(1～2時間)	創作(クラフト)の絵柄等を季節にちなんだものにするなどして、友達や親子での会話を楽しみながら、創作活動に親しむ機会を提供する。	木彫るだー、ストーンアート、貝の壁飾り、貝の絵ろうそく、海浜下敷き等	②	⑨	④		幼児から大人まで楽しむことができる体験プログラムとして、子ども会等の社会教育団体から特に好評を得ている。	社会教育団体が創作活動を選択した場合は、所員が必ず支援に付き、作り方を説明すると共に、作業工程上、怪我等の危険がある場合は、都度、声をかけ、注意喚起に努めている。	①		自然素材である貝殻や木材を使った活動プログラムが特に好評であると共に、創作活動を通して、想像力と達成感を育むことができるため。
福島県	特色C(その他)	親子スケート教室		小学生とその家族	1月12日	スケートについて、安全に滑る知識を身につけ家族や親子で楽しく活動する。	普段なかなか体験できないスケートを、専門の講師の指導を仰ぎながら親子で楽しく滑る。					体験できないスケートを体験できる点、親子で参加できる点が評価されている。	体験できないスケートを体験できる点、親子で参加できる点が評価されている。	①		冬場のスポーツとしてこのまま継続していきたい。
福島県	特色C(その他)	地層の学習	https://aizu-nc.fcs.ed.jp/	小学生高学年以上	1～2時間	地層と化石の学習を通して大地のつくりについての理解を深める。	湖や海の地層や火山灰層の地層の学習を行った。化石の採集を行った。	⑧	⑨	⑪		地層が明確に観察できることや火山灰石、亜炭、貝化石、隕石等の観察もできるため、評価の高いプログラムである。	6年生の大地のつくりの学習に最適なプログラムである。解説図など活用してより内容を理解しやすくする工夫等をしていきたい。	①		
福島県	特色C(その他)	いわきの歴史・文化施設体験	https://iwaki-nc.fcs.ed.jp/program	学校教育団体、社会教育団体	通年	地域の歴史を文化に親しみ、市内団体には郷土愛を育む機会を、市外団体はいわきの特色と魅力を知る機会を提供する。	いわき史跡めぐり、いわき七浜めぐり、いわき市アンテナセンター、いわき市フラワーセン、いわき市アムステルダム等の教育文化施設見学	⑪	⑧	⑮	郷土愛を育む	定期的に利用する社会教育団体があるなど、好評を得ている。	いわきの史跡めぐりについては、所員が添乗し説明することで、利用団体の理解を深める機会を提供すると共に、社会教育団体の知的好奇心の指向を調査する機会としている。	①		所が立地するいわき市について、さまざまな分野から理解するプログラムとなっているため。
茨城県	特色A(防災)	親子で防災キャンプ		小学3～6年生親子	1泊2日	家族とともに災害時の対応について学習することで、冷静に対応できる応用力や適応力を養い、児童・保護者の防災意識の高揚を図る。	①自然体験活動 ②宿泊体験活動 ③創作体験活動 ④防災教育体験活動	②	③	⑥		自然災害に遭遇したときに落ち着いて対応できるように、体験活動を通して防災スキルを学ぶことができるプログラムになっている。	具体的な状況を設定することで、参加者が実際の場面で適切に対応することができるように内容が工夫されている。	①		いつ遭遇するか分からない災害に備え、常に準備をしておく必要があると考えるため。

(4) (1) ~ (3) 以外の特色のある効果的なプログラム (防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間 (時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
茨城県	特色A (防災)	手ぶらで防災キャンプ		小・中学生及びその保護者、家族	1泊2日	家族間協働による災害時の避難所体験や野外調理体験等を通して、防災意識の向上を図るとともに、災害時の対応スキルを学ぶ。	・テント設置について学ぶ ・身近なもので野外調理を行う。 ・災害体験及び救急法について学ぶ。 ・災害時に役立つ防災グッズ作り。	②	③	⑫		防災に対する意識が高まっている昨今、手ぶらで参加できるという設定は参加希望者の増加につながっている。	気軽に参加できるメリットは大きく、多くの希望者を募ることができている。	①		希望者の防災に対する関心が高く、災害時の対応スキル習得は不可欠であるため。
茨城県	特色A (防災)	防災スペシャル体験! ~なるほど・The・防災~		小中学生及び保護者	1日	各種関係機関の協力の下、災害体験等を行うことで、防災意識を高める。また、身近な生活用品の災害時に役立つ使用法を学び、実践・応用する力を身に付ける。	・災害体験 (降雨体験、自然災害体験) ・炊き出し体験 ・救助活動体験	②	③	⑫		防災スキルの習得をはじめ、災害時に大切な互助の精神を学ぶことのできるプログラムになっている。	身の回りにある生活用品の活用方法など、参加者が身近に感じることができるよう内容が工夫されている。	①		参加者の防災意識を高める上で、有効であると考えたため。
茨城県	特色B (利用促進)	白浜フェスティバル (冬)		一般県民	1日	地域や異年代間の交流をベースに、地域の住民や学校と協力して開催することで、幅広い年齢層が憩いの場として利用できるような施設運営を目指す。	・創作体験活動 ・昔あそび ・近隣学校等の発表 ・模擬店 (飲食関係)	④	⑦	⑪		地域の学校や団体と連携を図りながら開催することで、地域の中の施設として横のつながりを強化していく上で有効な事業である。	幅広い年齢層が交流できることで、地域に開かれた施設としての役割を果たしている。	①		地域の方々が交流できる場として、有意義なプログラムといえるため。
茨城県	特色B (利用促進)	大人の指導力アップセミナー		PTA、子ども会育成連合会、おやじの会等青少年育成団体の指導者、施設ボランティア、教員	1日	指導法研修や講演等、指導力向上を目的とした研修会を実施することで、野外活動を推進する人材を育てる。	・青少年教育や家庭教育についての講話 ・野外活動等の指導法研修 ・各種団体の活動状況発表	②	④	⑫		ファシリテーション能力の向上につながるプログラムであり、ファシリテーターの育成には有効である。	対象を広く設定することで、様々な団体から参加していただくことができている。	①		指導者として必要不可欠な、ファシリテーション能力の向上に寄与するプログラムのため。
茨城県	特色B (利用促進)	ぬく森まつり【ユニバーサルイベント】		一般	1日	冬の比較的用户数が少ない時期に、施設を来所者に開放することで、施設に対する理解と協力関係の一層の発展を図る機会とする。	・ぬく森ステージ：ステージ発表 ・体験コーナー：自然博物館体験、移動遊園地、エド遊具 他 ・創作コーナー：ちぢみっ子、缶バッチ 他 ・軽食コーナー：カレー、焼きそば等の軽食	①	②	⑩		地域に向け広く開放することで、地域に開かれた施設としての役割を果たすことができている。	地域との連携や、協力体制の構築につながることで、	①		閑散期における利用促進のための取組として有効であるため。
茨城県	特色C (その他)	こどものからだづくり教室		小学1~3年生親子	1日	県内の大学と連携し、集団遊びや自然体験活動とおとした運動の機会を提供するとともに、食育とおとした子どもの身体づくりに関する家庭教育の機会を提供する。	・創作体験活動 ・スポーツ体験活動 ・家庭教育	②	④	⑩		子どもたちの体力低下が問題になっている現在において、正しい知識や技能を習得する良い機会になっている。	保護者に対して、食育という観点から啓発を行うことで、食生活を見直す良い機会になっている。	①		運動の習慣化や正しい食生活を送るために、有効であるため。
茨城県	特色C (その他)	手ぶらでひよこキャンプ		就学前の子どもがいる家族	2日	就学前の幼児や小学校低学年の児童をもつ親を対象とした家庭教育支援等のプログラムを盛り込むことで、子育てや家庭教育を支援する機会とする。	・テント設置 ・野外炊飯 ・子育て支援講座	④	⑩			手ぶらで参加しやすいプログラムであるとともに、家庭教育支援とも関連づけることで、子育て世代に人気のプログラムになっている。	気軽に参加できるという精神的ハードルを下げることで、参加希望者の増加につながっている。	①		就学前教育の重要性を鑑み、引き続き実施することが望ましいプログラムであるため。
茨城県	特色C (その他)	アドベンチャースクール (少子化モデル事業)		小学4~6年生	4泊5日	同じ中学校区の小学生との交流を通して、少子化によるコミュニケーション不足や中間ギャップといわれる現代的課題を解決できる力を養う。	・さわやかタイム (学習、レクリエーション、創作活動) ・野外レクリエーション ・野外炊飯	②	⑤	⑦		同一中学校区の児童が交流する機会を設けることで、中学校へのスムーズな移行の一助になっている。	体験活動を通して対人スキルを学ぶことは、中学校入学後の人間関係を円滑に築いていく上で有効であると考えられる。	①		中1ギャップ解消に向け、有効なプログラムであるため。
栃木県	特色A (防災)	防災キャンプ (芳賀青年の家)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/education/shougai/kanrenshisetu/haga-top.html	栃木県在住の小学生	9/29~30 : 1泊2日	防災体験活動に積極的に参加し、災害に備えるための正しい知識や技能を身に付けようとする。また、今後の生活に生かそうとする。	・防災に関する講話 ・防災非常食の試食 ・防災グッズ作成 ・煙道体験や消火活動体験	④	⑩	⑬		実体験を伴った活動プログラム編成により、参加者の防災に対する意識が高まっている。	発達段階にあった内容構成になっており、防災に対する意識の向上につながっている。	①		いつ起こるかかわからない災害に対する、防災意識を高める必要があると考えたため。
栃木県	特色A (防災)	どきどきキャンプ (太平少年自然の家)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m62/education/shougai/kanrenshisetu/documents/dokikyan2019.pdf	栃木県在住の小学4年~6年生	7/22~25 : 3泊4日	防災を学ぶ体験活動に取り組みながら、命を守る知識や技能の向上、生きる力を育むことを目指す	・仲間づくりゲーム ・避難所設置 ・川遊び ・非常食体験 ・ドラム缶風呂 ・野外調理	③	⑥	⑦		参加者の保護者からは、「自立心が芽生えた」、「自分でできるという自信がついて、学校での積極性がみられた」など好評である。	3泊4日という本所では長期の事業であるが、参加者の達成感や満足感が高い事業である。また、安全確保については、高校生などのボランティアを依頼し、参加者が安心して参加できるようにしている。	②		人気の高い事業であるが、県の予算 (防災キャンプ事業費) の削減などがあり、計画の見直しが必要である。
栃木県	特色B (利用促進)	楽しい手びねり陶芸 (芳賀青年の家)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m61/education/shougai/kanrenshisetu/tebinneri.html	成人	11/17、12/1、8	陶芸の里益子で手びねりや絵付け、釉薬がけを体験することにより、生涯学習を推進します。	・益子焼伝統工芸士が講師となり、陶芸の里益子で手びねりや絵付け、釉薬がけを体験する	②	③	④		直接伝統工芸士に教えていただける貴重な機会となっている。また、完成した作品にも満足している。	物作りだけでなく、伝統工芸士との交流も魅力あるプログラムとなっており、毎年参加してくださる方もいる。	①		人気の高いプログラムのため。
栃木県	特色B (利用促進)	海浜冬まつり (とちぎ海浜自然の家)	http://tochigikaihin.jp/app-def/S-102/wp-content/uploads/2019/05/30fuyumaturu.pdf	栃木県在住の方	1/26~27 : 1泊2日	旬の味覚を味わい、自然のすばらしさを体感する。	・あんこうの吊し切り見学、あんこうの試食 ・スノードームづくり ・ダッチオーブンの調理活動 等	②	⑧	⑩		様々な活動を体験できる貴重な機会である。	活動の中には順番待ちになるものもあり、参加者が大いに楽しむことができる事業になっていると感じる。	①		好評であるため。
栃木県	特色B (利用促進)	スノーシューハイキング (なす高原自然の家)	https://windy-nasu.jp/katudo.html	幼児以上	12月下旬~3月上旬 : 3時間程度	自然の家周辺を利用して、冬の自然に親しむ。	・スノーシューを装着して、自然の家周辺をハイキングする。	②	⑧	⑩		大変好評である。	冬季の有意義な活動である。スノーシューを新規に揃え、不備・不足の心配が無くなった。	①		好評であるため。
栃木県	特色C (その他)	ろくろで作る益子焼 (芳賀青年の家)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m61/education/shougai/kanrenshisetu/rokuro.html	成人	1/12~13 (1泊2日)、19、2/2、9 (半日)	「陶芸の里」益子で益子焼の代表的な技法を体験することにより、生涯学習を推進する。	・益子焼伝統工芸士が講師となり、陶芸の里益子でろくろ成形、高台削り、釉薬がけ等、益子焼の伝統的な技法を体験する。	①	③	④		ろくろを使った陶芸活動の難しさや思い通りの作品が出来上がった喜びを感じられる活動となっている。	経験すればするほど、技術の向上を目指し、意欲的に活動に取り組む参加者が多い。伝統工芸士も参加者の思いに寄り添い、指導いただけるのも人気の高い要因となっている。	①		非常に人気の高い事業となっているため。
栃木県	特色C (その他)	とびつきり! 門松作り (太平少年自然の家)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m62/syusai/h30kadomatu.html	栃木県在住の小学生以上の子どもと保護者	12/15、16 : 各6時間	正月飾りの門松作りをとおして、日本の伝統文化に触れながら、家族の絆を深める。	・竹切り ・組み立て ・藁しとり ・荒縄縛り	②	③	⑩		・日本の伝統に触れる機会となりとてもよい ・家族で毎年のイベントと位置づけて参加 ・子どもの成長が分かる (のこぎりで切れるなど)	材料確保での地域の協力、地域の方の講師など外部との協力が必要な事業であり、日本の伝統文化の理解を深められる有意義な事業である。	①		竹や藁など地域で協力できる事業である。材料確保が難しい事業であるが継続したい。
栃木県	特色C (その他)	山の子・海の子ファミリーキャンプ	http://tochigikaihin.jp/app-def/S-102/wp-content/uploads/2019/05/30yamamurii.pdf	栃木県・茨城県在住の小学生とその家族	9/8~9 : 1泊2日	海での自然体験や交流をとおして、自然の素晴らしさを体験し、協力することの大切さを学ぶ。	・地引網体験 ・砂浜活動 ・野外調理	④	⑧	⑪		恒例のイベントであり、リピーターが多く参加するほど好評な事業である。	茨城県民も参加可能とした主催事業であり、今後も継続して実施していきたい。	①		好評であるため。

(4) (1) ~ (3) 以外の特色のある効果的なプログラム (防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間 (時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
栃木県	特色C (その他)	冬のファミリーデー (なす高原自然の家)	https://windy-nasu.jp/events/%e5%86%ac%e3%81%ae%e3%83%95%e3%82%a1%e3%83%9f%e3%83%ae%e3%83%bc%e3%83%87%e3%83%bc%e2%91%a0/	栃木県在住の親子対象	1/25~26:1泊2日	ミニかまくら作りやスノーシューハイクなど、那須でしか味わえない冬の自然を楽しむ。	・ミニかまくら作り ・そり滑り ・スノーシューハイク ・アイス作り	②	④	⑧		とても好評である	家族が参加できる有意義な活動である。	①		好評であるため。
群馬県	特色B (利用促進)	冬期ホリデー事業		一般県民	①平成30年12月8日(土) ②平成30年12月9日(日) ③平成30年1月12日(土) ④平成30年1月19日(土)	参加者が地域の自然材料を生かした体験活動や季節の行事に関係した活動を通して、冬季における妙義の自然に対する関心を高める。また、これらの活動を通して、家族内での触れ合いや参加者同士の触れ合いを深めながら、妙義青少年自然の家の事業に対する理解を深めてもらい、冬期の施設利用促進を図る。	・門松作り ・星空観察とおきりこみ作り ・野焼きパンと飾り炭作り ・パウムクーヘン作り	②	③	④		各行事とも参加者の満足度も高く、好評であった。	定員を下回る事業があり、今年度の実施状況を検証して、より県民のニーズが高いと思われる活動プログラムの開発や施設設備の充実と利便性の向上を図る必要がある。	①		
群馬県	特色C (その他)	親子キャンプ		県内小学生とその家族 (初心者限定)	①8月25日(土)~26日(日) ②9月1日(土)~2日(日)	親子を対象に、野営をはじめとするアウトドア体験活動を実施することで、親子のふれあいや絆を一層深める一助とする。	・テント設置・撤収 ・クラフトづくり(フォトフレーム) ・夕食(バーベキュー) ・キャンプファイヤー(キャンドルファイヤー) ・朝食づくり ・パウムクーヘンづくり	③	④	⑤		参加者アンケートにおいて、満足・やや満足が80%以上であり、高評価であった。	・参加募集を電話と郵送としたことで応募の公平性を保つことができた。 ・一昨年の反省から、初日と二日目のプログラムを一部入れ替えたところ、全体的に時間に余裕を持って活動することができた。	①		
埼玉県	特色A (防災)	秘密基地に泊まろう!親子サバイバルキャンプ	http://www.genki.spec.ed.jp/ootaki/index.php?page_id=0	幼・小・中学生と家族	1泊2日	防災について家族で話題・体験を共有しながら、家族の絆を深める。また、体験活動とおして、災害時に役立つスキルを習得する。	・秘密基地作り ・サバイバル飯作り ・ランタン作り	④	⑨	⑪		実際に様々なプログラムを経験することにより防災に対する意識が高まっている。	様々な体験を、家族間や他の家族と交流しながら実施し、コミュニケーションを取りながら防災、減災のスキルの習得が図れている。	①		近年、多くの災害が起こっている中で、地域や家庭のニーズが高まっており、それに応えていくことが必要と考えるため。
埼玉県	特色B (利用促進)	わくわくドキドキ初めのお泊り	http://kamikawa-genki.com/	年少~年長	1泊2日	年少~年長の幼児が宿泊体験や自然体験活動とおして、達成感を味わえるようにする。	・遊ぼうパン作り ・オリジナルポイントラリー ・木の名札作り	①	⑥	⑦		幼児をはじめ親元を離れ宿泊をするものであり、保護者から子供の自立や生活体験という観点でニーズが高い事業である。	自然や仲間と触れ合いながら、自分の力で生活するプログラムを設定し、やり遂げることで自信をつけることができている。	①		幼児向けの自然体験、生活体験のプログラムのニーズは高く、また、幼少期の体験活動は重要であると考えられるため。
埼玉県	特色C (その他)	名栗シニア自然塾	http://www.naguri-genki.com/	シニア (概ね50歳以上)	日帰り×5日、1泊2日	シニア世代の継続的な学びを提供するとともに参加者の交流を図る。さらに、社会への関わりのきっかけづくりとする。	・乗馬、カヌー、ヨガ、サバイバルクッキング、星空観察、テラリウム作り	②	⑦	⑩		シニア向けに体験活動を提案する場となっており、参加者の評価も高い。	年間とおして、様々な体験活動を提供することで、生涯学習の一助となっている。参加者同士での新たなネットワーク作りにもなっている。	①		高齢者の体験活動や社会参画は課題であり、施設として取り組むべき内容と考えるため。
千葉県	特色A (防災)	ファミリーディキャンプ	http://suigou-omigawa.com/	親子	9月23日	親子で楽しむ日帰りの野外活動。防災に関する知識・技術も学びます	簡易テントの設置、非常時の料理や非常食について学びます。	③	⑧	⑩		防災に関する知識・技術を学べてよい	他の家庭との交流を含め、非常時にあると良い知識・技術を学ぶ	②		毎年改善しながらの開催としている
千葉県	特色A (防災)	役立つおやこ防災キャンプ	www.tougane-youth.jp	小学生と保護者	9月29日から30日 1泊2日	防災の心構えと災害時に役立つ内容のプログラムによるキャンプをおやこで体験することにより、家族及び地域でこれらの対応策を考えてもらうことを期待して実施。	・オープニング(防災キャンプの趣旨について) テント設置 ・野外炊飯(夕食のためのカレーライス作り) ・ロウソクの非常明り作り ・簡単にできる朝食料理 ・火起こし体験、スチールウォールの火つけ、マッチの使い方 ・飲み物(ジュース等)のご飯作り、防災食の試食 ・災害時対応のグッズの紹介 ・家庭で、地域での防災対策及び災害時の行動を考えよう	③	⑦	⑪		①災害時に役に立つ知識と技術が習得できたこと ②日頃から防災に対して、心しておくことの大切さを再確認できたこと	おやこ参加で防災意識の高揚が図られること、災害時の対応を家族で考える契機となっていること。	①		災害に対する安全意識を家族から地域に広げることが期待されている
千葉県	特色B (利用促進)	お正月を彩る ミニ門松づくり	http://www.echiba-sports.org/kamo/k-top.html	家族・一般成人	12月23日(4時間)	お正月に向けて楽しみながらミニ門松を作る。	・ミニ門松を作る。	③	④	⑩		・自分で門松を作り上げる楽しさがあるプログラムである。 ・毎年楽しみにしている。今後も継続してほしいプログラムである。	・いろいろ準備が大変であるが、今後も継続したいプログラムである。	①		継続の要望が多いプログラムであるため。
千葉県	特色C (その他)	親子deわくわく工作教室	http://www.tega.jp/	親子	①8月4日、②12月1日 ③2月24日	親子のための自然体験及び工作教室。	①ドキドキ染め物体験 ②森の木の実でリース作り、③伝統工芸の七宝燒の3つの工作系のプログラムを実施し、親子の絆を深めつつ体験活動を実施する。(一つのプログラムの参加も可能)	④	⑤			季節の特徴を生かした工作なので、良い。又親子で楽しく参加できるので良い。等好評。	特に親子でということ強調し親子での参加を中心にした。自然体験、工作など手製の青少年自然の家の特徴を生かしたプログラムだと考える。	①		人気もあり、有効なプログラムである。
千葉県	特色C (その他)	おやこふれあい石窯料理	www.tougane-youth.jp	小学生と保護者	5月20日、7月1日、11月11日、11月24日	東金青年の家の石窯活用を図るために、おやこでピザ等を野外で行う中からおやこの新鮮な関わりを見出す。	ピザの歴史について、ピザ作りの方法について、ピザ作り、ピザ焼き、ピザ試食と参加者交流	③	⑥	⑨		①おやこでの料理体験から子どもの別の姿が発見できること ②おやこ共同作業からおやこの自立心が芽生え始まること	①生地こねからピザの形を整える努力と達成感があること ②トッピング作業から実的感覚と想像力を養えること ③おやこ共同作業からおやこのふれあいの深まりがあること	①		日常生活外の体験からおやこのふれあいが深まるため
東京都	特色C (その他)	高校生世代チャレンジプログラム (東京都 Bumb東京スポーツ文化館)	http://www.ys-tokyobay.co.jp/social/	高校生世代 20名	全11回(各回日帰り)	高校生世代が、社会課題への取組や社会貢献活動などについて、立案から計画の作成、実施までの一連の取組を全て実施する中で、コミュニケーション能力、問題解決力、主体性、協調性などの「生きる力」を身につける。	・オリエンテーション ・グループ活動 ・目標設定、企画検討、企画準備・実施 ・合同報告会(発表、振り返り、表彰)	②	③	④		高校生世代が社会に貢献する意識を高め、社会とつながるリアルな体験活動を行う貴重な機会となっている。	グループをまとめる難しさや、大人・他者とのコミュニケーションに悩み試行錯誤しながら、多彩な企画を実施する中で、高校生の成長が見られる。	①		高校生世代が社会に貢献する意識を高めるプログラムとして重要

(4) (1) ~ (3) 以外の特色のある効果的なプログラム (防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間 (時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
東京都	特色C (その他)	ひとり親家庭のための1DAYプログラム (東京都 高尾の森わくわくビレッジ)	http://www.wakuwaku-village.com/event/socialeducation/615.html http://www.wakuwaku-village.com/event/socialeducation/645.html http://www.wakuwaku-village.com/event/socialeducation/666.html	5歳から小学6年生までのひとり親家庭の親子20組	3回 (日帰り3回 7月・10月・2月) ※各回募集	親子で野外活動やレクリエーションなどの様々なプログラムに挑戦する機会を提供し、親子の対話の機会を増やす。また、親同士の交流の時間を設定し、子育てや日常生活の情報交換を行う。	・レクリエーションゲーム ・アウトドアクッキング2回 (夏・秋)、屋内クッキング1回 (冬) ・親の交流会、子供の交流会	①	④	⑩		・自分以外の親子の様子の一部を肌で感じられて良かった。参考にしていきたい。 ・自然の中で遊ぶことが子供には必要だと感じました。 ・2人だけではできないことがたくさんできて、楽しかった。	①			親は子供が家族以外の人とどう関わっているのか、新しい事にどう挑戦していくのかを知ることができ、子供の成長を感じることができるから。
神奈川県	特色A (防災)	親子でエンジョイ!日帰りアウトドア ~もしもの時の防災編~	http://fureai-aikawa.com/event4.html	小学生を含む家族	日帰り	グループで協力しながら活動する中で、親子や家族相互のふれあいを図る。自然の知恵として、火起こし方法を学び災害時に備える。	ブッシュクラフトキットの説明、火口づくり、メタルマッチによる着火体験、ナイフを使った薪割など	①	③	⑦		自分で火を起こす経験を子どもたちに味わってもらえ、ナイフやメタルマッチを使った火起こしは大人にも有用な経験となった、などの感想を得ている。	①			参加者から好評を得ているため。
神奈川県	特色B (利用促進)	あしがらウィンターキャンプ	http://www.ashigara-fureai.com/camp-ivent-30-report/	家族	1泊2日	冬季の自然や行事を体験しながら、家族・親子間も含め参加者同士の交流を深める。	コミュニケーションゲーム、ふれあいの村内ラリー、冬の里山クラフト、冬の星空観察、野外炊事など	④	⑧	⑪		冬の植物を初めて見ることで親子で楽しめた、星空がきれいだと感動した、実際に星空を見る前に解説があったので良く理解できた、などの感想を得ている。	②			寒さ対策をより充実させるよう検討する。
神奈川県	特色C (その他)	ジュニアサッカーフェスティバル	http://fureai-aikawa.com/event4.html	県内のスポーツ少年団に所属する小学校3、4年生のサッカーチーム	1泊2日	サッカーの交流試合・練習・宿泊を通して様々な人との交流を深める。	リーグ戦、交流試合、キャンドルファイヤーなど	④	⑦	⑩		交流試合やレクリエーションを通じて、他のチームや審判員として参加している大学サッカー部との交流が生まれ、子どもたちの人間形成の一助となった、監督・コーチ同士の交流もできた、などの感想を得ている。	①			参加者から好評を得ているため。
新潟県	特色A (防災)	自然の家で防災キャンプ	www.pref.niigata.lg.jp/shizen/	学校や少年団の指導者、家族、30名	9月1泊2日	避難所体験やテント泊等の防災にかかわる知識を、衣食住の体験を通じて学び、身に付けます。	災害に関する講話、DVD視聴、救助艇体験、ビニール袋のヤッケづくり	②	⑩	⑪		講話や様々な体験により防災意識が高まった。	③			市町村の事業で取り組んでいるところが多いため、廃止する。
新潟県	特色B (利用促進)	ピザづくり、うどんづくり	www.pref.niigata.lg.jp/shizen/	利用団体	4月~5月、10月~3月	特に、冬場等に、料理を作ることで人間関係づくりを行う。	ピザやうどん、デザート等をつくり、会食する。	④	⑦	⑪		幼児から高齢者まで簡単に取り組むことができ喜ばれている。その後の会食も、人間関係作り役立っている。	①			調理メニューを増やすことを検討する。
新潟県	特色C (その他)	ハートフルドリームキャンプ	www.pref.niigata.lg.jp/shizen/	ひとり親家庭	4月、9月	親子で活動する機会の少ない、ひとり親家庭に自然体験活動や創作活動を楽しむ機会を提供する。	いちご狩りやハイキング等	⑩	②	⑤		親同士が交流することで、日頃の互いの悩みを話し合う機会になっている。また、経済的な補助があり、参加者は低料金で活動に参加でき、家庭の負担が少ない。	①			プログラムがマンネリ化しないように工夫しながら継続する。
富山県	特色B (利用促進)	冬の集い	https://www.kureha-ie.jp	小学生とその家族	1泊2日	自然とのふれあいを体験することで、その楽しさを知るとともに自然の素晴らしさや厳しさを体感する。また、友達と過ごす生活体験をおして、思いやりの心や自立心を養う。	料理、野外活動	④	⑥	⑬		冬の自然の中で親子が触れ合えるプログラムである。	①			人気の高いプログラムであることから今後も継続する。
富山県	特色B (利用促進)	親子のきずなプログラム	http://shizentonami.jp/gyouji.html	最大8名までの、親子を含むグループ	1泊2日	親子での自然体験活動をとおり、共に学ぶことで、互いの新たな一面に気づき、子供も親もともに成長することをねらいとする。	①親子のきずなコンサート ②マイスプーン作り ③レザークラフト作り ④Zip Laine (森の遊び) ⑤ピザ作り⑥野外テント泊体験 ⑦カップケーキ作り ⑧五平もち作り ⑨うどん・そば作りなど 各組で選択して実施する。	②	④	⑦		各組で、時間をゆとり取り、いろいろな活動を選択することができるので、参加を希望される方が多く、抽選により参加者を決定するほどの人気事業である。	①			各組で、館内泊とテント泊を選んだり、いくつかある体験活動を選択したりすることができるので、リピーターもいる。今後も継続して実施したい。
富山県	特色C (その他)	おじいちゃん・おばあちゃんとそばづくり	http://shizentonami.jp/gyouji.html	祖父母と孫 (年長~小学6年生を含む)	日帰り	祖父母と孫が協力して体験活動を行うことで、世代間の交流を深める契機とする。	地域特産のそばを打ち、仲よく食べる。	③	④	⑤		地域特産のそばを提供している「そば処 せんだん山」を経営しておられる方を講師に招いているので、本格的な体験ができる。	①			おじいちゃん・おばあちゃんを孫を対象とした他の体験活動も提供できる。また、そば打ち体験については、公民館活動の利用も期待できるので、継続していく。
石川県	特色C (その他)	いしかわ子ども自然学校 ファミリーチャレンジプログラム	http://www.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/shizengakkou/index.html	石川県内小中学生を含む家族	4月~3月 4泊2日 プログラム (石川県立青少年教育施設で実施)	家族で石川の自然や料理作りを楽しみ、家族の絆を深める。	キャンプ、自然体験活動 (山、川、海での活動)、料理作りなど	①	⑥	⑧		自然体験活動が家族で手軽に楽しめることから、受付開始当初から申込みが多く、親子で自然に親しみ、学ぶ、共通の体験をして絆を深める機会として大変有効である。	①			いしかわ子ども自然学校の中心的なプログラムとして定着しており、今後も多くの参加が見込めるため。
石川県	特色C (その他)	いしかわ子ども自然学校 グローバルキャンプ (R1新規)	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/shizengakkou/index.html	石川県内小学校5、6年生	8月、11月、1月1泊2日 (約11時間) 各	外国人スタッフ等との体験活動や交流活動をおして、多文化の理解を図るとともに、外国語学習への関心を高める。	自然体験活動、多文化学習・体験、イングリッシュタイムなど	④	⑦	⑮	異文化や外国語への関心・理解	新規プログラムにつき、アンケートから参加者満足度や内容の改善点を認知し、できるところから改善に取りかかりたいと考えている。	①			申込数が定員の5倍以上となるなど、外国人との交流や外国語のコミュニケーション要素を取り入れた活動へのニーズが高いため。
福井県	特色B (利用促進)	ホリデースキーレッスン (奥越高原青少年自然の家)	http://info.pref.fukui.jp/syougak/okuetu/hp-1.3/index.htm	小学3、4年	平成31年1月5日 (土)、1月12日 (土)	スキーの初心者を対象に、個人のレベルに合わせた技術の向上を目指す。	スキー初心者の児童が、なだらかな斜面をブルーボードで滑ることができるようにならなように施設職員が指導する。	②	③			施設職員の手厚い指導を受けられることができ、技能の向上が顕著に表れ参加者から好評を得ている。	①			冬場の利用者確保につながるから。
福井県	特色B (利用促進)	ミニ門松づくり (芦原青年の家)	http://www.pref.fukui.jp/doc/awara-seinen/	家族、グループ	平成30年12月15日 (土) 9:00~12:00	伝統と文化を大切にし、家族でものを作る体験を通して、自らを見つめ直し、何事にも意欲的に取り組む態度と、伝統文化への理解を育む。	門松制作、干支の置物制作	②	④			門松や干支の置物は持ち帰り、家庭に飾れることもあり、好評を得ている。	①			冬場の利用者確保につながるから。

(4) (1)～(3)以外の特色のある効果的なプログラム(防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
福井県	特色B(利用促進)	もちつき&しめ飾りづくり(鯖江青年の家)	https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sabae-seinen/index.html	親子	平成30年12月15日(土)9:00~12:00	もちつき体験、しめ飾りづくりを通して、伝統文化を大切にすることを育む。	・しめ飾りづくり ・もちつき、粉ひき体験と試食会	②	③			日本の伝統的な行事を楽しむ親子で体験できるということから好評を得ている。	親子で協力する姿が見られるプログラムであり、参加者の満足度が高いプログラムである。	①		冬場の利用者確保につながるから。
福井県	特色B(利用促進)	オリジナルリースを作ろう(三方青年の家)	http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/mikata-seinen/	小中高生及びその家族	平成30年12月9日(日)9:15~11:45	近くの里山で採取した自然の素材やドライフラワーを活用してリースを作ることにより、創作の楽しさを味わう。	オリジナルリースを作り	③	④			親子で楽しみながら、手軽にリース作りができることから好評を得ている。	多種の自然素材を準備できるから心配だったが、何とか昨年並みに素材をそろえることができた。	①		冬場の利用者確保につながるから。
福井県	特色C(その他)	親子ふれあいクラブ(芦原青年の家)	http://www.pref.fukui.jp/doc/awara-seinen/	県内親子(乳幼児とその親)	H30年5月15日、6月12日、8月28日、10月17日、11月21日、1月22日、2月20日、3月8日の10時~14時	幼児期の教育の充実を図るとともに、親子で触れ合う機会を提供することにより、生涯にわたる人格形成の基礎を培う。	あわら子育て支援センターが実施主体となり、道具遊び、遠足、親子体操等を行う。	④	⑥			子育て支援センターの職員の方から、親子体操を教わるだけでなく、施設の入浴も可能ということで好評を得ている。	幼児が体を動かす気持ちよさを体験できるだけでなく、母親がリフレッシュできるプログラムである。	①		幼児の利用者拡大のための貴重なプログラムであるため。
福井県	特色C(その他)	ブレッドボードで電子工作(福井高専で前事業:鯖江青年の家)	https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sabae-seinen/index.html	小学4年~中学生の親子	平成31年1月26日(土)9:30~12:00	ブレッドボードを用いて、親子電子工作を楽しみながら、電子回路の基本的な仕組みを学び、ものづくりに対する興味・関心を高める。	・電子回路についての簡単な解説 ・ブレッドボードの仕組みについて ・ブレッドボードを用いた電子工作	②	③	④		電子工作に興味がある親子から大変好評を得ている。	米田教授(福井高専電気電子工学科)を中心としたスタッフの専門的な講座であり、当該施設の事業の幅が広がっている。	①		外部講師を招くことで高度な内容のプログラムが可能になるから。
山梨県	特色A(防災)	生きる力を育もう~サバイバル術から学ぶ災害時の身の守り方~	http://youthcenter.yya.or.jp	どなたでも	1日(6時間)	サバイバル体験をとおして、災害時に対する意識の向上を図る。	①命を守るために必要な5要素についての講話 ②シート・ロープワークで作るシェルター体験 ③災害時に役立つ緊急テクニック体験	②	③	⑥		様々な体験をすることにより、災害時での身の守り方を学んだ。	災害時の身の守り方に対するスキルの習得や防災に対する意識が高まった。	①		地域や家庭のニーズが高いと考えており、それに応えていくことが必要と考えるため。
山梨県	特色B(利用促進)	自然の家に泊まろう!	なし	家族・一般	12月~3月の土日祝日1泊2日 7回実施	閑散期における利用率向上を図ることを目的に、家族で自然の家に宿泊し活動プログラムを体験してもらうことで自然の家への理解を深めつつ、家族の交流や心身のリフレッシュを図る。	①星空観察 ②プラネタリウム鑑賞 ③交流会 ④クイズラリー	①	⑦	⑩		時間的にゆったりとしたプログラムで、家族でのんびりと過ごせて良い、日帰りイベントへの参加も出て来て充実している。	同日開催で月替わりの工作や寒冷地の自然を活かした日帰り事業を開催することで、家族単位で日程に合わせて楽しむことができる。	①		非常に人気の高いプログラムであるため。
山梨県	特色C(その他)	親子プロジェクト~大人が変われば子どもも変わる~	http://youthcenter.yya.or.jp	未就学児の子どもとその親	1日(1時間30分)	親子でふれあいをとおしてリフレッシュすると共に、子育ての悩みを相談できる場を提供する。	音楽に合わせて親子で体を動かすとともに、楽器や道具を使い、聴く・見る・触れるなど様々な感覚をとおして音楽を楽しむ。	④	⑦	⑩		音楽を楽しむことによりリフレッシュでき、家庭でもできることを学んだ。	親子の絆やリフレッシュを図ることができた。	①		子育て中の親子に必要な事業と考えるため。
山梨県	特色C(その他)	バンビキャンプ	なし	年中・年長児童とその保護者	1泊2日	親子で別々のプログラムを体験する時間を設けることで、子どもは新しい仲間との集団生活から、自立心、協調性、冒険心を養い、保護者は我が子の新たな一面や成長を認識する。	幼児・森の探検・夜のお散歩・ハイキング 保護者・子育て支援プログラム・クラフト・子育て情報交換・ハイキング	③	⑤	⑥		幼児にとって貴重な経験を与える場となっている。保護者は日頃の子育ての忙しさから一時離れ、リラックスできる時間が持てることと好評。	1事業で親子別々のプログラムを展開するが、それぞれに凝ったプログラム構成をすることで、非常に満足度が高く、リピーターの申込みが多い。	①		申込みが多く、抽選で参加者を決定しているほど人気があるため、継続。
長野県	特色C(その他)	土に親しむ	ananshonen.jp	親子	令和元年5月25日(土)から26日(日)	化石採集と陶芸体験	阿南町の特徴である化石を採集したり、化石館を見学することで化石について興味を持ってもらう。また、陶芸体験を通して土を活用することの良さに触れてもらう。親子や参加者同士の関わりや絆を深める。	②	④	⑨		とても貴重な体験ができると好評である。	参加者が満足できる事業だと考えている。	①		大変好評でありできる限り継続したい。
静岡県	特色B(利用促進)	スケートキャンプ	asagiri.camping.or.jp	家族、小グループ	1泊2日×6回	専門家からフィギュアスケートを習う経験を通して、家族でスケートに親しむきっかけとするとともに、施設の周知を図る	フィギュアスケートレッスン(基礎技術練習、スケートフォークダンス体験等) プラネタリウム鑑賞 クラフト など	③	⑤	⑮	フィギュアスケートの基礎技術の習得	フィギュアスケートの専門指導者の指導を受けることで、子どもから大人まで、ターン、スピン、バック滑走等ができるようになり、フィギュアスケートをより楽しむことができるきっかけとなっている。応募者が多い人気事業であり、冬期の子どもたちの活動を活発にする事業である	当該施設の特徴(スケート場、プラネタリウム設置)を活かした魅力あるプログラムを提供できるとともに、親子で冬の自然体験を楽しむ機会を提供したり、フィギュアスケートに親しむ機会を提供したりすることができるとしている。	①		人気が高く、冬期の利用促進に繋がっている
静岡県	特色C(その他)	朝霧高原サマーキャンプ~つながろう富士山~	asagiri.camping.or.jp	小学5年から中学3年生	事前研修会 1日 本研修 8泊9日	長期キャンプの体験をとおして、自分と自然・仲間・自分自身との関係の認識の拡大と改善を図る	・キャンプサイト設営・野外炊事 ・イニアティブゲーム ・お好み(個人選択)活動(MTB、洞窟探検、川遊び、竹細工、段ボールオーブンなど) ・富士山原生林ハイキング など	①	⑧	⑩		1週間を越える比較的長期のキャンプ体験や、富士山原生林ハイキングでの野宿の経験及び富士山からの日の出の鑑賞等、ダイナミックな自然体験をとおして子どもたちの生きる力を育む場となっている。	よくトレーニングされたキャンプカウンセラーの指導のもとで長期キャンプを経験することにより、子どもたちが、自分と自然・仲間・自分自身との関係の認識を改善し、拡大させ、生きる力を育む機会となっている。	①		子どもたちを対象とした長期の自然体験活動の機会を提供することは非常に重要であり、また、人気の高いプログラムでもあるため。
静岡県	特色C(その他)	黒はんぺんを作ろう ~作ってなっとく、食べてまんぞく~	http://yaisei.jp/index.html	家族、親子、グループなど	1日3時間×2日	焼津の名産品である黒はんぺんを作ったり、味わったりすることを通して焼津の文化に触れる	・黒はんぺんの秘密や歴史の説明 ・黒はんぺん作り体験	⑮			文化	焼津の名産である「黒はんぺん」を実際に手作りできる貴重な体験プログラムである。	幼稚園児から参加でき、焼津ならではの体験であり、好評を得ているプログラムである。	①		焼津ならではのプログラムであり、郷土の歴史、文化、産業に対する誇りと愛着を育むことにつながるため。
静岡県	特色C(その他)	家族deフィッシング	http://mikkabi-mfp.jp/	家族	1日×2回	魚釣りや魚を捌くなどの自然体験を通して、親子・家族との触れ合う時間・会話を楽しむ時間とする。非日常体験により、自然や海洋生物とふれあい、生物の命の大切さを学ぶ場を提供する	・仕掛け講座 ・魚釣り体験 ・調理体験	④	⑧	⑪		魚釣りをやったことなかった、浜名湖についてや生き物について知ることができ、魚を捌く体験により、食教育を行うことができたので楽しかった。	自然の中で活動することにより、浜名湖についてや生き物について知ることができ、魚を捌く体験により、食教育を行うことができた。	①		自然の中で活動することにより、浜名湖についてや生き物について知ることができ、魚を捌く体験により、食教育を行うことができるため。
静岡県	特色C(その他)	観音山もりもりキャンプ	https://www.inh.co.jp/~kannyonama/index.html	小学生1~3年	1泊2日×2回	自然の中での集団生活を通し、思いやりの心、自然のすばらしさを体感する。	森のワクワク探検 夜のドキドキ探検 沢のウキウキ探検 など	①	④	⑥		低学年を対象にしたキャンプであり、毎年募集人数よりも2倍以上の応募がある人気の高いイベントである。	低学年を対象にしたキャンプであり、親のニーズが高く、突りある主催事業となっている。	①		評価の高い主催イベントであるため。
愛知県	特色A(防災)	家族で避難所体験	なし	小中学生とその家族	8月 1泊2日 主催イベント	避難所生活グッズの作り方や扱い方、非常食の作り方などを学び有事に備える。	避難所生活グッズの作成及び体験、AED等応急処置の方法、非常食の調理、試食	③	⑩	⑫		様々なグッズ作成ができるなど、良い経験が出来る等、参加者からは好評である。	概ね好評であるが、今後は避難所を想定した宿泊体験も実施したい。	①		今後の方向性を見極めるため

(4) (1) ~ (3) 以外の特色のある効果的なプログラム (防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間 (時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
愛知県	特色A (防災)	避難所運営ゲーム (HUG)	正式にプログラムに取り入れるための試験期間中の掲載なし	小中学生	通年	体育館及び講堂を利用し、避難所での生活の理解を深める。	HUGセットを活用し、避難所運営をゲーム形式でおこなう。どのような人が避難してくるか、避難所の内部のレイアウトはどのようにするかなどを参加者が考える。	⑤	⑨	⑫		自然環境を活かしたプログラムだけでなく、防災の観点からも活動ができるようになり、宿泊研修が多彩で有意義なものになると評価頂いている。	指定管理者NPO法人愛知ネットの特色を活かした事業である。参加者に自助、共助についても学んでいただき、防災啓発をおこなっていきたい。			幅広いプログラムを提供していきたい。
愛知県	特色B (利用促進)	冬の林間学校	http://yagaicenter.sports.coocan.jp/event/memory30/09%20fuyu/h30fuyu.html	3歳以上の子どもとその家族	12月 1泊2日 (主催イベント)	クリスマスの準備となるクラフトの作成や正月に向けた餅つき体験を通じて、冬を楽しむ	・自然の素材を使ってクリスマスリースを作るクラフト ・クリスマスパーティー ・お餅つき	④	⑨	⑩		クリスマスの2週間ほど前に実施するため、リースや飾りつけの木の実など、自然の素材を使った本格的なものが出来上がるので、参加者の皆さんにも喜んでいただけるので嬉しい。	リースづくりは、木のツルや飾りつけの木の実など、自然の素材を使った本格的なものが出来上がるので、参加者の皆さんにも喜んでいただいている。			自然の素材を使ったリース作り等、人気のプログラムを実施する事業であるため。
愛知県	特色B (利用促進)	朝食無料キャンペーン	なし	平日の宿泊者	1月7日から2月28日の月曜から金曜	利用が落ち込む冬季の平日利用者を増やす	対象期間の平日宿泊者に朝食を無料で提供する					おおむね好意を持たれている	①			概ね好評であるため
愛知県	特色B (利用促進)	ジュニアバスケットボール大会	http://www.hm11.aitai.ne.jp/~asahi	小・中学生	例年11月第2土日の一泊二日	スポーツを通じた青少年の健全育成	二日間に渡るトーナメント方式の大会と、施設内での触れ合いを通して、日頃面識のない各チームのメンバーとの交流を深める。	④	⑦	⑩		新たな出会いの機会も多く、その後の付き合いの幅が広がってよい。	前年に比べ対象日にはさほどの伸びは見られないが、期間中の利用者は伸びており、広報ツールとしては有効である。	①		利用者の評価が高く、参加者も多いため。
愛知県	特色C (その他)	ネイチャーゲーム	http://yagaicenter.sports.coocan.jp/event/memory30/08%20aki%20shizen/h30aki%20shizen_kiroku.html	3歳以上とその家族	通年 2時間	五感を駆使して自然との結びつきを体験する	ゲーム指導は愛知県シェアリングネイチャー協会に依頼し、自然豊かな愛知県野外教育センターの敷地内でネイチャーゲームを行う。施設内のあらゆる自然が学びの対象となる。	④	⑧	⑪		普段気づくことのない自然に出会えたり、ゆっくりと自然を味わうことができ大変良い。	愛知県の中でも自然豊かな地域なので、自然を題材にしたプログラムは参加者にも喜ばれている。	①		自然環境教育の観点からも継続していきたい。
愛知県	特色C (その他)	ジビエ素材を使ったアウトドアクッキング	http://www.hm11.aitai.ne.jp/~asahi/shusai.html	幼・小・中・高校生を含む家族	9月 4~6時間 (主催イベント)	命をいただくことを実感することで、食生活に目を向ける機会とする。	猟師でジビエ料理のシェフでもある講師を招き、野生の鳥獣と深く関わる山里の現状を知る機会とする。また親子で鹿肉を調理し、「命あるものを食べる」ことへの理解を深める。	⑧	⑨	⑪		命あるものを食して人間も命をつないでいる、という生存の原点に立ち戻れる貴重な経験となっている。	毎回、「食」と真摯に向き合うための情報発信の場となっている。県もジビエ素材と飲食店とを結びつける施策を打ち出しており、時流にも乗っている。	①		今後も必要性が高まる分野でもあり、積極的に促進していきたい。
三重県	特色A (防災)	【鈴鹿】親子アウトドア体験	http://www.mie-sports.or.jp/suzukayc/wp/archives/1989	小学1年生~3年生とその保護者	5月27日	初めてのアウトドア体験を通して防災の知識や非常食の調理方法を学ぶ。	火起こし体験、災害用非常食の調理・試食、防災クイズ	②	③	⑪			①			全国で自然災害が頻発している昨今、防災の内容を含めたプログラムは今後も必要である。
三重県	特色B (利用促進)	【鈴鹿】センターフェスタ	http://www.mie-sports.or.jp/suzukayc/wp/archives/3029	どなたでも	2月24日	宿泊研修以外の利用者増に向けた施設開放イベント	他施設・地元の団体等の出張により、木工工作やレクリエーションなどが無料で体験できる施設開放イベント。カレーバイキングやパン屋の出店もあり。	②		⑩			①			多くの地元団体と連携することができ、だれでも気軽に参加できるイベントはセンターと住民をつなぐ良い機会となるため。
三重県	特色C (その他)	【鈴鹿】大人の学校シリーズ (そば打ち講座、ウォーキング講座)	http://www.mie-sports.or.jp/suzukayc/wp/archives/2494 http://www.mie-sports.or.jp/suzukayc/wp/archives/2520	大人	2018/11/6・8ほか	「青少年」教育施設の利用者の幅を広げるため、大人を対象とした講座を実施する。	地元の方に講師になっていただき、大人を対象とした講座を開催。H30年度はそば打ちとウォーキング。	④	⑦	⑩			①			個人の大人も参加できる人気プログラムであるため。
滋賀県	特色C (その他)	語らいの広場		滋賀県内地域青少年団体	一年間	滋賀県内の青少年が集い、宿泊して集団生活を学び、仲間と共に語り合う機会をつくり、青少年の新しい発想をもって地域づくりに参画する実践的な態度や資質を育む	宿泊を伴う共同生活、集団生活を通し生活を整え、青少年同士が、自分の事、将来の事を語り合い、仲間から学んでいる。進行主催は各青少年団体である。	①	⑤	⑥		青少年団体の今後の活動の力となっている。	①			団体活動の継続的な活動意欲につながっている
京都府	特色A (防災)	防災キャンプ		小学生を含む家族	平成31年3月10日(日) 10:00~15:00	家族で防災について考え、いざという時に備える準備をする。	防災時の備えについて(講義)、身近なものをを使って防災グッズ作り(簡易コンロ)、簡易コンロを使って非常食体験、ロープワーク、ロープワークを使ったブルーシートでの簡易テントや寝袋の作り体験、家族で考える防災計画	②	④	⑥		アンケートでは、「防災対策の具体例もありとても分かりやすかった」「講義を受けて自分自身の防災対策に足りないものがいっぱいあると気づいた」「防災意識についてなかなか話し合う機会がなかったので良かったです」「数種類のロープの結びでも実用的で素晴らしいと思いました」等好評を得ている。	防災に関する一般的な講義や災害現場(阪神大震災や東日本大震災)に行った時の具体的な話、少年自然の家自然体験活動のノウハウを活かした実習、京都府下のそれぞれの市町の防災マップ等を取り寄せ、家族で話をする時間等、家族で防災意識を高揚することができた。	①		災害の多い昨今における防災教育は社会にとっても非常に大切な事なので今後も継続的に実施していきたい。
京都府	特色B (利用促進)	冬遊びキャンプ		小学生	平成31年1月12日(土) 15:00 ~ 1月14日(祝) 14:00	寒い冬の時期にも楽しめプログラムを提供することで利用促進を行う	餅つき・たこ揚げ・キャンドルファイア・冬の星空観察・なんたん暖炉でピザ作り 等	④	⑦	⑩		参加者からは「冬でも楽しい事がいっぱいあって、あっという間の3日間だった」「なんたん暖炉で焼いたピザがおいしかった」「冬の星がとってもきれいだった」、保護者からも「家族では体験させられないことがたくさんできて、子どももまた行きたいと言っている」等、好評を得ている。	日本文化の風揚げやもちつき、るり溪少年自然の家の冬の魅力の一つであるなんたん暖炉を使ったプログラムや冬の自然観察等、冬ならではの楽しみ方があり、参加希望者が非常に多い。今後も冬を活かした取り組みで利用促進を図りたい。	①		参加者の評価や人気が高く、閑散期に集客が期待できるため。

(4) (1) ~ (3) 以外の特色のある効果的なプログラム (防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間 (時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
京都府	特色C (その他)	手作りクラフト体験		京都府民	平成31年3月21日 (祝) 10:00~14:00	地元のクラフト友の会の方に指導いただき、手作りのクラフト体験を通じて、物作りの楽しさや完成したときの達成感を学ぶ。	クラフト専用施設 (クラフト棟) を有効活用し、専門の講師の方の指導を受け、電動糸のこの工具を使ったやヒノキのバズル作りやアロマワックス作りなどのクラフト体験を実施	②	③	⑨		事業内容についてアンケートでは全員の方が大変満足と記入し、「普段家では出来ない事をさせていただき、すてきな作品ができました」「電動糸のこのを触る機会はめったにないけど、良い体験になりました」「先生が丁寧に教えてくれて分かりやすかったです」「アロマワックス初めて作ったけど、中に入れる物やにおいもたくさん種類があって迷いました」等好評を得ている。	施設の職員だけでなく、地域の方の協力を得ることで普段提供できないプログラムを実施することができ、クラフト専用施設 (クラフト棟) の有効活用にもつながった。	①		地域の方の協力を得て事業を実施することができている。今後も幅広い内容のクラフトプログラムを実施していく。また、この事業を実施することでクラフト専用施設 (クラフト棟) の有効活用にもなるため。
大阪府	特色B (利用促進)	家族で・仲間であそぼう		家族、一般	平成31年1月13日~2月24日間の毎週日曜日	火に親しむ機会が無くなりつつある現代で、焚き火を活用した体験プログラムにより、家族やグループで自然の循環環境について学ぶ。	薪を拾って焚き火をし、その周りを囲って、持参した弁当等を食べながら自然の中で過ごす。	④	⑦	⑧		事業アンケート結果 ・思春期の子どものため、家族以外との交流が学びになった。 ・冬は引きこもりがちになるため、このようなイベントは有難い。	家族やグループ等で火を起す等の自然体験活動を行うことで、火について学ぶとともに自然の循環について意識できる事業と考える。	①		
大阪府	特色C (その他)	森の絵本づくり		子どもを含む家族等	平成30年10月21日 10~16時	季節の移ろいを自然の中で感じながら、子どもたちに五感を意識して使う機会を与え、本という形になる喜びを体験させる。	自然の中を散策し、落ち葉や木の葉等の素材を集め、絵本を制作する。	⑧	⑨	⑪		事業アンケート結果 ・子どもの成長を感じることができた。	自然体験活動を通して、読書の興味を喚起できる事業と考えている。	②		子どもが読書活動と自然体験活動の両方を楽しみかけづくりとなる事業について、より効果的な事業内容となるよう検討を進める。
兵庫県	特色C (その他)	親子で自然学校	https://www.shizengakko.jp/evcat/%e8%a6%aa%e5%ad%90%e3%81%a7%e8%87%aa%e7%84%b6%e5%ad%a6%e6%a0%a1	県内の小学生とその保護者	1回 1泊2日、年5回	豊かな自然の中での体験活動等を通して親子のふれあいを図る。	・里山散策活動 ・自然物クラフト製作 ・隠れ家づくり ・星空観察 ・火起こし体験 ・紙すき体験	②	⑧	⑩		季節に応じた自然に親しめるとともに、様々な体験活動を通じて親子がふれあえる貴重な機会となっている。	施設の自然をフル活用して、五感で感じるプログラムを展開するとともに、野外炊事や宿泊生活を通じて、親子間だけでなく、参加家族間の交流も図られ、子どもの社会性を養う良い機会となっている。	①		募集開始初日に参加定員を満了す等、非常に人気があるため。
鳥取県	特色B (利用促進)	ピザ祭り	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1102422/H30piza.pdf	小・中学生とその家族	平成30年12月1日 (土)・2日 (日)	・自然を楽しみながら、ピザ作りを楽しむ。 ・親子同士のつながりを深め、家族間の交流を図る。	ピザ作り	②	④	⑦		単に作るだけでなく、材料集めのためにオリエンテーリングというのが良いアイデアだと思います。ダッチオーブンを使うのは初めてでしたが、ピザもおいしく楽しかったです。(参加者の感想)	家族でピザを作って食べるだけでなく、オリエンテーリングを通して家族同士の交流を深めながら、ピザ作りを楽しむことができました。	①		多くの参加者があり、好評であった。
鳥取県	特色C (その他)	船上山スクールたいけん入学!	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1102422/H30nentyou.pdf	年長園児とその保護者	平成31年2月24日 (日)	①小学校の学習体験を通して、4月からの小学校生活への期待と意欲を高める。 ②初めて出会う友達となかよく活動し、協調性や社会性を育む。	1時間目「国語・算数・道徳」 ☆漢字☆そろばん☆かるた☆ 2時間目「体育」 ☆友だち作りゲーム☆ 3・4時間目「生活」 ☆入学お祝い! スペシャルピザ作り☆	④	⑩	⑬		子どもと一緒に楽しめるイベントでした。あいさつをする、時間を守る、友達と仲良くするなど、小学校での学びを少しでも経験させたかったので、大満足です。4月の入学が待ち遠しくなりました。(参加保護者の感想)	学習について。様々な教具を駆使し、テンポよく学習を進めたことで、子どもたちは最後まで集中して取り組めた。時にはうまくいかないことや負けることの経験もさせたことも、子どもの成長には必要だと感じた。	①		参加者が好評だったため。
鳥取県	特色C (その他)	家族でお泊り会①②	daisen_seinen@pref.tottori.lg.jp	家族20組 計2回合計40組	11月24~25日 12月8~9日	家族単位で、自然の中でゆったりと時間を過ごす。	交流レクリエーション屋のキャンプファイヤー・自由時間・ナイトハイク・施設開放 (体育館)	④	⑦	⑪		家族でお泊り会をした経験がある家庭は半数程度。参加者からは、このような企画があってうれしいという意見が多い。	冬の閑散期対策でもある。参加者は予定数に達するが、小さいお子さんのいる家庭への対応が難しい。	①		家族でゆったりとした時間を確保するために、活動内容が盛りだくさんになり過ぎないように注意する。
鳥根県	特色B (利用促進)	わくわく体験講座	https://www.pref.shimane.lg.jp/seishonennoie/	一般・家族	12月~3月の日帰り6回	土日の日帰りできる体験活動を提供する。	・ゴム印づくり ・たこづくり、たこあげ体験 ・恵方巻きづくり ・和菓子づくり ・日帰りキャンプ体験 ・ダッチオーブン料理	②	③	⑨		好評である。	ニーズが高いため、利用促進事業としては有効である。	①		上記による。
鳥根県	特色C (その他)	にんにんチャレンジ	https://www.pref.shimane.lg.jp/seishonennoie/	年長、小学校1・2年生	1泊2日 年2回	基本的な生活習慣の形成と集団生活への適応力の向上を図る。	・仲間づくり ・運動体験 ・生活体験	③	⑥	⑦		好評である。	ねらいに対するきかけづくりとしては有効なプログラムである。	①		上記による。
鳥根県	特色C (その他)	かわいい子には旅をさせよう!	http://www.pref.shimane.lg.jp/onenshizen/	就学前児童および小学校1年生	1泊2日を2回	生活そのものを学びの場とし、基本的な生活習慣づくりを図る。また、自然体験を通して、自然に親しもうとする心を育む。	野外体験活動、創作活動、自然遊び	⑥	⑩	⑬		就学前や小学校1年生児童にとって、ものづくりや自然への関心を高めることができる場となっている。	幼少期に親元を離れて宿泊をするという経験は、児童の自立心や社会性を高める上でも大きな意義がある。	①		幼少期の児童にとって、教育効果が高い事業となっていることから継続する。
岡山県	特色B (利用促進)	海事研修出前講座	http://www.shibukawa-yoop.jp/marine/delivery.php	岡山県内の海事研修参加小学校 (隔年参加校、参加希望校を含む) の小学4年生~6年生	12月上旬~2月下旬	海事研修にこれから参加する児童に対して、事前にオリエンテーションを行うことにより、児童の海事研修に対する不安を取り除くとともに、手旗信号やロープ結びの学習やクラフトなどをとおして海事研修への期待感や参加意欲を高めることを目的に実施	事前オリエンテーション、ロープ結び、手旗信号、クラフトなど					海事研修の利用が少ない冬期に学校へ出前講座を行うことで、次年度への参加意欲を高めたり、学校の利用促進を図ったりしている	学校行事が短縮される中、アウトリーチ的な研修プログラムは学校にとっても有効である	①		
岡山県	特色C (その他)	講堂学習・史跡見学	http://shizutani.jp/#studyhttp://shizutani.jp/training-program/	小・中・高・一般	随時	特別史跡旧岡谷学校にある国宝の講堂をはじめ、多数の国指定重要文化財など基調な教育遺産を活用した当センター独自の研修プログラム	論語、史跡見学	⑧	⑩	⑬		論語に親しむことで、礼節や集中力の習得にも効果がある	岡谷学校の文化、歴史に触れることで、郷土を愛する心の醸成に寄与するとともに文化財保護の観点からも効果がある	①		
広島県	特色A (防災)	みんなで学ぼう・支え合おう! 防災キャンプ	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/fukuyamashonen/guro.html	小学校1年生~6年生の児童とその家族	1泊2日	防災キャンプを通して、災害について学び、状況に応じた行動力を身に付けるとともに、家族の絆を深め、他者と支え合って課題にチャレンジしていく力を高める。	①火起こし体験 ②消防署連携による「消火訓練」。「ロープワーク」。「ヘリ救助訓練の見学」 ③野外炊さん活動、非常食試食 ④寝床づくり	②	⑤	⑪		様々なプログラムを体験することにより、家族で防災について考えたり、備えようとする意識が高まっている。	防災、減災に対する知識や、状況に応じた行動力を身に付ける等、スキル習得が図られている。	①		防災、減災を家族で学ぶ機会が少ないため、それに代えていく必要があると考える。

(4) (1) ~ (3) 以外の特色のある効果的なプログラム (防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間 (時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
広島県	特色B (利用促進)	学習合宿応援期間	http://192.168.61.148/site/fukuyamashonen/gakkousien-torikumi.html	高校生	毎年10月1日から翌年の3月31日までの6ヶ月間	施設の特性を生かし、県立高等学校が計画・実施する学習合宿を更に充実した成果が上げられるようにする。	①休所日を「臨時開所」 ②人数に関わらず「全館貸切り」 ③自主学習、個別指導室等として「宿泊室使用」 ④標準生活時間(活動、消灯等)の「時間延長等」	②	④	⑥		学校実態に応じた効果的な教育活動ができるように、利用方法が緩和されている。	利用団体からの要望に応えることで、快適に使用していただき、落ち着いた環境の中で、学習の成果も高まる。	①		学習合宿を機に、充実した成果が上げられるように支援していく。
広島県	特色C (その他)	S A Fプログラム	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/fukuyamashonen/saf-kensyu.html	小学校5年生以上	3時間	課題解決を集団で取り組みながら、主体性、コミュニケーション能力、チャレンジ精神、協調性を育成します。	①アイスブレイク ②ディ・インヒビタイザー ③コミュニケーション ④イニアチブ ・身近な道具で火をつける方法 ・クギからナイフを作る方法 ・魚を捌く方法など	②	④	⑦		課題解決に向かうための集団の在り方について、その後の学級運営や指導に生かしている。	92%以上の実施団体で、実施1ヶ月後も効果の継続が見られると回答をいただいている。	①		利用団体からのニーズが高まっており、それに添えていく必要があると考える。
山口県	特色A (防災)	油谷青少年自然の家「海のサバイバルキャンプ」	https://yuyashizen.feelkankyo.com/pdf/201908survivalcampflyer.pdf	小学生4年生～6年生 各回20名	【第1回】2019年8月6日～7日(1泊2日) 【第2回】2019年8月19日～21日(2泊3日)	油谷の大自然の中で、遊びながら「生きる力」を身につけることを目的とする。	・身近な道具で火をつける方法 ・クギからナイフを作る方法 ・魚を捌く方法など	③	⑥	⑪		普段の生活では味わえない体験が盛りだくさんで、日頃当たり前と感じていた生活のありがたさを感じることができた。	海水を使った調理や生活体験も加え、海辺における防災対策意識を高めることができた。	①		海辺でのアクティビティ体験も加え、楽しみながら防災意識を高められる内容になっている。
山口県	特色A (防災)	秋吉台チャレンジキャンプ ～電気のない生活を体験しよう～	http://www.c-able.ne.jp/~akishoji/challenge.pdf	小学校5・6年生 20名	2019年8月21日～23日(2泊3日)	異常気象や自然災害などでライフラインが停止した時に備えた生活を体験することを通して、生き抜く知恵を身につける。	・竹細工(マイコップ・マイ箸) ・ドラム缶風呂 ・洞くつ探検 など	②	④	⑩		電気がなくても3日間やり遂げたことを通じて、子どもたちの自信が高まり、子ども同士とのつながりが深まっていった。	電気の代わりに火を使うことが多く、子どもたちは火を扱うことに自信をもっていった。	②		夏休み期間だけでなく実施ができてきた内容も検討していきたい。
山口県	特色B (利用促進)	由宇青少年自然の家 陶芸(手ひねり・絵付けコース)	https://www.furepaku.com/program/	幼児～成人 60名程度	通年、2～3時間	陶芸の体験を通して、焼き物の製造工程や歴史について知り、ものづくりへの興味関心を高める。	・陶芸に関する基礎知識 ・手ひねり ・ろくろ体験 ・絵付け	②	③	⑨		専用の道具がそろっている、学校では指導の難しい専門的な技術を教えていただけなので、安心して活動することができる。	焼きものづくりを指導できる職員が常駐していることで、時期を問わず対応することができる。	②		本所利用の時だけの活動でなく、出前授業として対応することも検討可能。
山口県	特色B (利用促進)	十種ヶ峰青少年自然の家「歩くスキー」	http://www.c-able.ne.jp/~seed-10/activity/index.html	小学生～大人 80名まで	雪の降る概ね12～2月(1回につき4～6時間程度)	歩くスキーを使って冬山を移動し、十種ヶ峰の自然を満喫する。	・歩くスキーの基礎技術や安全な操作の習得 ・雪原を広い範囲に歩き、ウサギやキツネ、タヌキなど、小動物の足跡を見ながら、冬山の自然を楽しむ	③	⑤	⑧		いろいろな動物の足跡やフンを見つけていくことができ、冬の寒さの中でも動物たちの生活している様子が分かった。	雪が少なくても実施することができ、ゲレンデだけでなく林道や林の間をぬって歩くので、冬自然をよりダイレクトに感じることができる。	②		体育館内の森のチャレンジコースとセットにして、冬の宿泊学習を提案していく大きな材料になる。
山口県	特色C (その他)	秋吉台山焼き体験	http://www.c-able.ne.jp/~akishoji/31%20shusaijigyuu.html	一般及び小学生以上の親子 80名程度	2020年2月16日(日)	日本最大の野焼き「秋吉台山焼き」を体験することで、歴史ある山焼きの目的や動労・協力の大切さを知る。	・山焼き見学と山焼き体験 ・山焼き直後の秋吉台ハイキング	③	⑧	⑫		山焼きを「見る」のと「する」のでは大違いで、山口の魅力をもっと味わうことができた。	秋吉台の山焼きについては、小4社会の郷土学習として学ぶが、一般人が体験できる機会は貴重である。	①		火を扱うイベントであり、地元の山焼き対策協議会と連携して学ぶが、一般人が体験できる機会を貴重で継続していくこと
徳島県	特色A (防災)	津波避難訓練		利用団体(小学校)、職員	平成30年6月7日(15分)	南海トラフ巨大地震による津波に備えて、津波避難訓練を行う。職員は誘導方法について再確認を行う。	入所団体が活動中に、南海トラフ巨大地震による津波警報が発令されたことを想定して、指定避難場所まで避難する訓練	④	⑩	⑫		海辺での自然体験活動中に実際に指定避難場所まで避難することで、防災意識を高めるきっかけとなっている。	児童には防災の意識を高めるきっかけになっているとともに、職員には安全に非難誘導を行う方法を再確認することができる。	①		海浜型施設であり、近い将来必ず起こると言われている南海トラフ巨大地震による津波に備える必要があるため
徳島県	特色B (利用促進)	親子で牟岐少年自然の家宿泊学習	http://lets-be-ambitious.muginature.com/?eid=1299824	大人(中学生以上)、子供(小学生)	平成31年2月23日・24日1泊2日	学校の宿泊活動をファミリー向けにアレンジした宿泊体験を実施し利用促進を図る。	冬の約り体験 夜の集い(ゲーム、懇親会) 出羽鳥散策(重要伝統的建造物群保存地区)	④	⑥	⑩		実際に学校の宿泊学習を行うことができる。	利用者の少ない冬場に自然体験の事業を行うことで、利用促進に繋がった。実際に宿泊学習を行うことで児童・保護者ともに宿泊学習の内容を知るきっかけになっている。	①		利用促進につなげるため
徳島県	特色C (その他)	ときめき釣りロマン	http://lets-be-ambitious.muginature.com/?eid=1299735	小学生以上	平成30年11月10日・11日、17日・18日1泊2日(2回)	釣り体験やレクリエーションを通して自主的に活動したり、コミュニケーション力を身につける。	波止場釣り体験 レクリエーション バーベキュー	④	⑦	②		家族で釣り体験やバーベキューを行うことで家族の絆を深めることができる。	家族対抗の波止釣り大会を行うことで、家族の絆を深められることができるとともに、協力することの大切さを学び考えることができる内容となっている。	①		参加者から好評を得ているため
香川県	特色B (利用促進)	ウインターチャレンジ屋島	https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/yasho/syusai/index.shtml	小学4年生から中学3年生	1泊2日	屋島登山やウオークラー等の自然体験活動をおして、冬の屋島の自然を楽しむとともに、集団生活を通して、友達との絆を深める。	屋島登山 ウオークラー 打ち込みうどんづくり レザークラフト	①	⑥	⑦		毎年一定の応募者があり、冬の子どもの活動を活発にするものである。	自然との触れ合い、仲間との交流により、冬の屋島の魅力を活かせるプログラムとなっている。	①		一定の需要があり、今後も計画していきたいと考える。
香川県	特色B (利用促進)	家族で昔遊びともちつき体験	http://pref.kagawa.lg.jp/gosho/	香川県内在住の家族	半日	臼と杵を使った「もちつき」やミニ風作りを家族で協力して行い、伝統行事の体験と家族の絆を深める。	・もちつき体験 ・もちを丸め、会食 ・ミニ風作り	①	⑤	⑪		もちつきの機会がなく、親子で貴重な体験ができたことを喜ぶ声や、親子で同じ活動に取り組んだことへの感謝の言葉をいただく。	家族で同じ活動に取り組む姿に温かさを感じ、伝統行事の継承と家族の絆を深められるプログラムである。	①		実体験を伴い、家族の絆も深まるプログラムであり、今後も継続したい。
香川県	特色C (その他)	親子でカヌー	https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/yasho/syusai/index.shtml	小学1～3年生と保護者	半日×10日	瀬戸内海で親子でカヌーに挑戦し、親子の絆を深めながら、海に親しむ。	親子でのカヌー体験	③	⑥	⑧		応募者が多く、抽選により参加者を決定するほどの人気事業であり、夏の親子での活動を活発にするものである。	自然の中の活動であり、夏の海の魅力を親子で満喫できるプログラムとなっている。	①		非常に人気の高いプログラムであるため。
香川県	特色C (その他)	家族でうどん作り	http://pref.kagawa.lg.jp/gosho/	香川県内在住の家族	1日	香川県の名物であるうどん打ちやかまどと薪を使った炊事を家族で協力して行い、家族の絆を深める。	・うどん打ち ・打ち込みうどん作り、会食 ・正月飾り作り	①	⑤	⑪		うどん作りの全工程やかまどを使った調理を体験していただき、また、家族で協力して活動できたことへの感謝の言葉をいただく。	手打ちうどん作りに家族で協力して取り組む姿に温かさを感じ、家族の絆を深められるプログラムである。	①		実体験を伴い、家族の絆も深まるプログラムであり、今後も継続したい。
高知県	特色A (防災)	防災キャンプ	http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310405/201812100158.html	小学校5～6年生	9月29日	今後起こると想定される南海トラフ地震に備え、自分で判断し実行する力、問題を解決する能力を育成する。また、限られた資源を有効に活用する知恵を体験し、震災に対する心構えを持つ。	防災に力を入れている企業見学、非常食の試食等による避難所生活の模擬体験、救命救急や防災に関する学習	⑮	⑨		防災意識、判断力、問題解決力	24名の募集に対して83名の応募があり、防災学習の必要性が高く認識されている。	今後起こると想定される南海トラフ地震に備えるためにも、早くから防災意識を持つことが大切であり、本県にとって重要なプログラムである。	①		子どもたちの防災意識の向上に有効なプログラムと考えるため。
高知県	特色B (利用促進)	クラスまるごとお出かけ授業(化石編)(昔のくらし編)※再掲	http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310405/2019022600226.html	化石編：小学校6年生 昔のくらし編：小学校3・4年生	化石編：10～12月 昔のくらし編：10～3月	化石編：学校での化石学習を終えた児童が、化石採集や化石の名前調べ・標本づくりなどの体験学習を通じて、科学に対する理解と興味関心を高める。 昔のくらし編：昔の道具を使った体験を通じて、昔の人々の暮らしを肌で感じ、地域の人々の今昔の違いや変化、過去の生活における人々の生活の知恵を知り、理解を深める。	化石編：化石採集、化石のクリーニング・名前調べ・標本づくり 昔のくらし編：囲炉裏端体験、農機具体験、七輪体験、洗濯板体験、野中兼山遺構見学	⑨	⑩			普段の生活や机上の授業では分らなかったことが、実際に体験して実感できることと意見もあり、授業理解を深めるプログラムとして好評を得ている。	実際に体験することで理解が進み、知識の定着につながっている。新規参加校がある一方で、担当教員の変更などにより参加されなくなる学校もあるため、広報を強化する必要がある。	①		授業理解を深めるとともに、冬期の利用促進にもつながる事業であるため。

(4) (1)～(3)以外の特色のある効果的なプログラム(防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間(時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
高知県	特色C(その他)	子どもフェスティバル忍者大会	http://kahoku-furusato.jp/seisyonen/docs/calendar2018.pdf	小学校4～6年生	11月17・18日、11月24・25日、12月1・2日	集団生活を通じて、自己を表現することの楽しさを感じてもらおう。子どもたちの自主性を大切に、コミュニケーション能力の向上を図る。(仲間と一緒に敵の城を攻めるゲームや自然環境について学ぶゲームなどを行い、ゲームを通して仲間と一緒に何かをやり遂げる楽しさを学ぶ。)	環境づくりゲーム、チーム対抗忍者大会、子ども主体で交流する自由活動(青年との交流、星空ナイトウォーク、ドッチビー、卓球、オセロ、将棋等)	②	③	④		応募が殺到するなど大変人気が高く、実施後のアンケート結果でも、「また参加したい」との回答が86%となっているほか、「いろいろな人と交流しながら活動できた」など、初対面の参加者との交流につながった意見もあった。	集団生活やゲームを通して、自主性やコミュニケーション能力の向上、仲間と一緒にやり遂げることの大切さなど、多くのことが学べる効果的なプログラムであり、今後も内容を見直しながらさらにバージョンアップしていく。			例年実施している人気プログラムであり、事業効果も高いため。
福岡県	特色A(防災)	サバイバルキャンプ	www.fsg.pref.fukuoka.jp/genkai	小学校4年生～中学校3年生	年3回 1泊2日(5月)、4泊5日(8月)、2泊3日(12月)	困難克服、防災、自然体験に特化したキャンプ	長距離歩行 避難所体験 防災クッキング	③	⑤	⑪		毎年、応募者が、定員の5倍近くになる人気の主催事業	ただ楽しいキャンプと異なり、生きる力、防災の意識も高まっている。			東日本大震災、熊本地震以降、防災意識も高まっている。
福岡県	特色B(利用促進)	出前講座	www.fsg.pref.fukuoka.jp/genkai	小学校1年～大人	閑散期	本所職員が利用者のもとを訪ね、工作、体験活動の場の提供、レクリエーション指導等を行う。	木香ペンダント作り 玄海遊びリンピック GRP(玄海リレーションシッププログラム)	④	⑤	⑦		利用者からは、概ね高い評価を得ている。	小学校の祭りでの講座依頼は多く、高い評価を得ているように思う。			今後も広く体験活動の場の提供を進めていきたい。
福岡県	特色B(利用促進)	きずなの森	http://fsg.pref.fukuoka.jp/center/katudo/kizuna.html	利用者全般	2～3時間	10種の課題解決型のアクティビティに、チームで挑戦する活動を通して、チャレンジ精神や困難に立ち向かう心を伸ばす。	10種の課題解決型のアクティビティに、チームで挑戦することを通して、主体性や協調性・社会性、思いやりの心を育み、チーム内のつながり(団結力、協働)をより強いものにするのをねらった活動。	③	④	⑦		仲間づくりで最適なプログラムである。	学校の利用も増えてきており、今後さらに充実させていきたいプログラムである。			指導員・職員が一つ一つのアクティビティを熟知し、多くの団体に広げていく必要がある。
福岡県	特色C(その他)	家族で泊まろうin英彦山	http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/hikosan/	小・中学生を含む家族(10家族)	①5月11日(土)、12日(日) ②9月7日(土)、8日(日)	家族で自然体験活動に取組機会を提供しながら、「鍛ほめメソッド」の啓発・推進を図り、子どもの自主性を高めたり、家庭の教育を向上させたりすることを目的としている。	①地域と連携・協働をのびのびとしたプログラム(田植え・稲刈り) ②親子で野外調理に挑戦、他の家族と協力して野外調理 ③英彦山探索 ④テント設営(テント泊)	②	③	⑥		①日常生活で体験できない(田植え・稲刈り)ができて勉強になった。②家族のために、料理を作れて日々の生活を振り返れた。	プログラムでは、家族で話し合い、協力して活動する姿が多くみられた。家族間での交流が増加して、助け合いの姿が多くみられた。			地域との連携・協働の分野を増加させる。
福岡県	特色C(その他)	ファミリーキャンプ	www.fsg.pref.fukuoka.jp/genkai	小学生を含む家族	9月28日(土)～29日(日) 1泊2日	野外活動(キャンプ)をはじめたい家族に、野外活動の入門編を提供する。	野外炊飯 テント設営・宿泊・撤収 松林の中での活動・自然工作	⑤	⑪	⑮	家族愛	参加希望の家族が多く、抽選になっている。	キャンプブームもあって、ニーズが高い。			高いニーズに応えるためにも継続したい。
福岡県	特色C(その他)	カブラ積み木	http://fsg.pref.fukuoka.jp/center/katudo/kapula.html	利用者全般	1～2時間	形をイメージし、積み木を使いながら活動することで、想像力や集中力、新たなものを創り出す創造性を高め、様々な変化に適応していく器用さ、柔軟性を養うことができる。	・高さや長さを競うプログラム ・テーマをもとに形を考えるプログラム等	⑨	④	③		大人も夢中になって取り組み、世代関係なく楽しめるプログラムとして好評	担当事業の親子プログラムで取り入れたが、大人、子供それぞれの世代が目標を作って時間いっぱいまで楽しむ姿が見られた。			カブラ積み木自体の認知度が低くこれから広げていきたいプログラムである。
長崎県	特色A(防災)	防災について考えるシリーズ 「秋の防災キャンプ」	https://www.sour-navi.net/seihij/	幼児から一般	1泊2日	災害を想定した非常時の対応について、学び考える機会とする。	避難生活に対応した住環境を考え、救急救命の方法を理解し、災害時の調理体験をする。	⑨	⑩	⑪		自然災害が多発する今日の状況において、これに対処する対応策を考えるよい機会となる。	今日的な社会的問題に適切に対応した、事業であると考える。			同上
長崎県	特色B(利用促進)	天地フットサル交流大会		小学生で構成されたフットサルチーム	1泊2日	フットサルを通してチームの絆を深め、チーム間の交流を図るとともに、競技人口増と青少年の健全育成に寄与することをめざす。	30年度は2dayトーナメントとし、大会1日目夜にウェルカムパーティーを開催した。またフットサル用品メーカーのGAVICに後援をいただき、大会が充実した事業となった。	③	④	⑬		毎年多くのリピーター参加チームを迎え、地域で定着しつつある大会となっている。	参加チーム間の交流を介在する中、目に見える成果(合同合宿の実施など)も出ており、競技団体との連携も深まった。			大会形式に関しては、利用者のニーズに合わせて試行錯誤しながら改善を行う必要があると考えるため。
長崎県	特色B(利用促進)	対馬青年の家 出前事業		どなたでも	通年(日・月・祝日、年末をのぞく)、原則1日(10:00～16:00)	対馬青年の家のプログラムを施設外でも提供することで、当施設の理解と利用促進に努める。	施設のプログラムの工作やレクリエーション、軽スポーツを出前で行う。特に小中学校の学級レクでの利用が多く、学童クラブの利用も度々ある。出前で多い活動としてバスボム作り、アヒルホッケー、ペタンクなどが挙げられる。	④	②	⑤		学級レクリエーションなどにおいては、団体の担当者の負担が減り、高い評価を得られている。	出前により青年の家のプログラムを体験してもらったことで施設のアピールにもつながっている。翌年度にも同様の団体から出前の依頼を受けることがあり、好評のように思う。			出前講座が口コミで広がることもあり、年々問い合わせの数も増えつつあるため。
長崎県	特色C(その他)	あこがれの山登り	http://www.n-tijiwa.sakura.ne.jp/	小学生から高齢者まで。	年12回	登山をとおして自然にふれ合い、健康増進に努める。	県内外の比較的登りやすい山を年間6か所設定して、参加者を募集する。近年は参加希望者が多いため、1つの山に2度登る機会を設けて実施している。	①	③	⑮	健康増進	年間12回の登山機会があるため、参加者には好評である。	時には家族連れの子供から、80代の高齢者まで幅広い年齢層の参加があり、参加者がお互いのペースに合わせて助け合って登山を楽しんでおり、有意義なプログラムと考える。			人気のプログラムであり、是非継続していきたい。
熊本県	特色A(防災)	防災プログラム(KYT:危険予知トレーニング) 【豊野少年自然の家(山型)】	http://www.k-seishonen.com/toyono/	特になし	通年	防災に関する知識や技術を習得させるとともに、防災意識を高め迅速な対応ができるようになる。	KYT:危険予知トレーニング 活動中のイラストを見ながら危険な箇所がないか意見を出し合い、予防策を考える。	④	⑨	⑫		防災に関する知識や経験はもちろんのこと、野外活動など危険が考えられる活動についても、共通して考えることができ、いろんな面で役立つ活動となっている。	これまでの災害を振り返りながら、防災について考える良い機会となっている。			今後さらに防災教育の推進を図るため。
熊本県	特色A(防災)	防災プログラム【天草青年の家(海型)】		制限なし	制限なし	防災意識の向上、協調性を養う。	ハイゼックス米体験、新聞紙を使った道具(皿、スリッパ等)作り、段ボールを使ったフライベート空間作り	④	⑥	⑦		学校(授業)では、取り組みにくいことを体験できるため、学校からの依頼が多い。	活動の幅を広げ、幅広い年齢層に参加していただきたいと考えている。			自然災害が多く、これから先は特に必要となってくるプログラムだと考える。
熊本県	特色B(利用促進)	森の通学合宿【菊池少年自然の家(山型)】		小学4年生	4泊5日	子供たちは共同生活体験をとおして、自律心を育むとともに、親にとっては「子離れ」を体験し、家庭教育を見直す機会とする。	①生活体験 ②調理体験 ③自然体験 ④学習	③	④	⑥		4泊5日の間、親元を離れることで、家族の大切さを感じることができ、自立心の育む良い機会となっている。仲間、保護者においても家庭教育を見直す良い機会となっている。市教育委員会からも後援をいただき、好評である。	各回2～3校の小学4年生20名で実施している。4泊5日の生活体験をとおして、仲間の有難さや家族の大切さを感じるとともに自律心が育めるプログラムとなっている。			子供と保護者からも人気がある。今後、地域でも実施できるような働きかけも行っていきたい。

(4) (1) ~ (3) 以外の特色のある効果的なプログラム (防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間 (時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
熊本県	特色B (利用促進)	出前講座 (創作活動、レクリエーション等) 【あしきた青少年の家】	http://www.k-seishonen.com/ashikita/system/mae.html	どなたでも	2~3時間	出前講座を通して、利用者の親睦を深める。	・創作活動体験 ・レクリエーション活動 ・ニュースポーツ体験	④	⑦	⑩		P T A行事等での利用が多く、リピーターが多いことや、アンケート結果から満足度が高いと考えられる。	①			リピーターが多いことや、アンケート結果から満足度が高いと考えられるため。
熊本県	特色B (利用促進)	通学合宿【豊野少年自然の家 (山型)】	http://www.k-seishonen.com/toyono/	小学校4年生~6年生	2月中 3泊4日	共同生活を通して、当然と捉えている日常への感謝の気持ちを醸成するとともに、自立心を育む。	生活体験 (宿題、洗濯、掃除、食事の準備等) 体験活動 (防災活動、野外活動等)	②	④	⑪		学校と連携して実施することで、参加者はもちろんのこと学校の先生方からの意見や感想を聞くことができ、今後もぜひ続けてほしいという意見を多くいただいている。	①			近隣の小学校を対象に毎年持ち回りで実施しているため。
熊本県	特色C (その他)	企画事業 「小学生英語体験教室 A・B・S e a」 【あしきた青少年の家 (海型)】	https://www.facebook.com/pg/ashi-sei.hitodukuri/photos/?tab=album&album_id=968699829855560	小学校1年生~小学校6年生	1泊2日	自然体験や遊びを通して英語に慣れ親しみ、異学年や他校の児童と触れ合うことで、積極的に人と関わろうとする態度を育てる。	・英語体験活動 ・自然体験活動 ・交流活動	②	④	⑩		先着順で受け付けをするが、毎年1時間程度で定員に達することから、ニーズが高い事業だと考えている。また、リピーターが多いことや、アンケート結果から満足度が高いと考えられる。	①			リピーターが多いことや、アンケート結果から今後もニーズが高いと考えられるため。
熊本県	特色C (その他)	幼稚園保育所との連携事業~自然のど真ん中で生き生きと~ 【菊池少年自然の家 (山型)】		園児	日帰りや1泊2日	幼児期における自然体験の機会を増やして、人間形成の基礎 (知・徳・体) を培う。また、保護者も自然体験の楽しさや重要性を知る機会を提供する。	①自然体験活動 ②創作活動 ③キャンプなど	③	⑥	⑩		連携する園からは、子供たちがのびのびと大自然の中を駆け回ることができることの素晴らしいや自然の家の職員専門スキルを活用できるとの評価を得ている。	①			未就学児の時に様々な体験を推進したいことと、保護者の方に体験の良さを知っていたら良い機会となるから。
熊本県	特色C (その他)	キャンプで子育て!! Nature Family Land①~④ 【豊野少年自然の家 (山型)】	http://www.k-seishonen.com/toyono/	親子	①6月9日 (日) 日帰り ②8月25日 (日) 日帰り ③9月28日 (土) ~ 29日 (日) 1泊2日 ④11月9日 (土) ~ 10日 (日) 1泊2日	キャンプ活動を通して家族の親睦を深めるとともに、キャンパスキルと楽しさを学ぶ。また、自然に触れることで子どもたちの感受性や自主性を育む。	キャンプ活動 (野外炊飯、テント設置、テント泊、野外活動等)	②	③			キャンプ初心者でも、テントの立て方や火の起こし方から、必要な道具など、キャンプ活動の初歩から実施することで、安心してキャンプに取り組みことができ、自然を通して、子供とのふれあいを図ることができている。	①			毎回定員を大きく超える申し込みがあり、参加者の興味・関心の高い事業となっているため。
大分県	特色A (防災)	わくわくシーサイドキャンプ in かかち 真夏のかかちアドベンチャー	http://www.onsenkenoita-ch.com/tos/detail/3073	小5~中3	8/16~20 4泊5日	自然を活用した体験活動や異年齢集団による共同生活を通して、自然に親しみ、協力して困難に立ち向かうことのできる児童生徒を育成する。	上記事業内での活動 防災講話 空き缶炊飯 避難所づくり 避難所体験 地震体験	⑦	⑩			子どもの自然体験キャンプへの親のニーズは高く、たくましくなって帰ってきた、家の仕事を進んでできるようになったなど肯定的な感想を数多くいただいている。	①			青少年教育施設のミッションを果たす代表的な事業であるため。
大分県	特色B (利用促進)	くすこのえの自然を体感するトレッキング	https://www.pref.oita.jp/site/konoe/	一般成人	3月	登山活動そのものを体感することの大切さを認識することはもとより、地域の歴史を改めて見直す	角牟礼城址までトレッキング。途中歴史ガイドから話を聴くことができる。	⑧	⑮		歴史学習		①			閑散期対策のため
大分県	特色B (利用促進)	出前サポート事業	http://www.pref.oita.jp/site/kakaji/demaekouza.html	県内の公民館・学校・青少年団体・社会教育団体等	通年 (1~2時間程度 依頼に基づく)	学校や団体等の要望に応じて職員を派遣し、体験活動に係わる支援を行うことにより、青少年の健全育成に資する。	依頼に基づき現地で活動 主な活動 各種クラフト、タグラグビー教室、16ミリフィルム映写会、ノルディック・ウォーク 等	④	⑦	⑮	体力・健康増進	職員派遣に関する旅費や謝金が必要ないため、依頼元からたいへん喜ばれている。	①			将来的には旅費を負担していただくことも検討していきたい。
大分県	特色C (その他)	みんなおいでよ! くじゅう登山 「新緑編」「紅葉編」	https://www.pref.oita.jp/site/konoe/	県内の小学生を含む家族	6月 10月	くじゅうの雄大な自然の中での登山をおして、親子で自然に親しむことにより、感動や成就感、達成感を味わう。	登山 (親子)	③	⑥	⑧		初心者の家族でも安全に登山ができるということで、毎回多くの参加希望を集めている。キャンプ終了後の意欲向上も見られる。	①			同上
大分県	特色C (その他)	かかちネイチャーファミリーDays	http://www.pref.oita.jp/site/kakaji/20000422.html	小学生をもつ家族	1日 x 15回	体験活動の拠点である県立青少年の家のフィールドで、四季を通じた自然・文化・スポーツ等の体験や家族のふれあいを深める機会を提供することにより、自然環境保全の意識醸成並びに家族同士が協同する姿勢及び態度の育成を図る。	磯の生物観察・海岸清掃 JAXAコスミックカレッジ (ペットボトルロケット) 海遊び テント泊 大分の歴史を学ぶ 軽登山 正月飾りづくり 椎茸コマ打ち 他	④	⑪	⑮	家庭教育力向上	保護者から「日頃見られない子どもががんばりや表情を見ることができ」「季節感ある活動がありがたい」等の感想が多々ある。	①			一部の活動で、対象を未就学児を持つ家族と拡大することを検討したい。
鹿児島県	特色A (防災)	県立南薩少年自然の家 防災ファミリーキャンプ~避難所を想定した生活体験~	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/nansatsu/index.html	幼児、小・中学生及びその保護者	9月15日~16日	近年、頻発する風水害、地震等の災害から命を守るための防災知識を学びながら、断水や停電を想定した避難所生活を体験し、家族で生き抜く力を育む。	災害についての講話、避難所生活の準備、非常食作り、防災グッズ (簡易ランブ) 作り、ロープワーク、救急救命法とA E Dの使い方講習	⑤	⑥	⑩		避難所生活の不自由さの体験を通して、協力や工夫の必要性を感じた。(参加者の感想から)	①			最近の自然災害発生状況から、防災意識を高める必要があるため。
鹿児島県	特色B (利用促進)	県立霧島自然ふれあいセンター ふれセン! 出前講座	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/kirishima/index.html	県民一般	4月~3月 (申請による)	学校や地域で実施されるイベント等に出張し、創作活動等の指導を通して、研修プログラムを紹介し、広報活動の一環とするとともに、地域貢献の一助とする。	クラフト活動 (バルーンアート、革のプレスレット、レザークラフト、塗り箸作り)	⑨	④	⑤		大変楽しい講座で満足した。これからはこのような講座をしてほしい。(参加者感想から)	①			所の活動の広報と利用者のニーズが合致している事業のため。
鹿児島県	特色B (利用促進)	奄美少年自然の家 自然の家がやってきた	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/amami/index.html	県民一般	6月~2月	奄美少年自然の家職員が各市町村に出向いて創作活動プログラムを展開する活動を通して、各市町村の児童生徒等の豊かな感性を育むとともに、各市町村教育委員会と連携を図りながら体験活動の重要性や必要性を啓発し、所の事業や活動について周知を図る。	創作活動プログラム (プラホビー、スライム、なり (ソテツの実) キーホルダー、綿あめ作り体験など)	⑨	④	⑤		自然の家に行く機会がなかなかないので、喜界島で開催してもらってはありがたい。来年度もぜひ開催してほしい。(「in喜界島」参加者の感想から)	①			大島地区にある県立青少年社会教育施設として、地区全体にサービスの提供を行うため。
鹿児島県	特色C (その他)	県立青少年研修センター 子育て・家庭教育支援事業	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/seisyouken/index.html	家族	4月~1月	四季折々に移り変わる豊かな自然や野外活動施設等を生かした自然体験活動及び郷土の伝統文化にふれる活動等を通して、家族や参加者のふれあいを深める。	たけのこホリデー (4月)、家族で楽しむ春の一日 (5月)、ファミリーキャンプ夏 (秋) 物語 (8月、10月)、自然素材で作るクリスマスリース (12月)、家族で楽しむ正月飾り (12月)、チャレンジキャンプ冬物語 (1月)	⑤	④	⑥		正月飾りの由来や門松に使われている植物の理由を知ることができ、親子ともに充実した時間であった。(「親子で楽しむ正月飾り」参加者感想から)	①			季節に応じた様々なプログラムを実施することで、家族のふれあいを深める機会となっている。

(4) (1) ~ (3) 以外の特色のある効果的なプログラム (防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間 (時間)	趣旨	内容	効果1	効果2	効果3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
鹿児島県	特色C (その他)	県立霧島自然ふれあいセンター 霧島さわやかトレッキング (春編, 初夏編, 夏編, 秋編, 早春編)	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/kirishima/index.html	大人, 家族	春編 (4月), 初夏編 (5月), 夏編 (7月), 秋編 (11月), 早春編 (3月)	季節ごとのトレッキングを通して, 自然の美しさや登山の楽しさを満喫するとともに, 健康づくりに資する。	春編 (えびの岳・白鳥山登山), 初夏編 (栗野岳登山), 夏編 (蘭半田池外輪山巡り), 秋編 (白鳥山・池めぐり), 早春編 (高千穂峰登山)	③	①	④		きつより坂もあったが, 達成感があり, 満足した。自分に合ったペースで, 快適でした。(参加者感想から)	登山ガイド, 霧島ジオガイド等と連携し, 参加者の期待にこたえるプログラムが実施できている。	①		霧島にある施設という立地環境を生かしたプログラムで, 県民のニーズも高いため。
鹿児島県	特色C (その他)	県立南薩少年自然の家 音を楽しむコミュニケーション~リズム遊びとおやつ作り~	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/nansatsu/index.html	幼児とその保護者 (親子)	6月30日	音楽を通してコミュニケーションスキルや体験活動を通して, 親子のふれあいや体験活動の大切さを味わうとともに, 施設の利用についての理解を深める。	リズム遊び, おやつ作り (ポップコーン)	④	⑤	⑦		子どもが楽しそうに参加していた。大人も楽しむことができ, 幼児期の音楽の大切さを学びました。(参加者感想から)	大学の准教授を講師にしたリズム遊びと自然の家ならではの「おやつ作りを通して, 親子のふれあいや体験活動の大切さを味わわせることができている。	①		幼児期から自然の家に親しんでもらうため。
鹿児島県	特色C (その他)	県立奄美少年自然の家 教職員講座	http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/amami/index.html	幼・小・中・高校の教職員	8月23日	教職員自らが自然のすばらしさにふれ, 実際にレクリエーション活動や野外活動, 創作活動を体験することにより, 体験活動の教育的意義をさらに深め, 集団宿泊学習をはじめとする教育活動に生かす。	テント設置・テント泊, 海洋・海浜活動 (魚釣り・熱帯魚ウォッチング), 野外炊さん (バーベキュー, ポテチのバーコン炒め, 流しそうめん), 灯火のつどい, 農園活動, 創作活動 (壁掛け), 自然学習	⑫	②	⑦		活動を通して奄美の自然を学び, 新たな発見があった。この体験を教育活動に生かしたい。(参加者感想から)	奄美の自然に精通した講師による自然観察を実施したことにより, 参加者が奄美の素晴らしき自然を実感することができた。以降の教育活動に生かせるプログラムとなっている。	①		世界自然遺産登録を目指す奄美において, 教職員にそのすばらしさを感じてもらい, 教育活動に生かせるようになるため。
沖縄県	特色A (防災)	災害対応プログラム	http://www.unai-sc.net/	小学生以上	平成31年3月2日 (土)	身近にあるものを活用して, 自然災害時の生活に役立つものを作る。	①防災グッズの紹介 ②空き缶で炊くご飯 ③停電時の明かり作成 ④新聞紙で作るスリッパ ⑤火起こし体験	②	⑮		適応力	「空き缶でも温かくておいしくご飯が食べられる事ができて, 正直おどろきました。」「知っているのと役に立つ内容を教えていただき, ありがとうございます。」など高く評価されている。	子どもでもおいしくご飯を炊くことができた。火起こしは全員が火を起こすことができなかったため, 確実できるように工夫していきたい。	①		今後は簡易ろ過装置を手作りして飲み水の確保等を取り入れていきたい。
沖縄県	特色A (防災)	3, 4年宿泊学習	http://ishigakiseishounennoie.com/	3, 4年生	平成31年2月29日~3月1日	4月から高学年となるリーダーとしての資質を養う。防災意識の確立	親元を離れ, 自らテントを立てたりカレーの食事を作ったり仲間と共に活動することにより次の学年へのリーダー性を養い, 自立心を育てる。併せて災害時における行動の仕方を学び, 家庭の一員としてリードできる資質を養う。	②	③	⑥		両親から離れ, 自分たちだけで友達と食事を作ったり, キャンプファイヤーをして楽しかった。学校と違う遊ばせ訓練ができて為になった。	親の庇護にある3, 4年児童が自ら考え, 自ら行動して生活する初めての活動に大きな成長の跡が伺えた。	①		親を頼らず自立していける活動で親からの期待感も高く応募者も多い
沖縄県	特色B (利用促進)	ナゴランを育てよう		小学校5年生以上	平成31年2月9日 (土) 午後1時~午後4時	自然界で絶滅したとされるナゴランを活用し, ナゴランを取り巻く環境への理解を深める	希少植物の保全を学習する北部農林高校の生徒からナゴランを取り巻く環境をプレゼンして, 実際に着生作業を行う。	④	⑧	⑫		着生した苗の成長が楽しみ, ナゴランの現状を知ることができた。北部農林の高校生との絶滅植物へ取り組み姿勢が素晴らしいと感じた。	自然界で絶滅したとされるナゴランの現状を知り, ナゴランの由来となった名護岳に再び復活することを目的に地道に着生し, 長期な取り組みをしていく。	①		名前の由来となった当地 (名護岳) の魅力を向上させるとともに, 継続することにより, 地域に人材育成を目的とした。
沖縄県	特色B (利用促進)	琉球歴史探訪	http://www.unai-sc.net/	成人	平成31年1月16日 (水)・1月30日 (水)・2月13日 (水) 2月27日 (水)・3月13日 (水)	世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産」を訪れ, 琉球歴史への関心を深め先人の足跡に学ぶ。	琉球王国時代の城主の関係性や城の役割など, 城跡を歩き学ぶ。	④	⑦	⑬		「沖縄の歴史を楽しく勉強させてもらいました。」「全5回とも楽しく参加出来ました。ガイドの方から詳しい説明をききとても勉強になりました。」など高く評価されている。	参加者から高く評価され, 互いの情報交換の場にもなっている。年々事業が充実している。	①		人気の事業となっている
沖縄県	特色B (利用促進)	青少年の家祭り&遊びリンピック	http://ishigakiseishounennoie.com/	一般市民	平成31年2月16日	特色あるイベントを提供し豊かな体験活動を通して考える力を育てる	風車, 水鉄砲等昔懐かしい遊びやスライム, パルーンアート, 楽しい工作活動を提供して市民の憩いの場をつくり, 楽しいひと時を過ごす。	①	②	⑨		遊ぶ場所が少ない石垣島でこのような豊かな体験活動ができて子供達にとってもいい経験であった。	昔の遊びをふんだんに取り入れながらもこれからの新しい遊びも組み入れ, マンネにならないような事業を展開している。	①		どのような天気でも数百名の市民が集まり充実して帰宅されるので中身の濃い事業と思う。
沖縄県	特色C (その他)	キッズアドベンチャー		小学4年~中学3年	平成31年3月23日 (土) 午後1時~24日 (日) 午後1時	集団生活・体験活動を通してコミュニケーション能力を高め, 自然を愛する心を養い, 仲間と協力して達成する喜びを味わう。	野外炊飯, 看板 (案内等) 作り, 餅つき大会を通して仲間と協力して目的を達成する喜びを味わい, 名護岳ナイト登山を通してやり遂げる精神力を培う。	①	③	④		初めて会う友達と直ぐ友達になった。自分で作った食事が何よりも美味しく美味しかった。ナイト登山はきつく怖かったけど, 登頂の喜びは最高だった。	自然体験や共同生活を通して, 目的の「コミュニケーション能力, 良好な人間関係, 仲間と達成する喜び, 成し遂げる力」, 精神的にも体力的にも成長した姿が見られた。	①		毎回参加する子ども達から, 日常では体験できないことへの評価が高い。更に, 子どもの成長が育まれる事業なので, 継続する。
沖縄県	特色C (その他)	自然とふれあう家族の集い「母子家庭・父子家庭キャンプ」	http://www.unai-sc.net/	5歳以上の子どもがいる母子家庭・父子家庭	平成31年3月7日 (土)~8日 (日)	母子家庭・父子家庭の親子が自然の中で活動することで, 親子の絆を深めるとともに, 森のしくみや自然の大切さを学ぶ。	①テント設置 ②野外料理 ③ネットワーク ④星空観察 ⑤登山	②	④	⑦		「男手がないので子ども達に自然の体験があまりできなかったのですが, 本当に良かったです。」「親子共々楽しめていました。料理の協力なども, 親子以外でも仲良く交流ができていたと思います。」など高く評価されている。	母子家庭・父子家庭から求められている事業を提供できている。	①		母子家庭・父子家庭を対象とした事業が必要とされている。
沖縄県	特色C (その他)	わくわくセカンドスクール		小学校5年生	2泊3日 (7月頃・10月頃)	児童が学校とは異なる場所で様々な社会体験や共同生活を体験させることにより, 自主, 自立, 共同, 仲間を大切にする精神を養う。また, 学校教育との融合を図った取り組みの実践を通して, 自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応する能力の育成を図る。	・小学5年生が県内の高校へ訪問し, 水産業・工業・農業について体験する。高校生が案内や指導を行う。	②	⑦	⑮	目的意識の向上	子どもたちの興味, 将来の夢への引き出しになりました。	子どもたちに変化を与えた。	①		子どもが変容する機会となる。

(4) (1) ~ (3) 以外の特色のある効果的なプログラム (防災・利用促進・その他)

都道府県名	事例	プログラム名	URL	対象	期日・期間 (時間)	趣旨	内容	効果 1	効果 2	効果 3	その他の効果	評価	自己評価	今後の方向性	その他今後の方向性	今後の方向性の理由
沖縄県	特色 C (その他)	もりのほいくえん～レッツゴー! たまぐすく森たんけん隊! ~		親子 (こともは未就学児)	平成30年6月30日 (土) 9時から12時まで	自然体験や野外活動等を通して、幼児の情操教育に役立てる。また、親同士の学び合いを通して、保護者、地域とのつながりを深める機会とする。	子ども：野外活動プログラム (自然探検 (施設内・ウォークラリーコース)・野外炊飯 (ごはんを炊いておにぎり作り・バナナの葉で包む) 保護者：夢実現「親のまなびあいプログラム」最後に、親子でおにぎりを食べる	①	③	⑤		事業参加を機に、参加者同士の繋がりが出来たことや、施設の利用促進に繋がっている。(幼児でも利用出来る・利用しやすいとの感想)	未就学児の体験活動の機会の提供、体験活動の促進を図る目的として企画したが、保護者へのプログラムとして沖縄県の家庭教育支援推進計画のもと「親の学び合いプログラム」を実施した。最後に親子の時間を設けたことで、親と子のふれあいを加えた3つのプログラムを実施することが出来た。			開催方法の変更 (事業統合)
沖縄県	特色 C (その他)	鳴き声サクセッション	http://ishigakiseishounnoie.com/	一般市民	平成30年4月20日	時間の流れで鳥や虫等の鳴き声を記録することにより生活の様子を知る。	夕暮れから夜にかけての時間の流れの中で、鳥や虫等の鳴き声に静かに耳を傾け、記録することにより生物相の移り変わりを学ぶ。	⑧	⑨	⑪		普段なかなかゆったりと自然に耳を傾けることがないので色々な音を聞いてよかったです。	夕暮れから夜にかけての鳥や虫の行動はなかなか体験しないと想像できないので、自然との一体感が生じていい事業である。	①		少人数の事業ではあるが一人ひとりの満足感、充実感からすると必要な事業と思われる。

効果に係る説明

- ①自己肯定感
- ②主体性
- ③やり遂げる力
- ④コミュニケーション力
- ⑤思いやり
- ⑥自立心
- ⑦人間関係を築く力
- ⑧環境保全意識
- ⑨想像力
- ⑩社会性
- ⑪共生感
- ⑫責任感
- ⑬規範意識
- ⑭正義感
- ⑮その他

今後の方向性に係る説明

- ①継続
- ②改善
- ③廃止
- ④その他